

鋸南町まちづくりアンケート調査  
結果報告書

令和2年3月

鋸 南 町



# 目 次

I. アンケート調査の概要	1
1. 調査の概要	3
(1) 調査の目的	3
(2) 調査対象及び調査方法	3
(3) 回収結果	3
2. 本報告書の留意事項	4
(1) 本報告書の数字の取り扱いについて	4
II. 町民アンケート調査の結果	5
1. 回答者の属性	7
(1) 性別	7
(2) 年齢	7
(3) 職業	7
(4) 就学先・勤務先	8
(5) 居住年数	8
(6) 居住地区	8
2. 調査の結果	9
1. 住みよさ・愛着度・定住意向などについて	9
(1) まちの住みよさ	9
(2) 今後の定住意向	11
2. 町の現状と今後の取り組みについて	13
(1) 町の各環境に関する満足度	13
(2) 町の各環境に関する重要度	19
(3) 満足度と重要度の相関（優先度）	25
3. まちづくりについて	29
(1) 子育てしやすいまちになるために力を入べきこと	29
(2) 観光客誘致のためにすべきこと	31
(3) 他の地域から定住する際の問題点	33
(4) 今後のまちづくりの特色	35
(5) これからの行政サービスのあり方	37
(6) 今後の行財政改革で優先的に行うべき項目	38
4. まちづくりへの意識と取り組みについて	40
(1) 自身について	40

(1) 健康づくりに取り組んでいるか.....	40
(2) 運動・スポーツを行っている日数.....	41
(3) 健康管理のための取り組み.....	42
(4) 老後への不安.....	43
(5) かかりつけ医の有無.....	44
(6) 自然を守るためなら生活が不便でもよいか.....	45
(7) 森や川などを守るための取り組みに協力したいか.....	46
(8) 環境に配慮した生活をしているか.....	47
(9) 電気のムダを気にかける等環境に配慮しているか.....	48
(10) 再生可能エネルギー利用の費用負担をしてよいと思うか.....	49
(11) 節水を意識した生活をしているか.....	50
(12) 緑化活動をしているか.....	51
(13) 3R運動をしているか.....	52
(14) 環境に配慮したものを選んでるか.....	53
(15) 公共の交通機関を利用しているか.....	54
(16) 災害時の避難場所を知っているか.....	55
(17) 職場や地域での防災訓練に参加しているか.....	56
(18) 防犯活動やパトロール活動に参加しているか.....	57
(19) 目的をもって学んでいるものがあるか.....	58
(20) 生涯学習活動に参加しているか.....	59
(21) 地域のいろいろな行事に参加しているか.....	60
(22) 地域活動やボランティアなどで活動してみたいか.....	61
(23) 町政に関する情報の入手方法.....	62
(24) 町と一緒にまちづくりを考えてみたいか.....	64
(25) 自分の仕事にやりがいを感じるか.....	65
(26) 仕事と自分の生活の両立ができてるか.....	66
(27) 地域内の異なる世代の人と付き合いがあるか.....	67
(28) 頼りになる知り合いが近所にるか.....	68
(29) 地域に自分の活躍の場があるか.....	69
(30) 今の生活への満足度.....	70
(31) 生活は去年の今頃と比べてどうか.....	71
(32) 平日に家族で話をする時間.....	72
(2) 地域について.....	73
(33) 地域は高齢者や障がい者にとって暮らしやすいか.....	73
(34) 地域は買い物や通院に便利か.....	74
(35) 地域の高齢者はいきいきと暮らしているか.....	75
(36) 町は子育て支援に積極的だと思うか.....	76

(37) 子育てについて地域で支え合う雰囲気があるか.....	77
(38) 地域の子どもはのびのびと育っているか.....	78
(39) 地域の公共交通は便利か.....	79
(40) 地域はきれいだと思うか.....	80
(41) 地域の自然環境は守られていると思うか.....	81
(42) 地域に活気があるか.....	82
(43) 地域に観光などでの訪問客が増えているか.....	83
(44) 自慢したい地域の風景や名所があるか.....	84
(45) 地元や県内でとれた農水産物を買っているか.....	85
(46) 災害に対して地域は安全だと思うか.....	86
(47) 夜9時以降に地域を安心して歩けるか.....	87
(48) 男は仕事女は家庭という考え方について.....	88
(49) 女性の活躍を多面的に支援する地域と思うか.....	89
(50) 意欲のある人が働きやすい環境が整っているか.....	90
(51) 若者が希望を持てる地域だと思うか.....	91
(52) 挑戦する人を進んで応援する地域だと思うか.....	92

### Ⅲ. 自由意見..... 93

### Ⅳ. 鋸南町まちづくりアンケート調査票..... 127



# I. アンケート調査の概要



# 1. 調査の概要

## (1) 調査の目的

本調査は、鋸南町総合計画（令和3年度～12年度）の策定にあたって、町への愛着度や町の魅力、町の不足しているところをはじめ、一般住民の意識やニーズの動向を把握し、計画づくりの基礎資料を得るために実施したものです。

## (2) 調査対象及び調査方法

	一般住民 アンケート調査
調査対象	全世帯
配布数	3,249（全世帯）
調査方法	区長による配布・回収、一部郵送による配布・回収
調査時期	令和2年1月

## (3) 回収結果

	一般住民 アンケート調査
有効回収数	1,573
有効回収率	48.4%

## 2. 本報告書の留意事項

### (1) 本報告書の数字の取り扱いについて

- ① 比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100%を上下する場合があります。
- ② 基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。
- ③ 設問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であり、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。

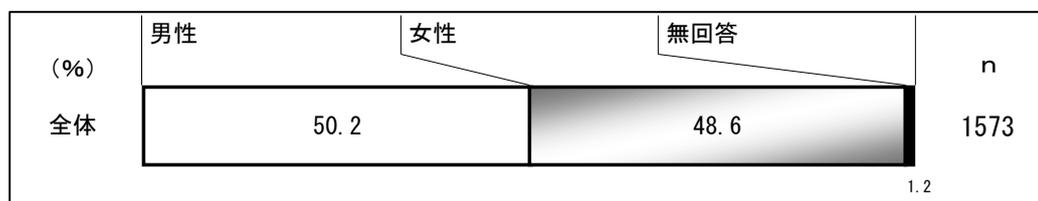
## Ⅱ．町民アンケート調査の結果



# 1. 回答者の属性

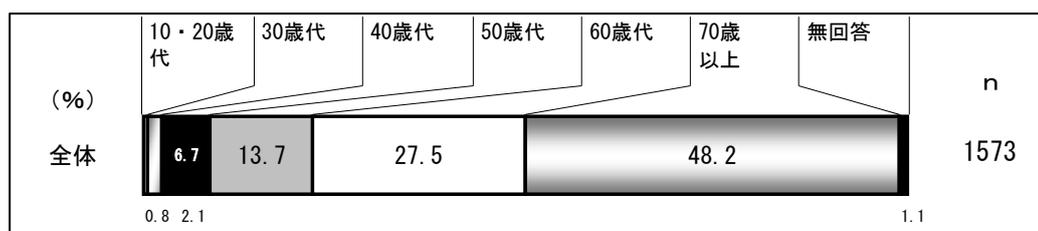
## (1) 性別

回答者の性別構成は、「男性」が50.2%、「女性」が48.6%となっています。



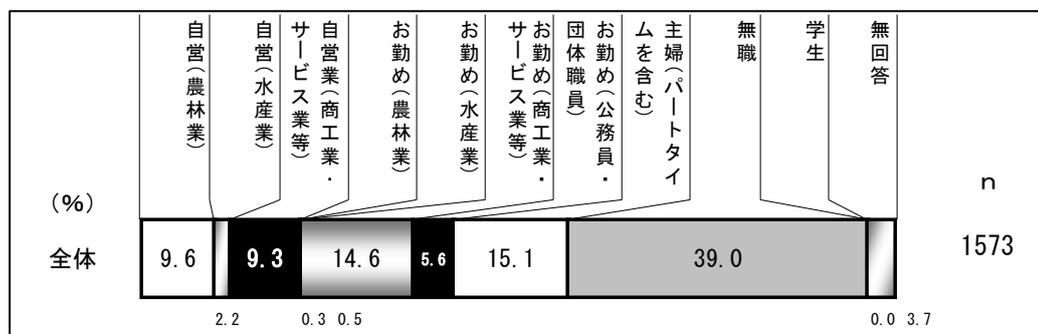
## (2) 年齢

回答者の年齢構成は、「70歳以上」(48.2%)、「60歳代」(27.5%)、「50歳代」(13.7%)、「40歳代」(6.7%)、「30歳代」(2.1%)、「10・20歳代」(0.8%)となっています。



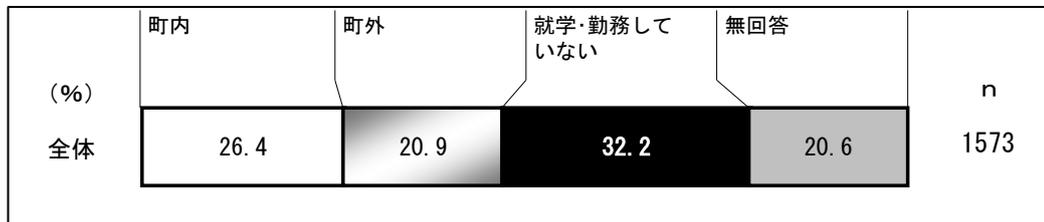
## (3) 職業

回答者の職業は、「無職」(39.0%)、「主婦(パートタイムを含む)」(15.1%)、「お勤め(商工業・サービス業等)」(14.6%)、「自営(農林業)」(9.6%)、「自営業(商工業・サービス業等)」(9.3%)、「お勤め(公務員・団体職員)」(5.6%)、「自営(水産業)」(2.2%)、「お勤め(水産業)」(0.5%)、「お勤め(農林業)」(0.3%)となっています。



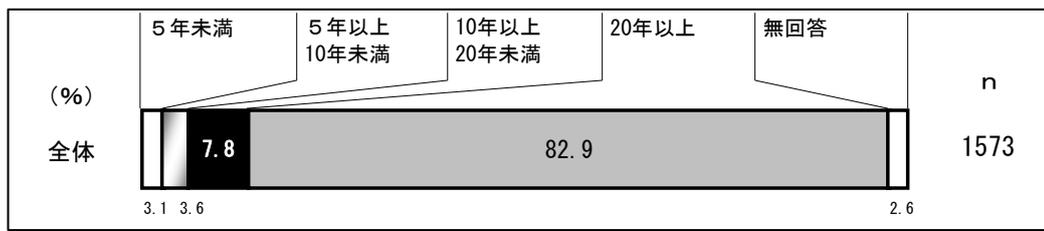
#### (4) 就学先・勤務先

回答者の就学先・勤務先は、「町内」(26.4%)、「町外」(20.9%)となっています。なお、「就学・勤務していない」は32.2%となっています。



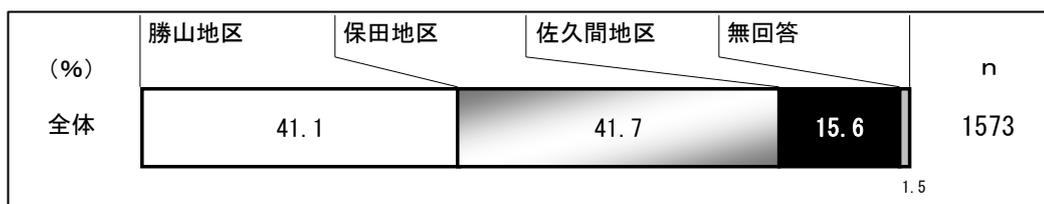
#### (5) 居住年数

回答者の居住年数は、「20年以上」(82.9%)、「10年以上20年未満」(7.8%)、「5年以上10年未満」(3.6%)、「5年未満」(3.1%)となっています。



#### (6) 居住地区

回答者の居住地区は、「保田地区」(41.7%)、「勝山地区」(41.1%)、「佐久間地区」(15.6%)となっています。



## 2. 調査の結果

### 1. 住みよさ・愛着度・定住意向などについて

#### (1) まちの住みよさ

問2 鋸南町の住み良さはいかがですか。

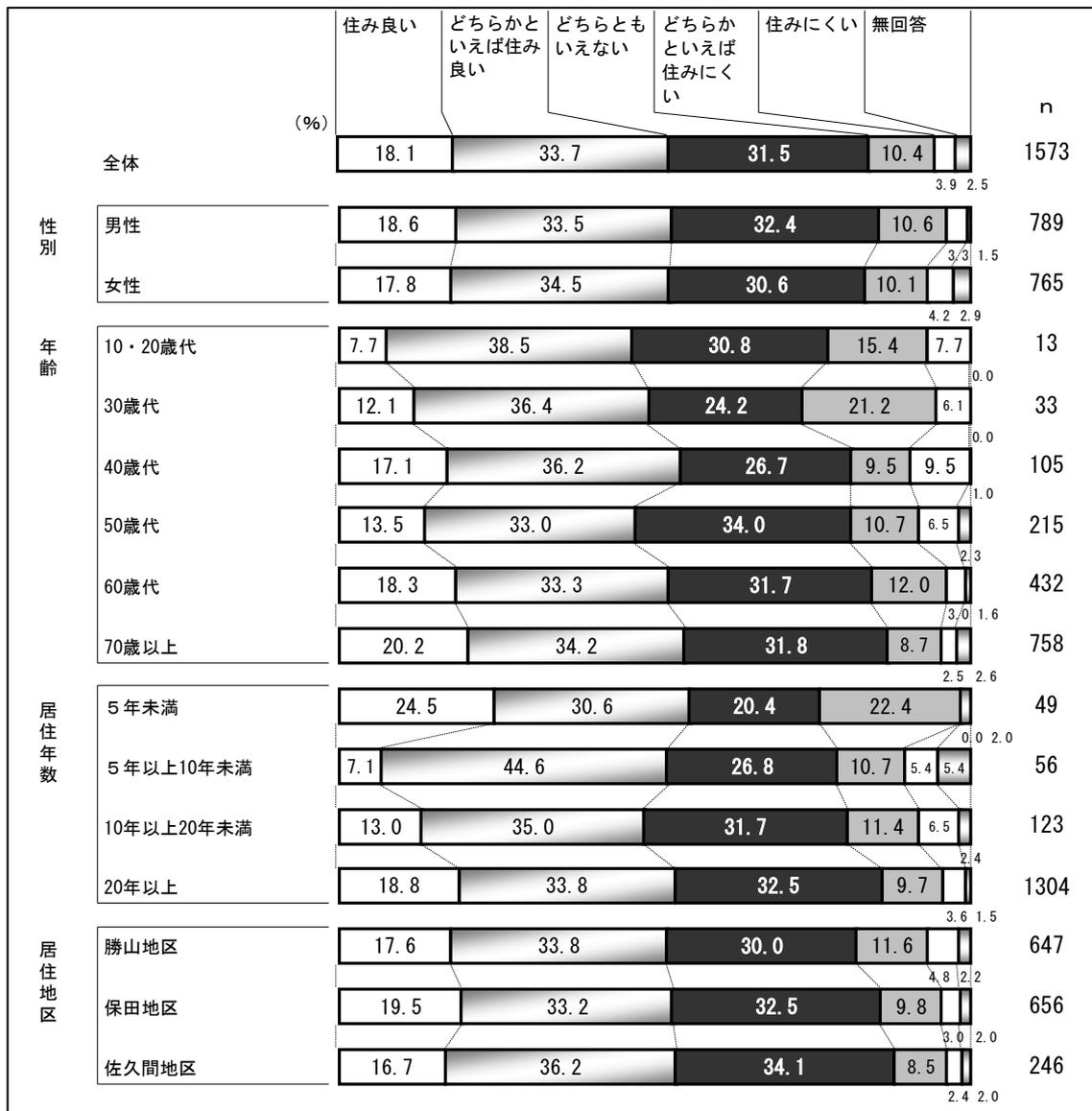
- “住み良い” が 51.8%、“住みにくい” が 14.3%。

住民が町の住みよさをどのように感じているかを把握するため、「住み良い」、「どちらかといえば住み良い」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば住みにくい」、「住みにくい」の中から1つを選んでもらいました。

その結果、「どちらかといえば住み良い」と答えた人が 33.7%で最も多く、これと「住み良い」(18.1%)をあわせた“住み良い”という人が 51.8%となっています。これに対し、“住みにくい”という人(「どちらかといえば住みにくい」(10.4%)と「住みにくい」(3.9%)の合計)は 14.3%となっています。なお、「どちらともいえない」は 31.5%となっています。

[図表 1 参照]

図表1 まちの住みよさ（全体・性別・年齢・居住地区）



## (2) 今後の定住意向

問3 あなたは、これからも鋸南町に住み続けたいと思いますか。



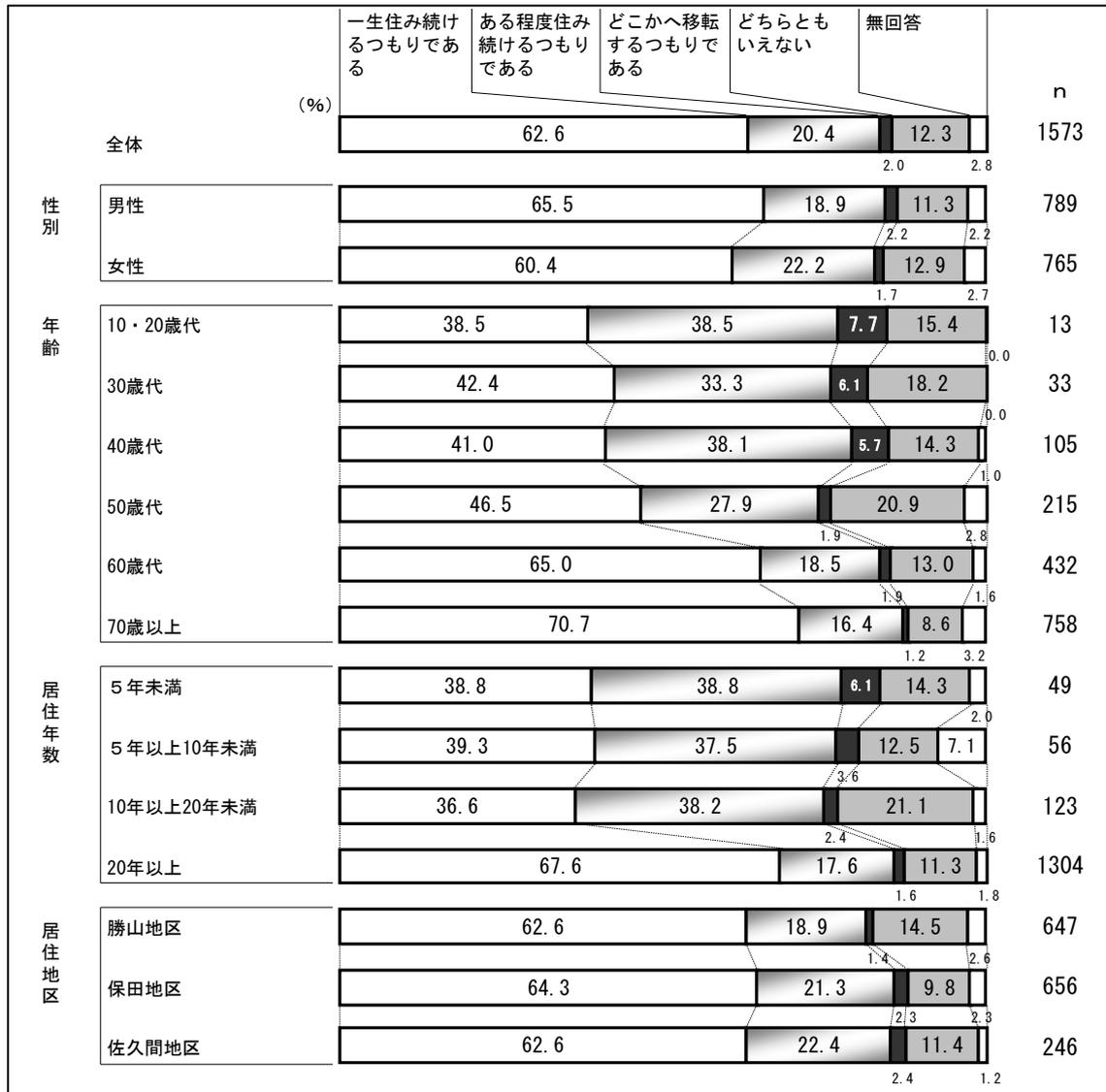
- “住み続ける”が83.0%、「どこかへ移転するつもりである」が2.0%。

住民の今後の定住意向を探るため、「一生住み続けるつもりである」、「ある程度住み続けるつもりである」、「どこかへ移転するつもりである」、「どちらともいえない」の中から1つを選んでもらいました。

その結果、「一生住み続けるつもりである」と答えた人が62.6%で最も多く、次いで「ある程度住み続けるつもりである」と答えた人が20.4%で続き、これらをあわせた“住み続ける”という人が83.0%と8割強にのぼっています。これに対し、「どこかへ移転するつもりである」という人は2.0%とわずかで、大半の人が町に住み続けたいという意向を持っていることがうかがえます。

[図表2参照]

図表2 今後の定住意向（全体・性別・年齢・居住地区）



## 2. 町の現状と今後の取り組みについて

### (1) 町の各環境に関する満足度

問4 鋸南町では、これまで鋸南町総合計画に基づき、各分野にわたる様々な施策を進めてきました。以下の項目についての現状の満足度と、今後の重要度をおたずねします。

(1) あなたは、以下の項目について、現在どの程度満足していますか。

- 満足度が最も高い項目は「健康の保持・増進」。次いで「消防・防災力の強化」、「教育施設の再編」の順。
- 満足度が最も低い項目は「交通基盤の充実」。次いで「商工業の振興」、「観光振興と定住の促進」の順。

町の環境に関する満足度について、現在どの程度満足しているかを把握するため、活力ある産業づくり、輝く人材づくり、安心生活づくりの3分野19項目を設定し、項目ごとに「満足している」、「どちらかといえば満足している」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば不満である」、「不満である」の5段階で評価してもらい、加重平均値による数量化【後述参照】で評価点（満足度：最高点10点、中間点0点、最低点-10点）を算出しました。

その結果、満足度が最も高い項目は「健康の保持・増進」（1.26点）となっており、次いで第2位が「消防・防災力の強化」（0.84点）、第3位が「教育施設の再編」（0.75点）、第4位が「学校教育の充実」（0.68点）、第5位が「地域福祉力の強化」（0.63点）、以下、「子ども・子育て支援」（0.43点）、「スポーツの振興」（0.16点）、「生涯学習の振興」（0.10点）、「地域文化の振興」（0.03点）などの順となっています。

一方、満足度が最も低い項目は「交通基盤の充実」（-3.04点）となっており、次いで第2位が「商工業の振興」（-2.76点）、第3位が「観光振興と定住の促進」（-1.61点）、第4位が「地域情報化の推進」（-1.06点）、第5位が「水産業の振興」（-0.89点）、以下、「生活環境の向上」（-0.80点）、「農林業の振興」（-0.57点）、「共生社会づくりの推進」（-0.54点）、「協働のまちづくりと行財政改革の推進」（-0.45点）、「循環型社会の形成」（-0.31点）などの順となっています。

全体的にみると、人材づくり分野の満足度が高く、産業分野の満足度が低くなっています。

また、19項目のうち、満足度がプラス評価の項目が9項目、マイナス評価の項目が10項目となっています。【図表3参照】

また、これを居住地区別でみると、以下のとおりとなっています。

#### 勝山地区

満足度の上位3項目は、第1位が「健康の保持・増進」(0.98点)、第2位が「消防・防災力の強化」(0.88点)、第3位が「教育施設の再編」(0.80点)となっています。

一方、下位3項目は、第1位が「交通基盤の充実」(-3.16点)、第2位が「商工業の振興」(-2.90点)、第3位が「観光振興と定住の促進」(-1.72点)となっています。

設定した19項目のうち、プラス評価の項目が9項目、マイナス評価の項目が10項目となっています。[図表4参照]

#### 保田地区

満足度の上位3項目は、第1位が「健康の保持・増進」(1.52点)、第2位が「地域福祉力の強化」(0.87点)、第3位が「消防・防災力の強化」(0.83点)となっています。

一方、下位3項目は、第1位が「交通基盤の充実」(-3.12点)、第2位が「商工業の振興」(-2.78点)、第3位が「観光振興と定住の促進」(-1.47点)となっています。

設定した19項目のうち、プラス評価の項目が8項目、マイナス評価の項目が11項目となっています。[図表4参照]

#### 佐久間地区

満足度の上位3項目は、第1位が「健康の保持・増進」(1.41点)、第2位が「教育施設の再編」(1.18点)、第3位が「学校教育の充実」・「消防・防災力の強化」(同点1.04点)となっています。

一方、下位3項目は、第1位が「交通基盤の充実」(-2.45点)、第2位が「商工業の振興」(-2.32点)、第3位が「観光振興と定住の促進」(-1.53点)となっています。

設定した19項目のうち、プラス評価の項目が10項目、マイナス評価の項目が9項目となっています。[図表4参照]

#### 【比較】

職員アンケート

● 満足度が高い項目：「子ども・子育て支援」、「教育施設の再編」、「健康の保持・増進」の順。

● 満足度が低い項目：「交通基盤の充実」、「地域情報化の推進」、「商工業の振興」の順。

※加重平均値による評価点（満足度）の算出方法

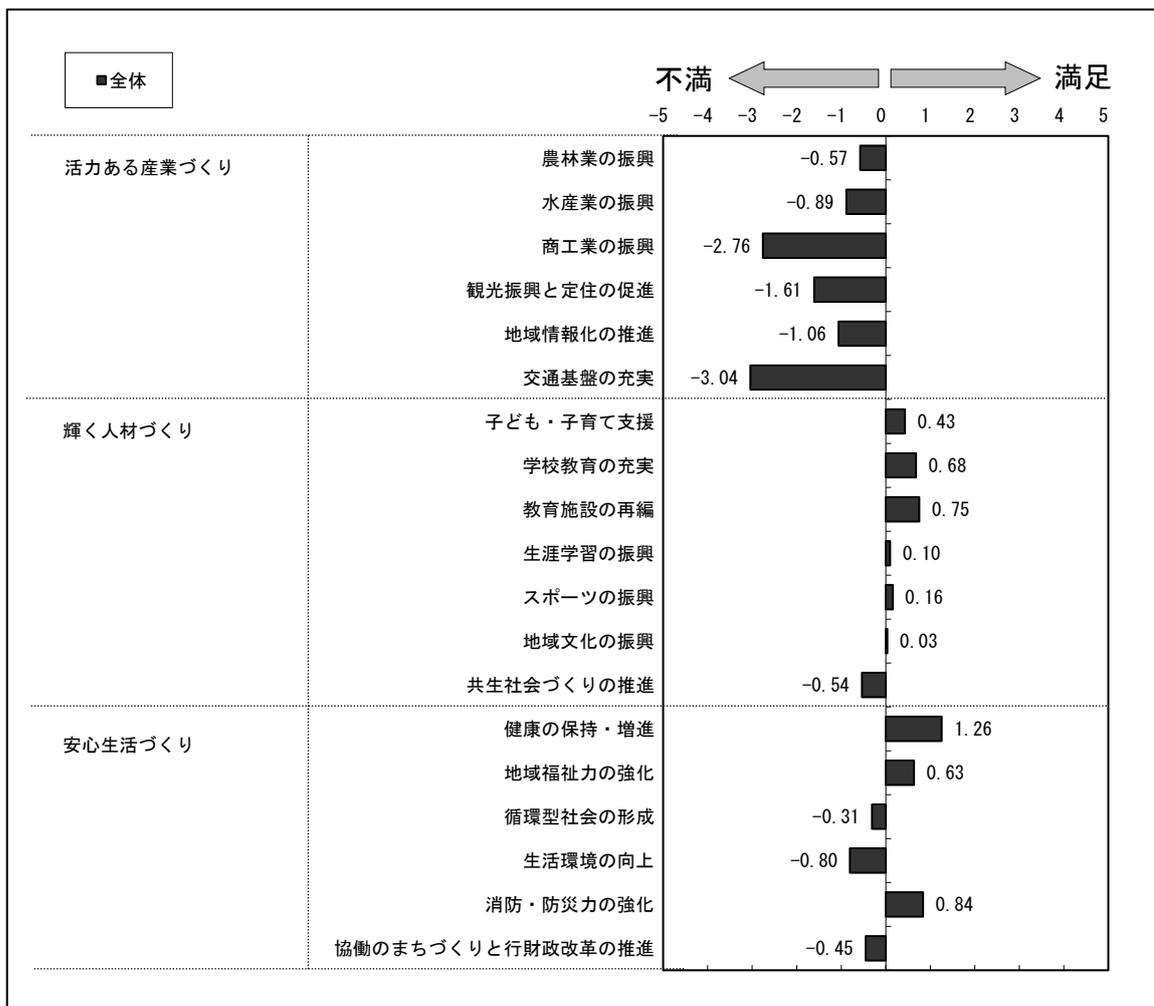
5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点（満足度）を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{matrix} \text{「満足している」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば満足している」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば不満である」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「不満である」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{matrix}}{\begin{matrix} \text{「満足している」、「どちらか} \\ \text{といえば満足している」、「ど} \\ \text{ちらともいえない」、「どちら} \\ \text{かといえば不満である」、「不} \\ \text{満である」の回答者数} \end{matrix}}$$

この算出方法により、評価点(満足度)は10点～-10点の間に分布し、中間点の0点を境に、10点に近くなるほど評価は高いと考えられ、逆に-10点に近くなるほど評価が低いと考えられる。

図表3 町の現状に関する満足度（全体）

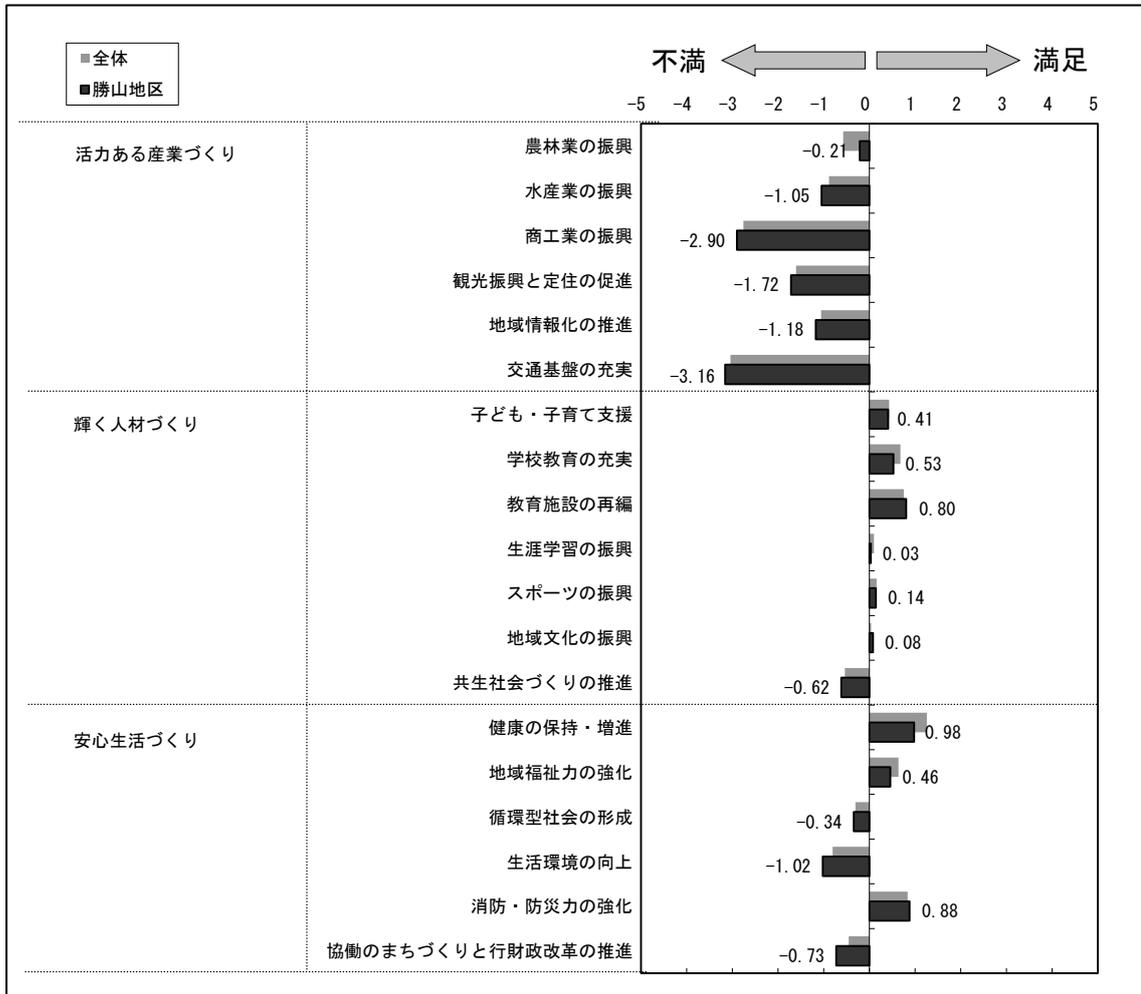
（単位：評価点）



図表4 町の各環境に関する満足度（居住地区）

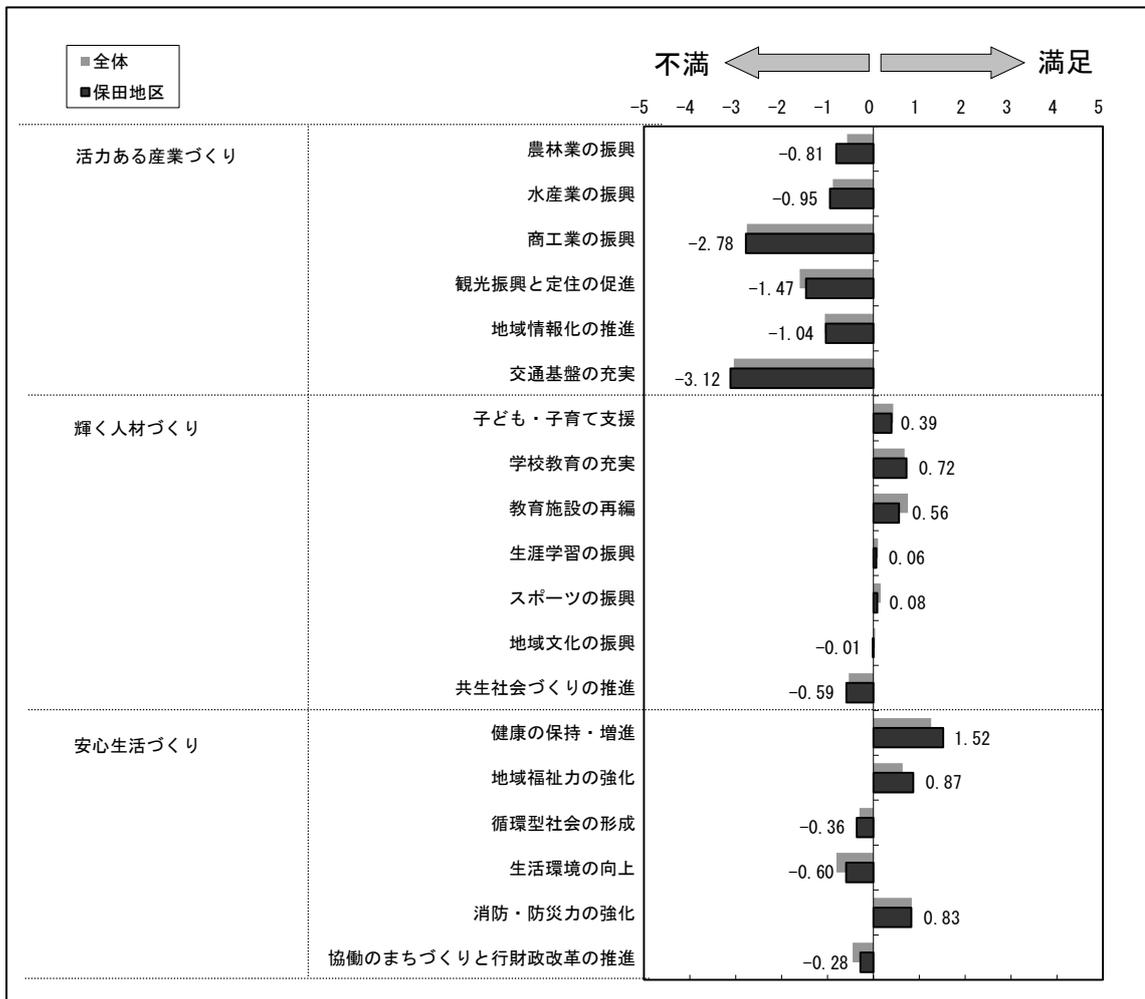
**勝山地区**

（単位：評価点）



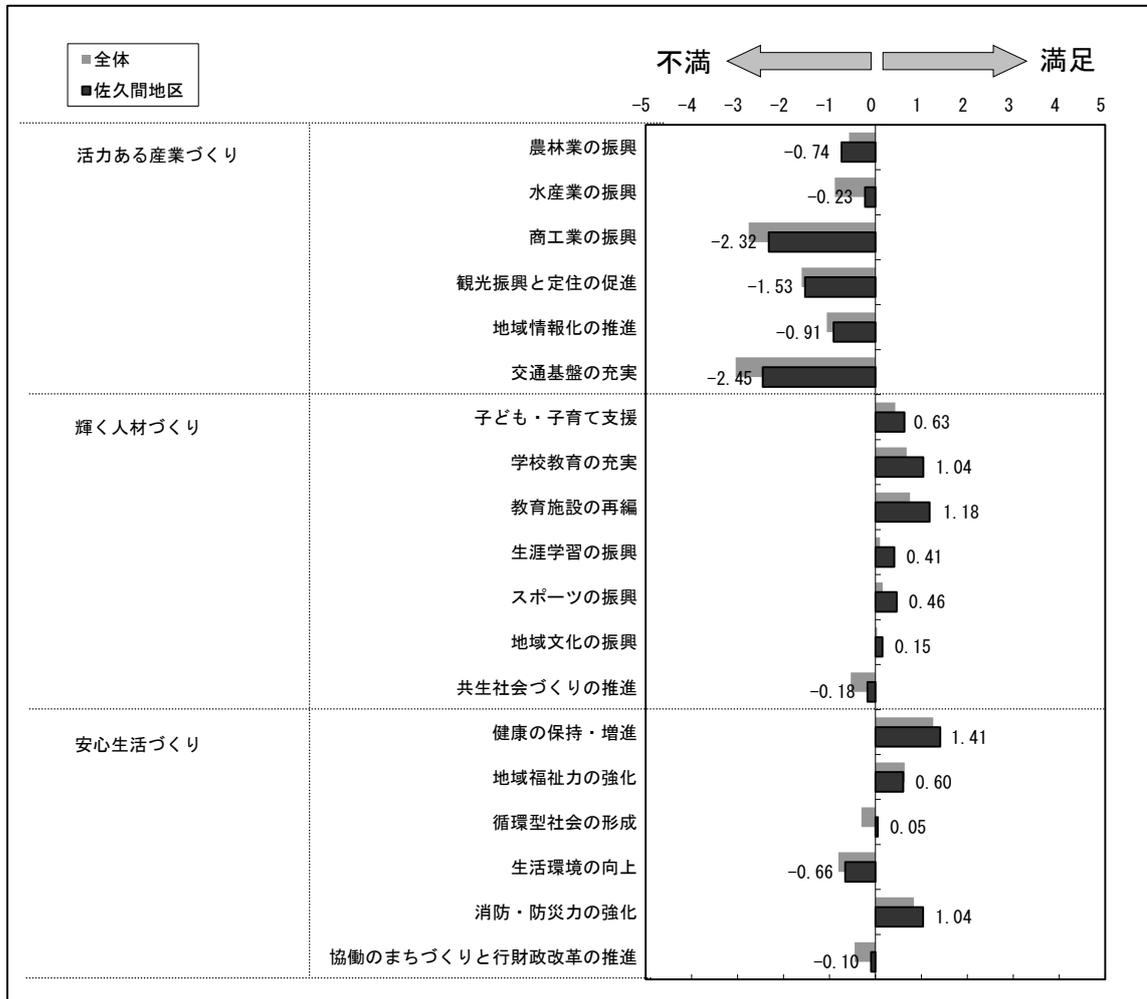
# 保田地区

(単位：評価点)



# 佐久間地区

(単位：評価点)



## (2) 町の各環境に関する重要度

問4 鋸南町では、これまで鋸南町総合計画に基づき、各分野にわたる様々な施策を進めてきました。以下の項目についての現状の満足度と、今後の重要度をおたずねします。  
(2) あなたは、以下の項目について、今後どの程度重視していますか。

- 重要度が最も高い項目は「消防・防災力の強化」。次いで「健康の保持・増進」、「地域福祉力の強化」、「子ども・子育て支援」、「生活環境の向上」の順。

町の各環境について、今後どの程度重視しているかを把握するため、満足度と同じ3分野19項目について、「重視している」、「やや重視している」、「どちらともいえない」、「あまり重視していない」、「重視していない」の5段階で評価してもらい、加重平均値による数量化〔後述参照〕で評価点（重要度：最高点10点、中間点0点、最低点-10点）を算出しました。

その結果、重要度が最も高い項目は「消防・防災力の強化」（4.52点）となっており、次いで第2位が「健康の保持・増進」（4.28点）、第3位が「地域福祉力の強化」（4.23点）、第4位が「子ども・子育て支援」（4.03点）、第5位が「生活環境の向上」（3.83点）、以下、「交通基盤の充実」（3.79点）、「学校教育の充実」（3.78点）、「観光振興と定住の促進」（3.66点）、「協働のまちづくりと行財政改革の推進」（3.40点）、「地域情報化の推進」（3.12点）などの順となっています。

これら上位10項目をみると、5項目が安心生活づくり、3項目が活力ある産業づくり、2項目が輝く人材づくりの項目となっており、これまでの設問結果においてもニーズが高い快適で安全・安心、便利な生活基盤・生活環境づくりと子育て支援、学校教育の充実が重視されていることがうかがえます。〔図表5参照〕

また、これを居住地区別でみると、以下のとおりとなっています。

### 勝山地区

重要度の上位5項目は、第1位が「消防・防災力の強化」（4.49点）、第2位が「地域福祉力の強化」（4.12点）、第3位が「健康の保持・増進」（4.07点）、第4位が「子ども・子育て支援」（3.85点）、第5位が「生活環境の向上」（3.79点）となっています。〔図表6参照〕

### 保田地区

重要度の上位5項目は、第1位が「消防・防災力の強化」（4.56点）、第2位が「健康の保持・増進」（4.55点）、第3位が「地域福祉力の強化」（4.45点）、第4位が「子ども・子育て支援」（4.23点）、第5位が「交通基盤の充実」（4.13点）となっています。〔図表6参照〕

### 佐久間地区

重要度の上位5項目は、第1位が「消防・防災力の強化」(4.50点)、第2位が「健康の保持・増進」(4.11点)、第3位が「交通基盤の充実」(4.06点)、第4位が「子ども・子育て支援」(4.01点)、第5位が「地域福祉力の強化」(3.91点)となっています。[図表6参照]

### 【比較】

職員アンケート

重要度が最も高い項目は「子ども・子育て支援」。次いで「観光振興と定住の促進」、「健康の保持・増進」、「消防・防災力の強化」、「地域福祉力の強化」の順。

#### ※加重平均値による評価点（重要度）の算出方法

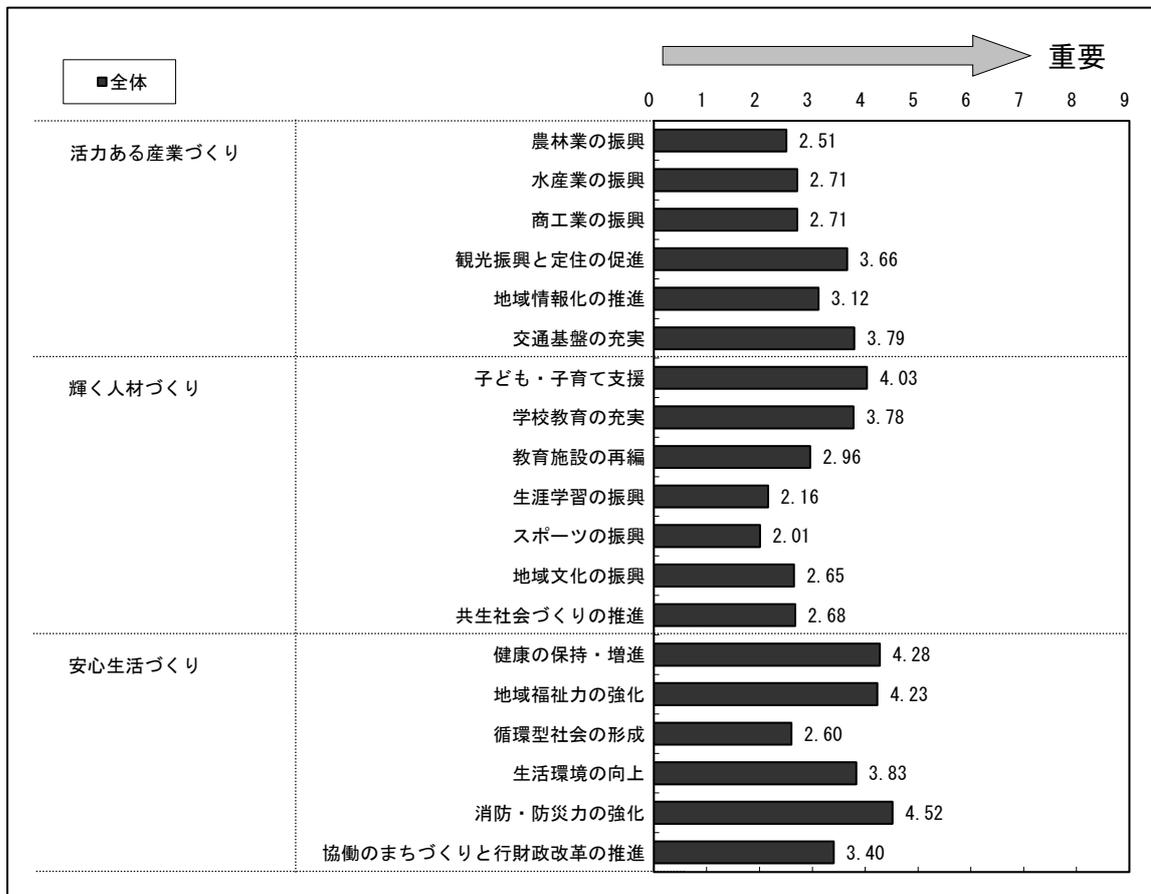
5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点（重要度）を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「重視している」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「やや重視している」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「あまり重視していない」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「重視していない」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{「重視している」、「やや重視し} \\ \text{ている」、「どちらともいえない」、} \\ \text{「あまり重視していない」、} \\ \text{「重視していない」の回答者数} \end{array}}$$

この算出方法により、評価点(重要度)は10点～-10点の間に分布し、中間点の0点を境に、10点に近くなるほど評価は高いと考えられ、逆に-10点に近くなるほど評価が低いと考えられる。

図表5 町の環境に関する重要度（全体）

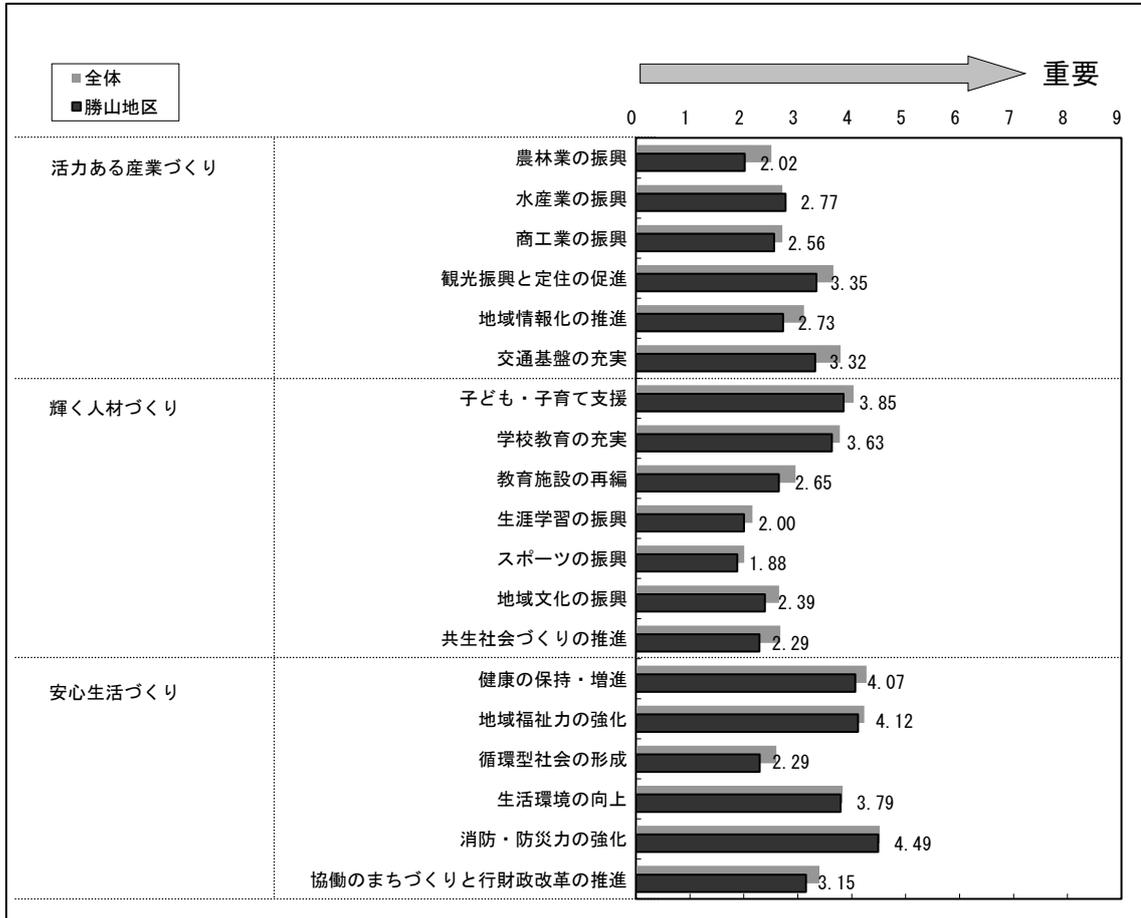
（単位：評価点）



図表6 町の環境に関する重要度（居住地区）

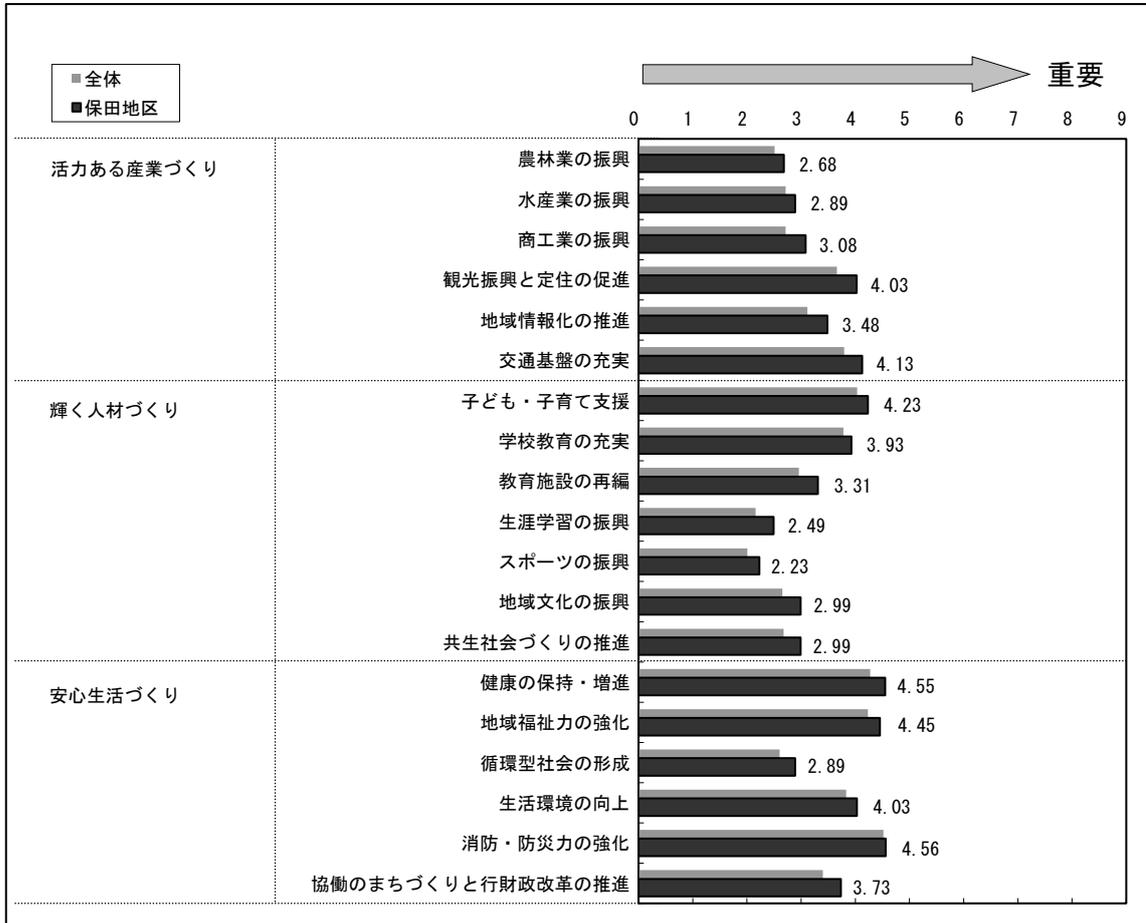
勝山地区

（単位：評価点）



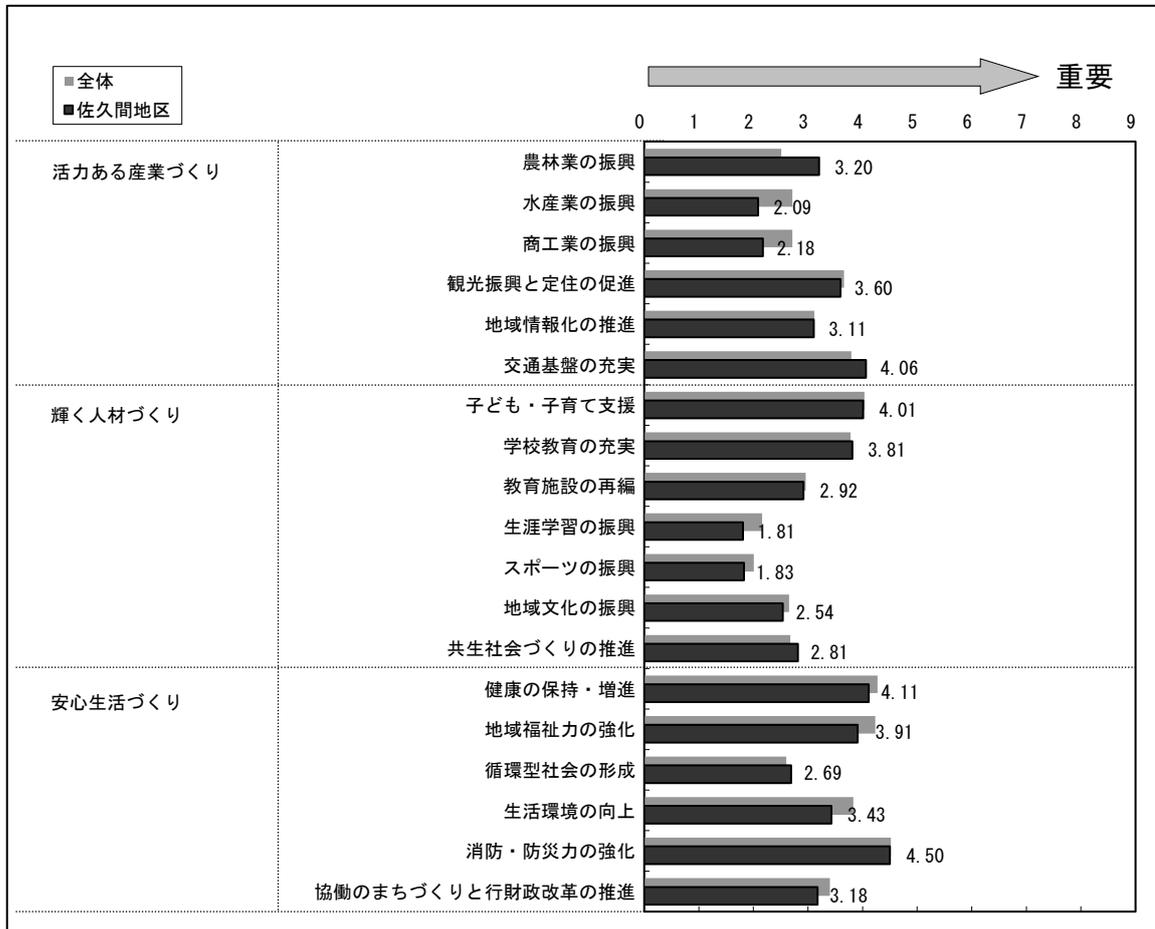
# 保田地区

(単位：評価点)



# 佐久間地区

(単位：評価点)



### (3) 満足度と重要度の相関（優先度）

- 満足度と重要度の相関からみた優先度が最も高い項目は「交通基盤の充実」。次いで「観光振興と定住の促進」、「生活環境の向上」、「商工業の振興」の順。

これまでみてきた満足度と重要度の分析結果を踏まえ、今後優先的に取り組むべき施策項目を抽出するための一つの試みとして、満足度評価と重要度評価を相関させた散布図を作成しました。このグラフでは、左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど優先度が高くなり、右下隅の「満足度評価最高・重要度評価最低」に近づくほど優先度が低くなります。この散布図による数量化【後述参照】で優先度（評価点：最高点42.43点、中間点0点、最低点-42.43点）を算出しました。

この結果をみると、優先度は、「交通基盤の充実」（16.74点）が第1位で、次いで「観光振興と定住の促進」（9.56点）、「生活環境の向上」（6.70点）、「商工業の振興」（6.34点）、「消防・防災力の強化」（2.86点）、「地域情報化の推進」（1.99点）、「地域福祉力の強化」（1.93点）、「子ども・子育て支援」（1.55点）、「協働のまちづくりと行財政改革の推進」（1.52点）などの順となっています。【図表7・8参照】

#### 【比較】

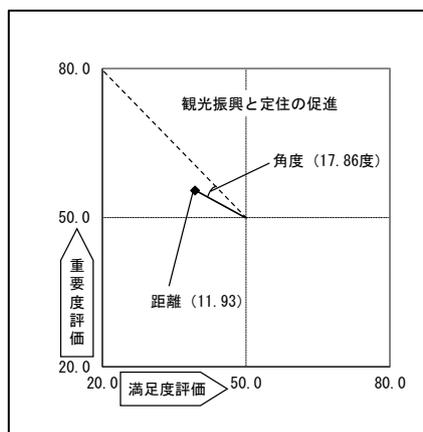
職員アンケート

- 優先度が高い項目：「消防・防災力の強化」。次いで「商工業の振興」、「交通基盤の充実」、「地域情報化の推進」の順。

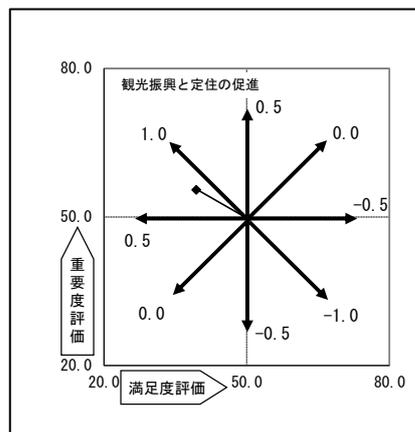
※散布図による評価点（優先度）の算出方法

- ① 散布図を作成するため満足度偏差値・重要度偏差値を算出する。  
例：「観光振興と定住の促進」→満足度偏差値 39.37…、重要度偏差値 55.44…
- ② ①で算出した偏差値から、平均（中心）からの距離を算出する。  
例：「観光振興と定住の促進」→ $11.93… = \sqrt{(39.37-50)^2 + (55.44-50)^2}$
- ③ 平均（中心）から「満足度評価最低・重要度評価最高」への線と平均（中心）から各項目への線の角度を求める。  
例：「観光振興と定住の促進」→17.86度
- ④ ③で求められた角度より修正指数を算出する（指数は下記のとおり設定し、左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど得点が高くなる）。  
例：「観光振興と定住の促進」→ $0.8015 = (90-17.86) \times (1 \div 90)$
- ⑤ ②で算出された平均（中心）からの距離と④で算出された修正指数から優先度を算出する。  
例：「観光振興と定住の促進」→ $9.56 = 11.93… \times 0.8015…$

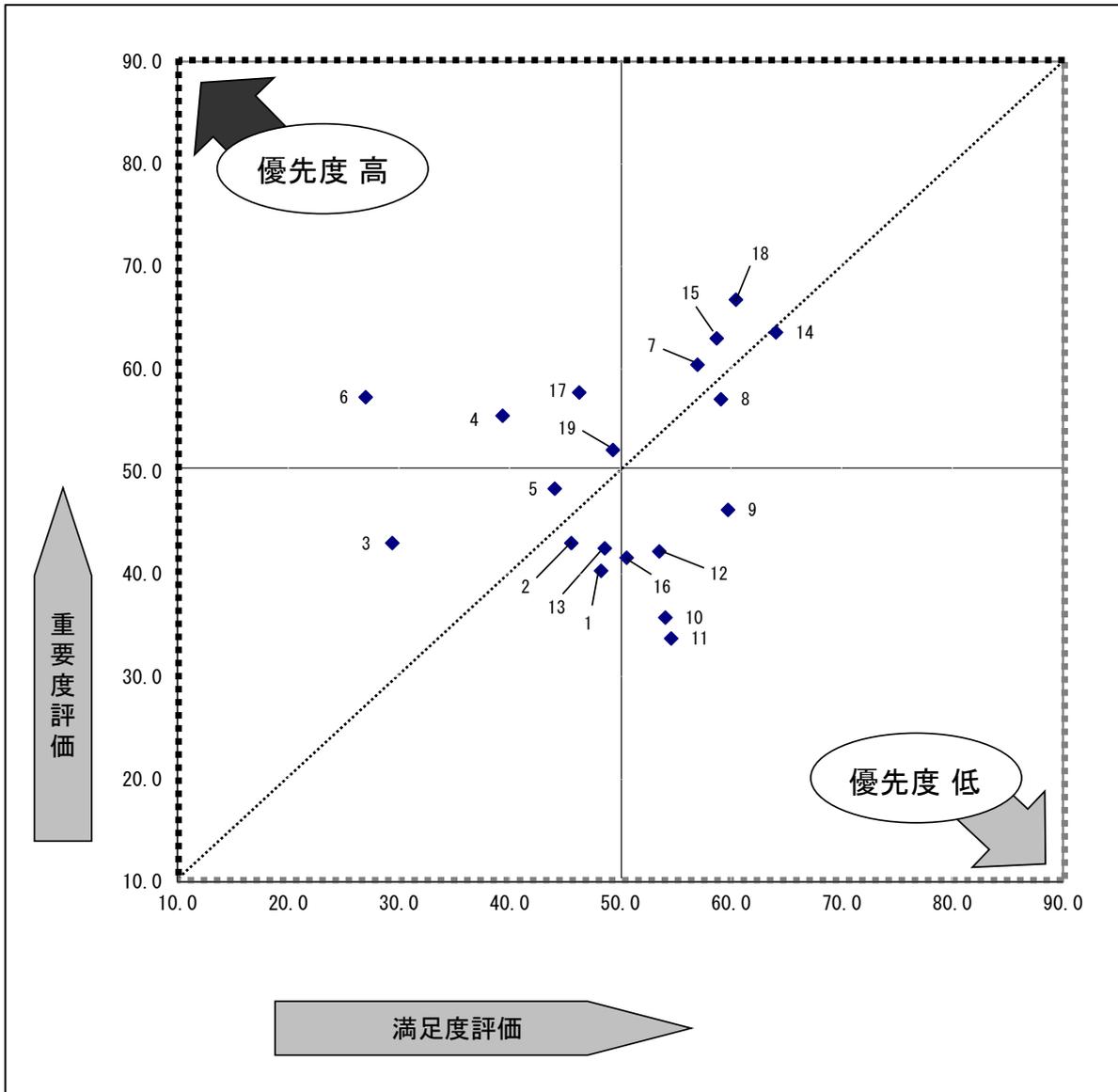
距離・角度



指数の設定



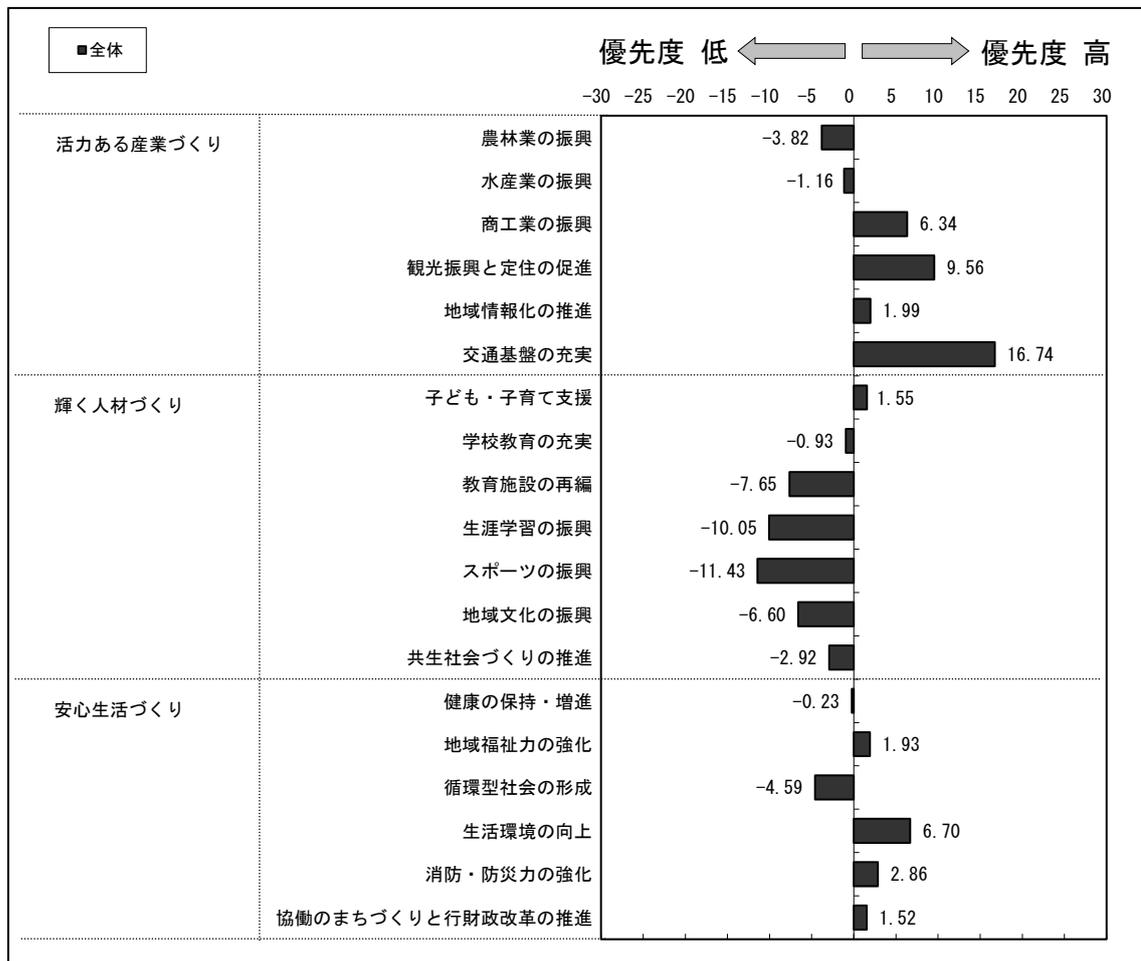
図表7 満足度と重要度の相関（全体／優先度）



優先度高い	優先度低い
6 交通基盤の充実	11 スポーツの振興
4 観光振興と定住の促進	10 生涯学習の振興
17 生活環境の向上	9 教育施設の再編
3 商工業の振興	12 地域文化の振興
18 消防・防災力の強化	16 循環型社会の形成
5 地域情報化の推進	1 農林業の振興
15 地域福祉力の強化	13 共生社会づくりの推進
7 子ども・子育て支援	2 水産業の振興
19 協働のまちづくりと行財政改革の推進	8 学校教育の充実
	14 健康の保持・増進

図表 8 満足度と重要度の相関（全体／優先度）

（単位：評価点）



### 3. まちづくりについて

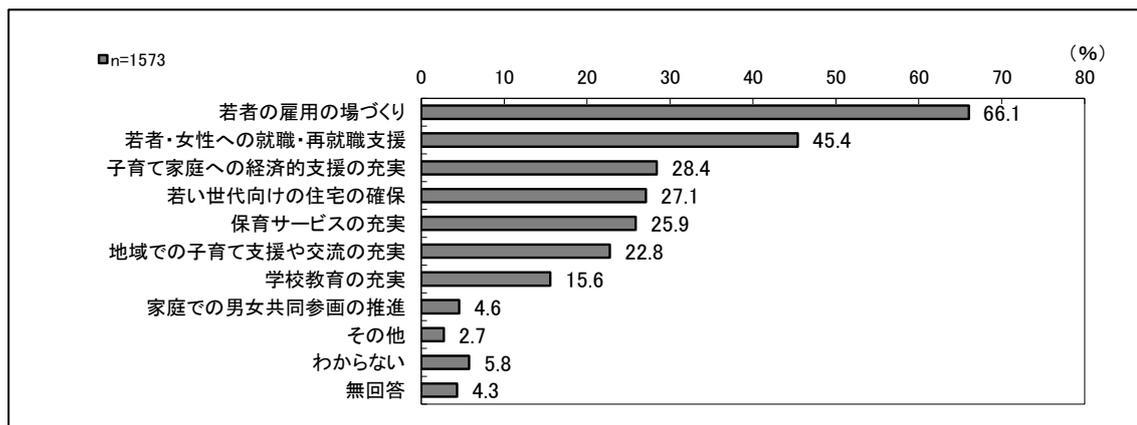
#### (1) 子育てしやすいまちになるために力を入べきこと

問5 あなたは鋸南町が子育てしやすいまちになるために、どのようなことに力を入れたらよいと思いますか。【複数回答】

- 「若者の雇用の場づくり」が第1位。

子育てしやすいまちになるために力を入べきことについては、「若者の雇用の場づくり」(66.1%)が最も多く、次いで「若者・女性への就職・再就職支援」(45.4%)、「子育て家庭への経済的支援の充実」(28.4%)、「若い世代向けの住宅の確保」(27.1%)、「保育サービスの充実」(25.9%)、「地域での子育て支援や交流の充実」(22.8%)、「学校教育の充実」(15.6%)、「家庭での男女共同参画の推進」(4.6%)などの順となっています。[図表9・10参照]

図表9 子育てしやすいまちになるために力を入べきこと (全体/複数回答)



図表 10 子育てしやすいまちになるために力を入べきこと  
 (全体・性別・年齢・居住地区－上位第3位／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		若者の雇用の場づくり 66.1	若者・女性への就職・再就職支援 45.4	子育て家庭への経済的支援の充実 28.4
性別	男性	若者の雇用の場づくり 70.2	若者・女性への就職・再就職支援 48.8	子育て家庭への経済的支援の充実 32.1
	女性	若者の雇用の場づくり 61.6	若者・女性への就職・再就職支援 42.4	保育サービスの充実 27.5
年齢	10・20歳代	若者の雇用の場づくり 84.6	子育て家庭への経済的支援の充実 61.5	若者・女性への就職・再就職支援 46.2
	30歳代	若者の雇用の場づくり 57.6	子育て家庭への経済的支援の充実 54.5	若者・女性への就職・再就職支援 48.5
	40歳代	若者の雇用の場づくり 61.0	子育て家庭への経済的支援の充実 42.9	若者・女性への就職・再就職支援／保育サービスの充実 34.3
	50歳代	若者の雇用の場づくり 63.3	若者・女性への就職・再就職支援 46.5	保育サービスの充実 34.4
	60歳代	若者の雇用の場づくり 69.2	若者・女性への就職・再就職支援 48.4	子育て家庭への経済的支援の充実 29.4
	70歳以上	若者の雇用の場づくり 65.4	若者・女性への就職・再就職支援 45.1	若い世代向けの住宅の確保 26.4
居住地区	勝山地区	若者の雇用の場づくり 65.5	若者・女性への就職・再就職支援 45.1	若い世代向けの住宅の確保 28.4
	保田地区	若者の雇用の場づくり 65.9	若者・女性への就職・再就職支援 47.3	子育て家庭への経済的支援の充実 30.2
	佐久間地区	若者の雇用の場づくり 67.5	若者・女性への就職・再就職支援 43.5	子育て家庭への経済的支援の充実 25.6

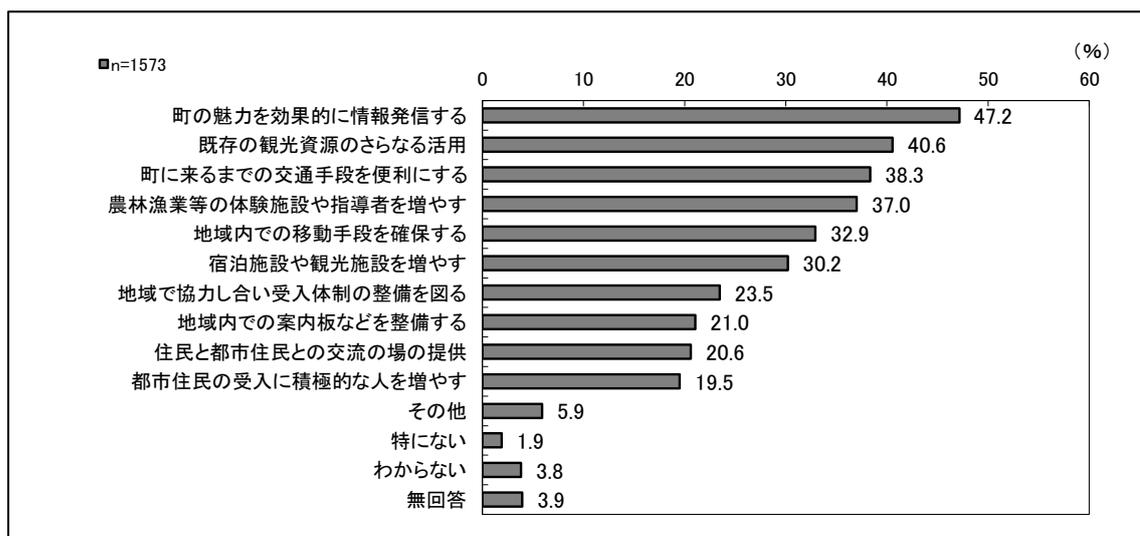
(2) 観光客誘致のためにすべきこと.

問6 観光客や来訪者が鋸南町にもっと訪れて滞在する機会を増やすにはどうすれば良いと思いますか。【複数回答】

- 「町の魅力を効果的に情報発信する」が第1位。

観光客誘致のためにすべきことについては、「町の魅力を効果的に情報発信する」(47.2%)が最も多く、次いで「既存の観光資源のさらなる活用」(40.6%)、「町に来るまでの交通手段を便利にする」(38.3%)、「農林漁業等の体験施設や指導者を増やす」(37.0%)、「地域内での移動手段を確保する」(32.9%)、「宿泊施設や観光施設を増やす」(30.2%)、「地域で協力し合い受入体制の整備を図る」(23.5%)、「地域内での案内板などを整備する」(21.0%)、「住民と都市住民との交流の場の提供」(20.6%)、「都市住民の受入に積極的な人を増やす」(19.5%)などの順となっています。[図表11・12参照]

図表11 観光客誘致のためにすべきこと。(全体/複数回答)



図表 12 観光客誘致のためにすべきこと。  
 (全体・性別・年齢・居住地区—上位第3位／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		町の魅力を効果的に情報発信する 47.2	既存の観光資源のさらなる活用 40.6	町に来るまでの交通手段を便利にする 38.3
性別	男性	町の魅力を効果的に情報発信する 49.9	既存の観光資源のさらなる活用 41.6	農林漁業等の体験施設や指導者を増やす 39.5
	女性	町の魅力を効果的に情報発信する 45.1	町に来るまでの交通手段を便利にする 43.5	既存の観光資源のさらなる活用 40.0
年齢	10・20歳代	地域内での移動手段を確保する 61.5	農林漁業等の体験施設や指導者を増やす 53.8	町の魅力を効果的に情報発信する 46.2
	30歳代	農林漁業等の体験施設や指導者を増やす 63.6	町の魅力を効果的に情報発信する 57.6	既存の観光資源のさらなる活用／宿泊施設や観光施設を増やす 42.4
	40歳代	町の魅力を効果的に情報発信する 50.5	既存の観光資源のさらなる活用 46.7	地域内での移動手段を確保する 41.9
	50歳代	既存の観光資源のさらなる活用 42.8	町の魅力を効果的に情報発信する 41.9	地域内での移動手段を確保する／農林漁業等の体験施設や指導者を増やす 36.7
	60歳代	町の魅力を効果的に情報発信する 49.1	既存の観光資源のさらなる活用 44.7	農林漁業等の体験施設や指導者を増やす 39.1
	70歳以上	町の魅力を効果的に情報発信する 47.2	町に来るまでの交通手段を便利にする 41.7	既存の観光資源のさらなる活用 37.2
居住地区	勝山地区	町の魅力を効果的に情報発信する 47.0	町に来るまでの交通手段を便利にする 41.9	農林漁業等の体験施設や指導者を増やす 37.6
	保田地区	町の魅力を効果的に情報発信する 48.3	既存の観光資源のさらなる活用 45.3	町に来るまでの交通手段を便利にする 40.2
	佐久間地区	町の魅力を効果的に情報発信する 46.7	既存の観光資源のさらなる活用 43.9	農林漁業等の体験施設や指導者を増やす 37.4

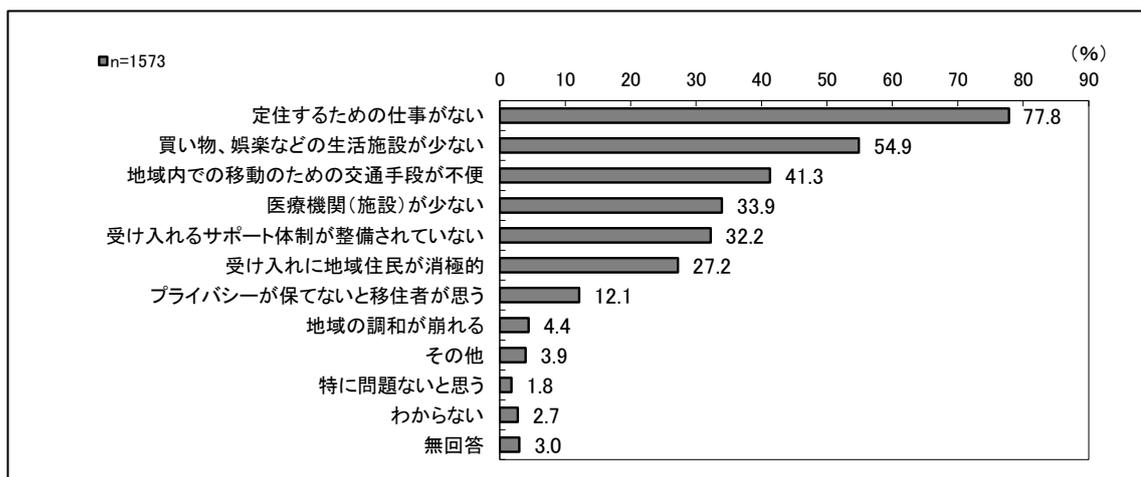
### (3) 他の地域から定住する際の問題点

問7 他の地域から鋸南町に定住する際の問題点は何だと思いますか。【複数回答】

- 「定住するための仕事がない」が第1位。

他の地域から定住する際の問題点については、「定住するための仕事がない」(77.8%)が最も多く、次いで「買い物、娯楽などの生活施設が少ない」(54.9%)、「地域内での移動のための交通手段が不便」(41.3%)、「医療機関(施設)が少ない」(33.9%)、「受け入れるサポート体制が整備されていない」(32.2%)、「受け入れに地域住民が消極的」(27.2%)、「プライバシーが保てないと移住者が思う」(12.1%)、「地域の調和が崩れる」(4.4%)などの順となっています。[図表13・14参照]

図表13 他の地域から定住する際の問題点(全体/複数回答)



図表 14 他の地域から定住する際の問題点  
 (全体・性別・年齢・居住地区－上位第3位／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		定住するための仕事がない 77.8	買い物、娯楽などの生活施設が少ない 54.9	地域内での移動のための交通手段が不便 41.3
性別	男性	定住するための仕事がない 79.1	買い物、娯楽などの生活施設が少ない 49.3	受け入れるサポート体制が整備されていない 37.3
	女性	定住するための仕事がない 76.7	買い物、娯楽などの生活施設が少ない 60.8	地域内での移動のための交通手段が不便 48.8
年齢	10・20歳代	定住するための仕事がない 92.3	買い物、娯楽などの生活施設が少ない 69.2	地域内での移動のための交通手段が不便 38.5
	30歳代	定住するための仕事がない 87.9	買い物、娯楽などの生活施設が少ない 69.7	地域内での移動のための交通手段が不便／医療機関(施設)が少ない／受け入れるサポート体制が整備されていない 36.4
	40歳代	定住するための仕事がない 81.0	買い物、娯楽などの生活施設が少ない 56.2	地域内での移動のための交通手段が不便 49.5
	50歳代	定住するための仕事がない 83.3	買い物、娯楽などの生活施設が少ない 59.1	地域内での移動のための交通手段が不便 45.6
	60歳代	定住するための仕事がない 78.5	買い物、娯楽などの生活施設が少ない 54.9	地域内での移動のための交通手段が不便 38.4
	70歳以上	定住するための仕事がない 74.9	買い物、娯楽などの生活施設が少ない 52.5	地域内での移動のための交通手段が不便 41.2
居住地区	勝山地区	定住するための仕事がない 80.1	買い物、娯楽などの生活施設が少ない 62.6	地域内での移動のための交通手段が不便 42.5
	保田地区	定住するための仕事がない 77.1	買い物、娯楽などの生活施設が少ない 53.0	地域内での移動のための交通手段が不便 40.1
	佐久間地区	定住するための仕事がない 76.0	地域内での移動のための交通手段が不便 43.5	買い物、娯楽などの生活施設が少ない 41.1

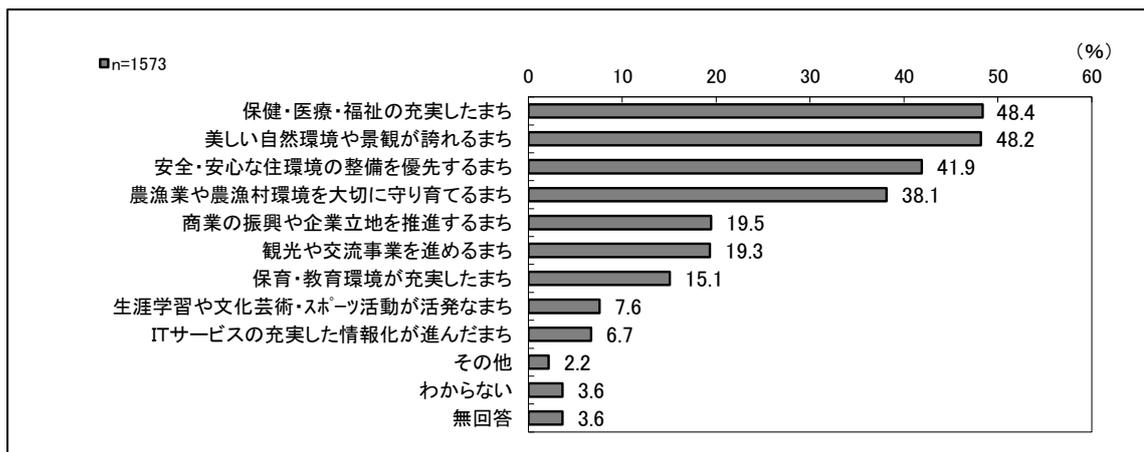
#### (4) 今後のまちづくりの特色

問8 あなたは、今後のまちづくりにおいて、鋸南町をどのようなまちにしたいと考えますか。【複数回答】

- 「保健・医療・福祉の充実したまち」と「美しい自然環境や景観が誇れるまち」が第1位、第2位を占める。

今後のまちづくりの特色については、「保健・医療・福祉の充実したまち」(48.4%)、「美しい自然環境や景観が誇れるまち」(48.2%)、「安全・安心な住環境の整備を優先するまち」(41.9%)、「農漁業や農漁村環境を大切に守り育てるまち」(38.1%)、「商業の振興や企業立地を推進するまち」(19.5%)、「観光や交流事業を進めるまち」(19.3%)、「保育・教育環境が充実したまち」(15.1%)、「生涯学習や文化芸術・スポーツ活動が活発なまち」(7.6%)、「ITサービスの充実した情報化が進んだまち」(6.7%)などの順となっています。[図表15・16参照]

図表15 今後のまちづくりの特色（全体／複数回答）



図表 16 今後どのようなまちにしたいか  
 (全体・性別・年齢・居住地区－上位第3位／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		保健・医療・福祉の充実したまち 48.4	美しい自然環境や景観が誇れるまち 48.2	安全・安心な住環境の整備を優先するまち 41.9
性別	男性	美しい自然環境や景観が誇れるまち 49.3	保健・医療・福祉の充実したまち 44.0	安全・安心な住環境の整備を優先するまち 40.8
	女性	保健・医療・福祉の充実したまち 52.9	美しい自然環境や景観が誇れるまち 47.1	安全・安心な住環境の整備を優先するまち 42.7
年齢	10・20歳代	美しい自然環境や景観が誇れるまち 61.5	安全・安心な住環境の整備を優先するまち／商業の振興や企業立地を推進するまち 46.2	
	30歳代	美しい自然環境や景観が誇れるまち 60.6	保育・教育環境が充実したまち 39.4	安全・安心な住環境の整備を優先するまち／農漁業や農漁村環境を大切に守り育てるまち 36.4
	40歳代	美しい自然環境や景観が誇れるまち 56.2	安全・安心な住環境の整備を優先するまち 41.9	農漁業や農漁村環境を大切に守り育てるまち／保健・医療・福祉の充実したまち 37.1
	50歳代	美しい自然環境や景観が誇れるまち 48.8	安全・安心な住環境の整備を優先するまち 45.6	保健・医療・福祉の充実したまち 44.7
	60歳代	保健・医療・福祉の充実したまち 51.4	美しい自然環境や景観が誇れるまち 47.0	安全・安心な住環境の整備を優先するまち 46.8
	70歳以上	保健・医療・福祉の充実したまち 50.5	美しい自然環境や景観が誇れるまち 46.8	農漁業や農漁村環境を大切に守り育てるまち 42.7
居住地区	勝山地区	保健・医療・福祉の充実したまち 51.3	安全・安心な住環境の整備を優先するまち／美しい自然環境や景観が誇れるまち 43.3	
	保田地区	美しい自然環境や景観が誇れるまち 53.5	保健・医療・福祉の充実したまち 47.1	安全・安心な住環境の整備を優先するまち 41.6
	佐久間地区	美しい自然環境や景観が誇れるまち 47.6	保健・医療・福祉の充実したまち 44.3	農漁業や農漁村環境を大切に守り育てるまち 43.5

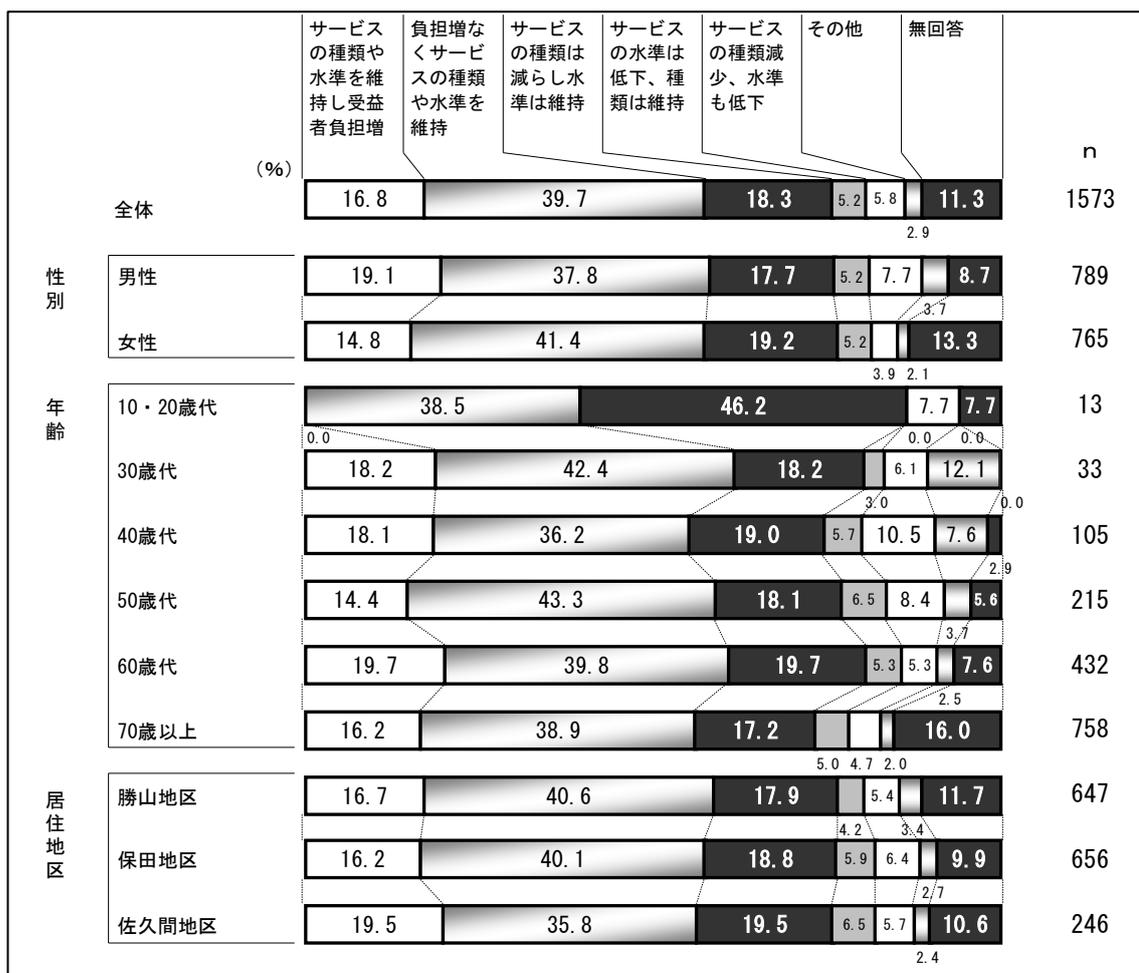
(5) これからの行政サービスのあり方

問9 地方自治体を取り巻く財政状況は依然として厳しく、これからのまちづくりは、限られた財源をより効果的に配分・活用していくことが求められています。  
 鋸南町においても経費の削減や収入の確保に努めていますが、このような時代を迎え、これからの行政サービスのあり方について、どのようにお考えですか。

● 「負担増なくサービスの種類や水準を維持」が39.7%で最も多い。

これからの行政サービスのあり方については、「負担増なくサービスの種類や水準を維持」(39.7%)、「サービスの種類は減らし水準は維持」(18.3%)、「サービスの種類や水準を維持し受益者負担増」(16.8%)、「サービスの種類減少、水準も低下」(5.8%)、「サービスの水準は低下、種類は維持」(5.2%)となっています。[図表17参照]

図表17 これからの行政サービスのあり方（全体・性別・年齢・居住地区）



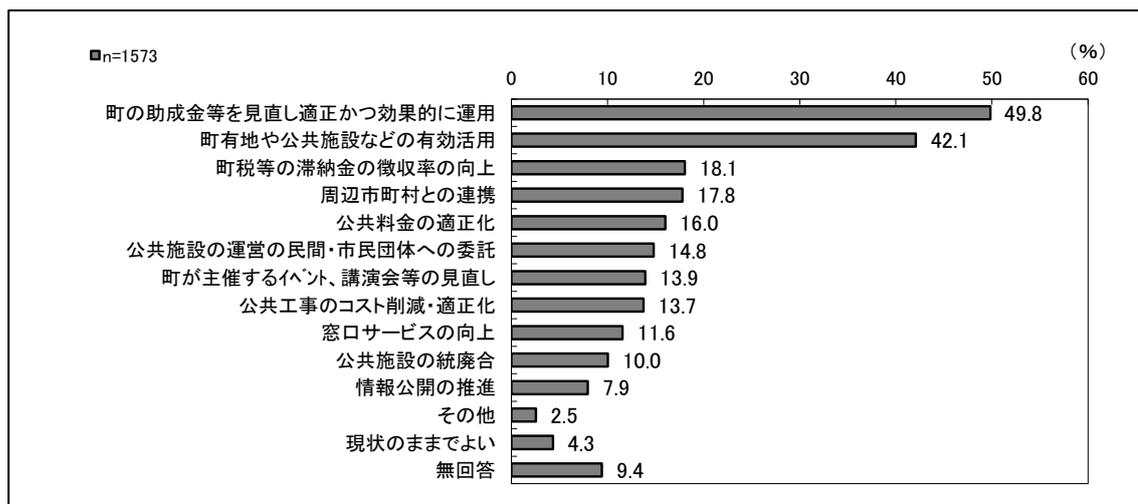
## (6) 今後の行財政改革で優先的に行うべき項目

問 10 あなたは、鋸南町の今後の行財政改革で優先的に行うべき項目は何だと思えますか。  
【複数回答】

- 「町の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用」が第1位、「町有地や公共施設などの有効活用」が第2位。

今後の行財政改革で優先的に行うべき項目については、「町の助成金等を見直し適正かつ効果的に運用」(49.8%)、「町有地や公共施設などの有効活用」(42.1%)、「町税等の滞納金の徴収率の向上」(18.1%)、「周辺市町村との連携」(17.8%)、「公共料金の適正化」(16.0%)、「公共施設の運営の民間・市民団体への委託」(14.8%)、「町が主催するイベント、講演会等の見直し」(13.9%)、「公共工事のコスト削減・適正化」(13.7%)、「窓口サービスの向上」(11.6%)、「公共施設の統廃合」(10.0%)、「情報公開の推進」(7.9%)などの順となっています。[図表 18・19 参照]

図表 18 今後の行財政改革で優先的に行うべき項目（全体／複数回答）



図表 19 今後の行財政改革で優先的に行うべき項目  
 (全体・性別・年齢・居住地区－上位第3位／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		町の助成金等を見直し適 正かつ効果的に運用 49.8	町有地や公共施設などの 有効活用 42.1	町税等の滞納金の徴収率 の向上 18.1
性別	男性	町の助成金等を見直し適 正かつ効果的に運用 49.0	町有地や公共施設などの 有効活用 43.9	町税等の滞納金の徴収率 の向上 18.9
	女性	町の助成金等を見直し適 正かつ効果的に運用 50.8	町有地や公共施設などの 有効活用 40.4	町税等の滞納金の徴収率 の向上／周辺市町村との 連携 17.3
年齢	10・20歳代	町の助成金等を見直し適 正かつ効果的に運用 53.8	町が主催するイベント、講演 会等の見直し 30.8	公共料金の適正化／周辺 市町村との連携 23.1
	30歳代	町有地や公共施設などの 有効活用 54.5	町の助成金等を見直し適 正かつ効果的に運用 51.5	周辺市町村との連携 33.3
	40歳代	町の助成金等を見直し適 正かつ効果的に運用 51.4	町有地や公共施設などの 有効活用 46.7	周辺市町村との連携 19.0
	50歳代	町の助成金等を見直し適 正かつ効果的に運用 51.6	町有地や公共施設などの 有効活用 42.3	公共料金の適正化 20.0
	60歳代	町の助成金等を見直し適 正かつ効果的に運用 53.7	町有地や公共施設などの 有効活用 47.2	町税等の滞納金の徴収率 の向上 18.5
	70歳以上	町の助成金等を見直し適 正かつ効果的に運用 47.1	町有地や公共施設などの 有効活用 38.5	町税等の滞納金の徴収率 の向上 18.5
居住地区	勝山地区	町の助成金等を見直し適 正かつ効果的に運用 50.7	町有地や公共施設などの 有効活用 43.7	町税等の滞納金の徴収率 の向上 18.1
	保田地区	町の助成金等を見直し適 正かつ効果的に運用 51.1	町有地や公共施設などの 有効活用 43.0	町税等の滞納金の徴収率 の向上 19.2
	佐久間地区	町の助成金等を見直し適 正かつ効果的に運用 44.7	町有地や公共施設などの 有効活用 37.0	町が主催するイベント、講演 会等の見直し 20.3

## 4. まちづくりへの意識と取り組みについて

### (1) 自身について

#### (1) 健康づくりに取り組んでいるか

問 11 まちづくりに対するあなたの「意識」と「取り組み」について、それぞれの質問ごとに、あなたのお考えに一番近い番号を1つ選んで○印をつけてください。  
問 11(1)-1 健康づくりに取り組んでいますか。

● “取り組んでいる”が52.1%、“取り組んでいない”が24.7%。

健康づくりに取り組んでいるかについては、「まあ取り組んでいる」(33.1%)と答えた人が最も多く、これと「取り組んでいる」(19.0%)をあわせた“取り組んでいる”が52.1%となっています。一方、“取り組んでいない”（「あまり取り組んでいない」(18.5%)と「取り組んでいない」(6.2%)の合計）は24.7%となっています。なお、「どちらともいえない」は19.6%となっています。[図表 20 参照]

図表 20 健康づくりに取り組んでいるか（全体・性別・年齢・居住地区）

	取り組んでいる	まあ取り組んでいる	どちらともいえない	あまり取り組んでいない	取り組んでいない	無回答	n
全体	19.0	33.1	19.6	18.5	6.2	3.6	1573
性別	男性	21.5	32.2	19.5	18.6	5.1	789
	女性	16.7	34.2	19.3	18.6	7.5	765
年齢	10・20歳代	38.5	23.1	38.5	0.0	0.0	13
	30歳代	12.1	24.2	27.3	18.2	15.2	33
	40歳代	12.4	31.4	28.6	21.0	6.7	105
	50歳代	13.0	27.0	17.2	29.3	12.6	215
	60歳代	14.8	35.4	20.8	19.0	6.5	432
	70歳以上	25.1	34.3	17.3	14.8	3.5	758
居住地区	勝山地区	17.5	34.2	19.2	19.5	6.5	647
	保田地区	21.6	33.1	18.1	18.8	5.3	656
	佐久間地区	16.3	31.7	23.6	16.7	7.7	246

(2) 運動・スポーツを行っている日数

問 11(1)-2 運動・スポーツ（通勤途上に意識的にウォーキングをする場合なども含む）を行っている日数はどのくらいですか。

● 「ほとんどしない」が35.3%、「週3日以上」が23.5%。

運動・スポーツを行っている日数については、「ほとんどしない」（35.3%）と答えた人が最も多く、以下「週3日以上」（23.5%）、「週1～2日」（21.4%）、「月1～3日」（11.0%）、「3か月に1～2日」（3.4%）となっています。

[図表 21 参照]

図表 21 運動・スポーツを行っている日数（全体・性別・年齢・居住地区）

		週3日以上	週1～2日	月1～3日	3か月に1～2日	ほとんどしない	無回答	n
	(%)							
全体		23.5	21.4	11.0	3.4	35.3	5.4	1573
性別	男性	25.0	21.9	10.0	3.3	35.1	4.7	789
	女性	21.8	21.4	12.0	3.4	35.6	5.8	765
年齢	10・20歳代	7.7	15.4	7.7	0.0	69.2	0.0	13
	30歳代	15.2	21.2	12.1	3.0	48.5	0.0	33
	40歳代	16.2	22.9	13.3	3.8	43.8	0.0	105
	50歳代	19.1	20.0	13.0	2.8	44.2	0.9	215
	60歳代	23.1	19.9	11.1	3.9	37.7	4.2	432
	70歳以上	26.4	23.0	10.2	3.0	29.6	7.9	758
居住地区	勝山地区	21.6	24.7	9.6	3.7	35.1	5.3	647
	保田地区	25.6	22.4	11.7	2.7	32.9	4.6	656
	佐久間地区	21.5	11.8	12.6	4.1	44.3	5.7	246

### (3) 健康管理のための取り組み

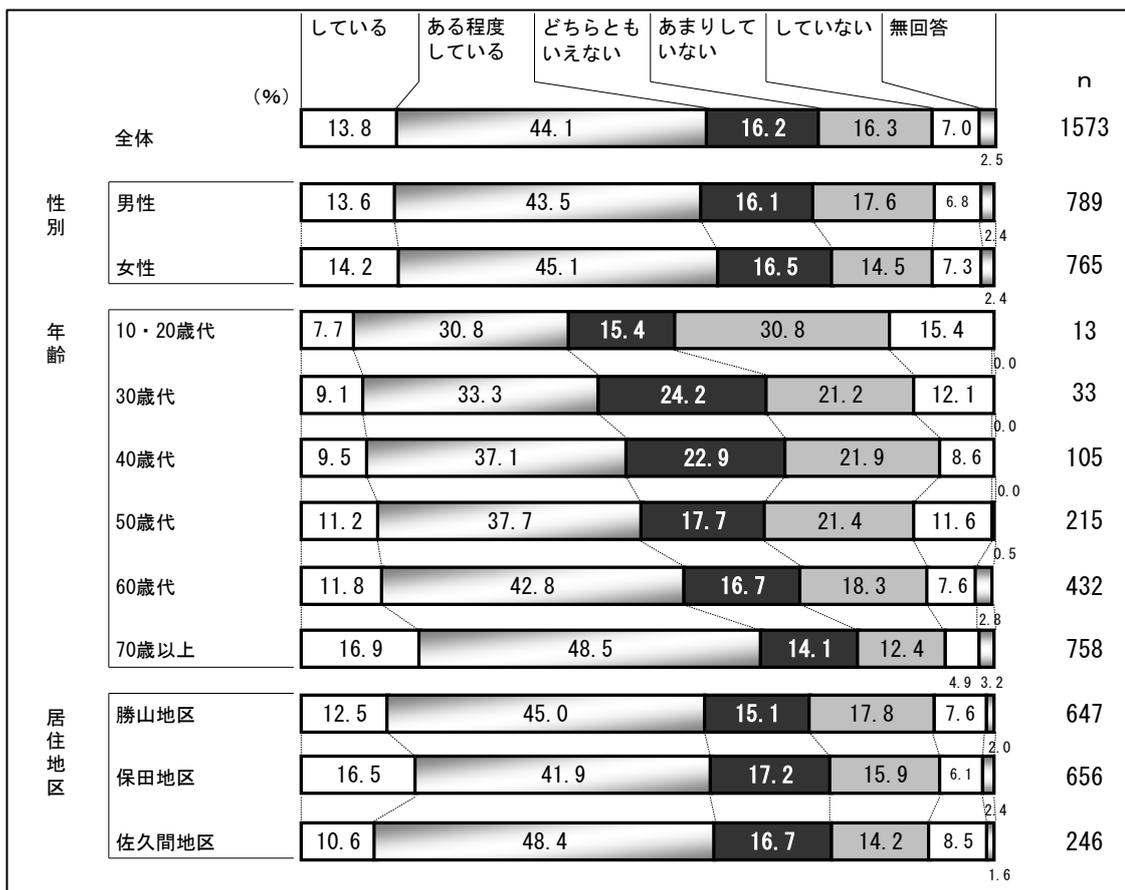
問 11(1)-3 日頃、食生活の改善や運動など、健康管理のための取り組みをしていますか。

- “している” が 57.9%、“していない” が 23.3%。

健康管理のための取り組みについては、「ある程度している」(44.1%)と答えた人が最も多く、これと「している」(13.8%)をあわせた“している”が57.9%となっています。一方、“していない”(「あまりしていない」(16.3%)と「していない」(7.0%)の合計)は23.3%となっています。なお、「どちらともいえない」は16.2%となっています。

[図表 22 参照]

図表 22 健康管理のための取り組み（全体・性別・年齢・居住地区）



#### (4) 老後への不安

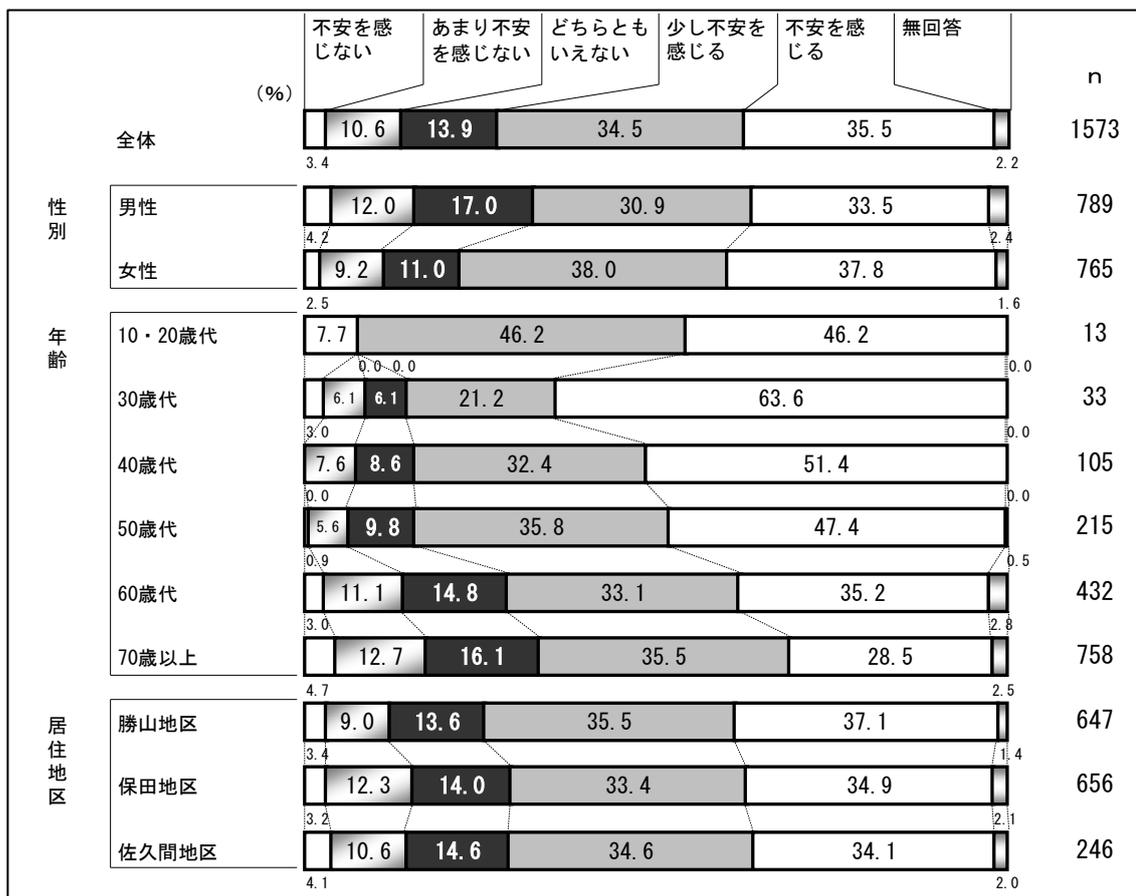
問 11(1)-4 老後に不安を感じますか。

- “不安を感じる”が70.0%、“不安を感じない”が14.0%。

老後への不安については、「不安を感じる」(35.5%)と答えた人が最も多く、次いで「少し不安を感じる」(34.5%)が続き、これらをあわせた“不安を感じる”が70.0%となっています。一方、“不安を感じない”(「あまり不安を感じない」(10.6%)と「不安を感じない」(3.4%)の合計)は14.0%となっています。なお、「どちらともいえない」は13.9%となっています。

[図表 23 参照]

図表 23 老後への不安 (全体・性別・年齢・居住地区)



(5) かかりつけ医の有無

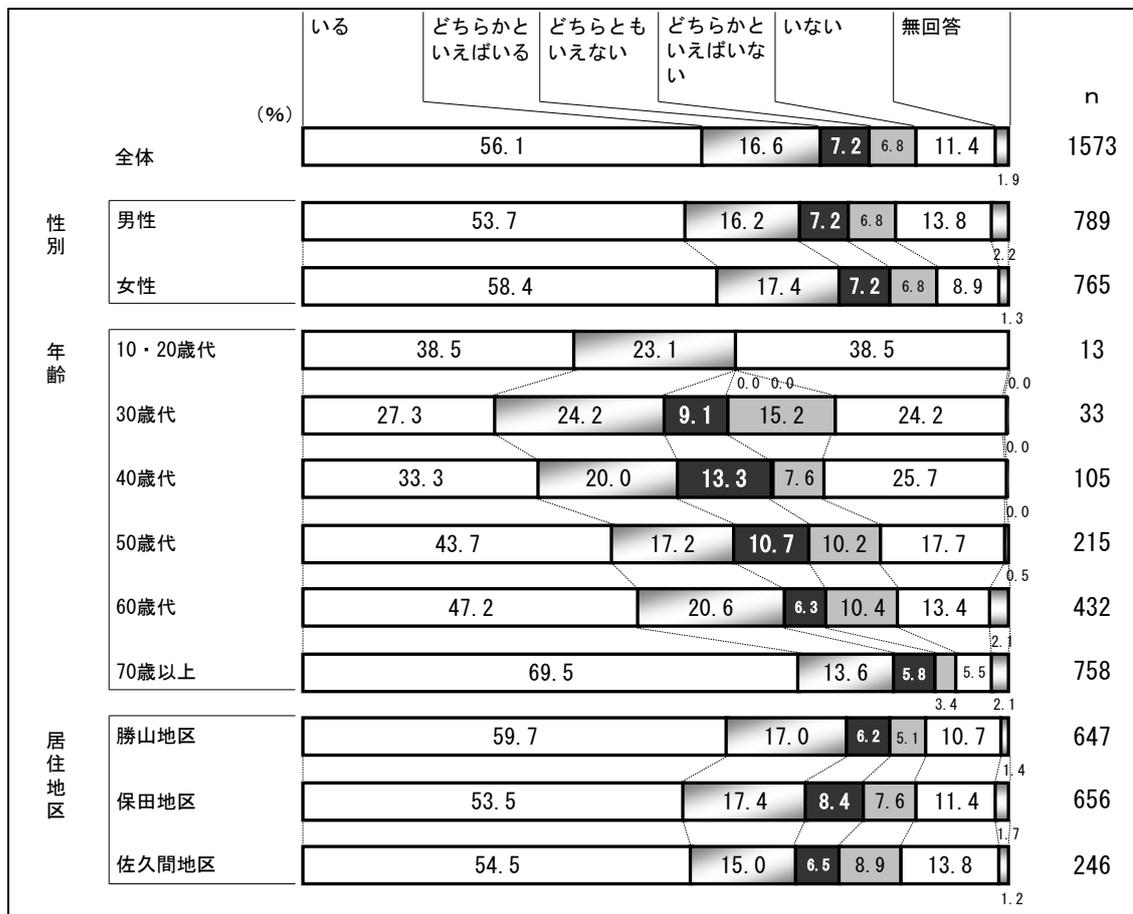
問 11(1)-5 かかりつけの医者はいますか。

- “いる” が 72.7%、“いない” が 18.2%。

かかりつけ医の有無については、「いる」(56.1%)と答えた人が最も多く、次いで「どちらかといえばいる」(16.6%)が続き、これらをあわせた“いる”が72.7%となっています。一方、“いない”(「いない」(11.4%)と「どちらかといえばいない」(6.8%)の合計)は18.2%となっています。なお、「どちらともいえない」は7.2%となっています。

[図表 24 参照]

図表 24 かかりつけ医の有無 (全体・性別・年齢・居住地区)



(6) 自然を守るためなら生活が不便でもよいか

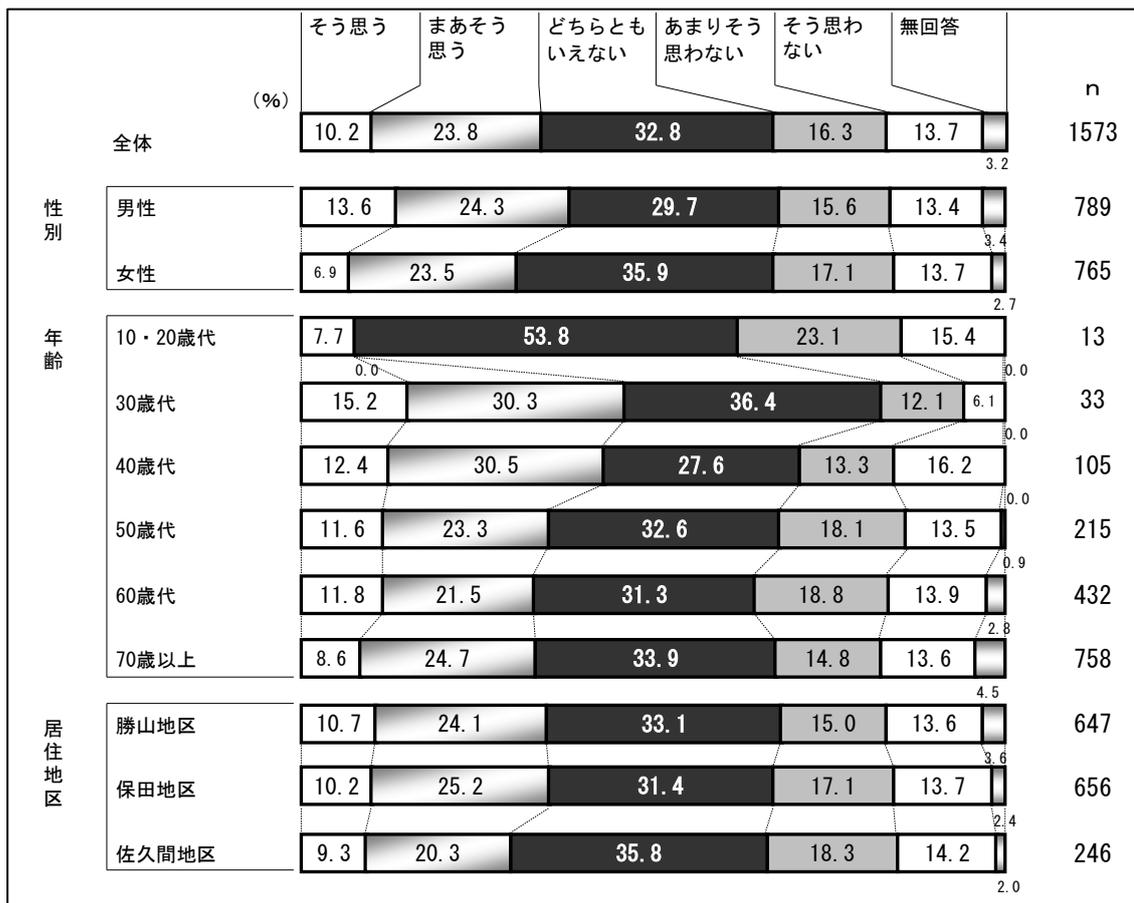
問 11(1)-6 自然を守るためなら生活が少し不便でもいいですか。

● “そう思う” が 34.0%、“そう思わない” が 30.0%。

自然を守るためなら生活が不便でもよいかどうかについては、「どちらともいえない」(32.8%)と答えた人が最も多く、次いで「まあそう思う」(23.8%)が続き、これと「そう思う」(10.2%)をあわせた“そう思う”は34.0%となっています。一方、“そう思わない”(「あまりそう思わない」(16.3%)と「そう思わない」(13.7%)の合計)は30.0%となっています。

[図表 25 参照]

図表 25 自然を守るためなら生活が不便でもよいか (全体・性別・年齢・居住地区)



(7) 森や川などを守るための取り組みに協力したいか

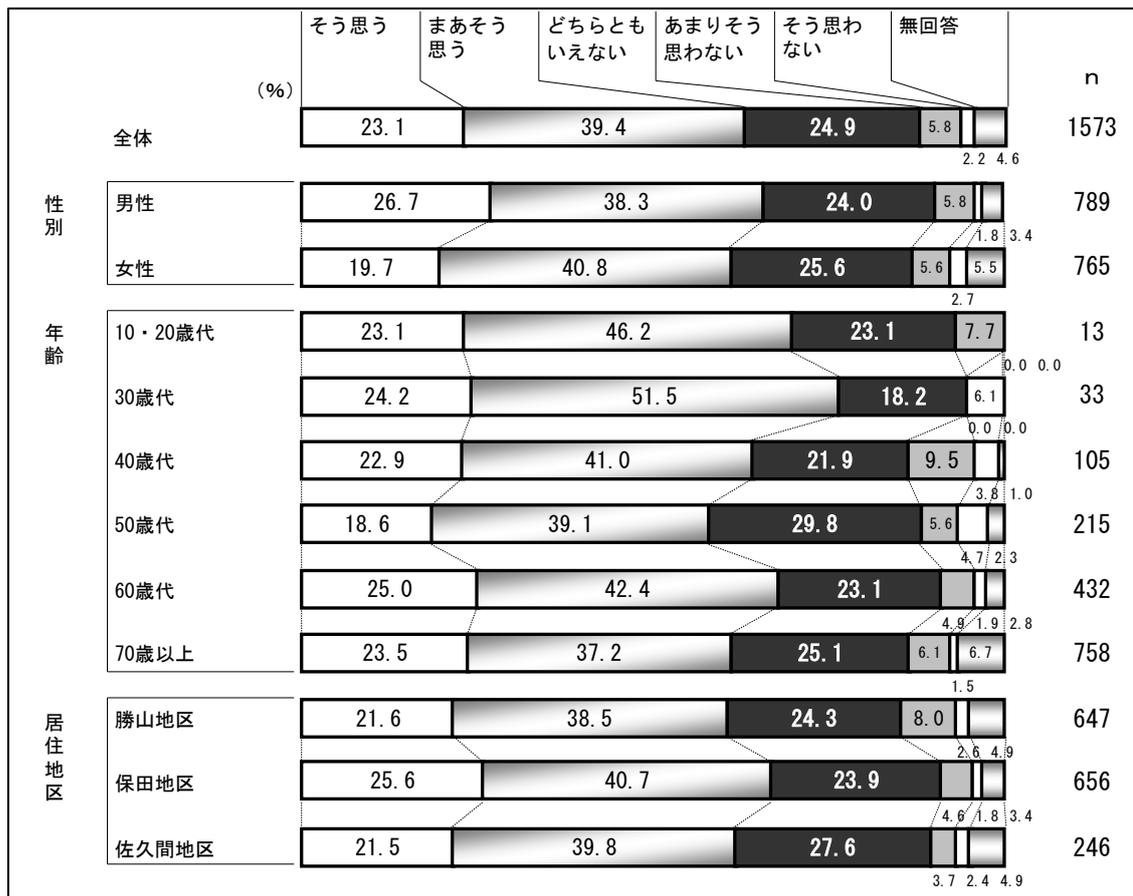
問 11(1)-7 森や川などを守るための取り組みに協力したいと思いますか。

- “そう思う” が 62.5%、“そう思わない” が 8.0%。

森や川などを守るための取り組みに協力したいかどうかについては、「まあそう思う」(39.4%)と答えた人が最も多く、これと「そう思う」(23.1%)をあわせた“そう思う”は62.5%となっています。一方、“そう思わない”（「あまりそう思わない」(5.8%)と「そう思わない」(2.2%)の合計）は8.0%となっています。なお、「どちらともいえない」は24.9%となっています。

[図表 26 参照]

図表 26 森や川などを守るための取り組みに協力したいか（全体・性別・年齢・居住地区）



(8) 環境に配慮した生活をしているか

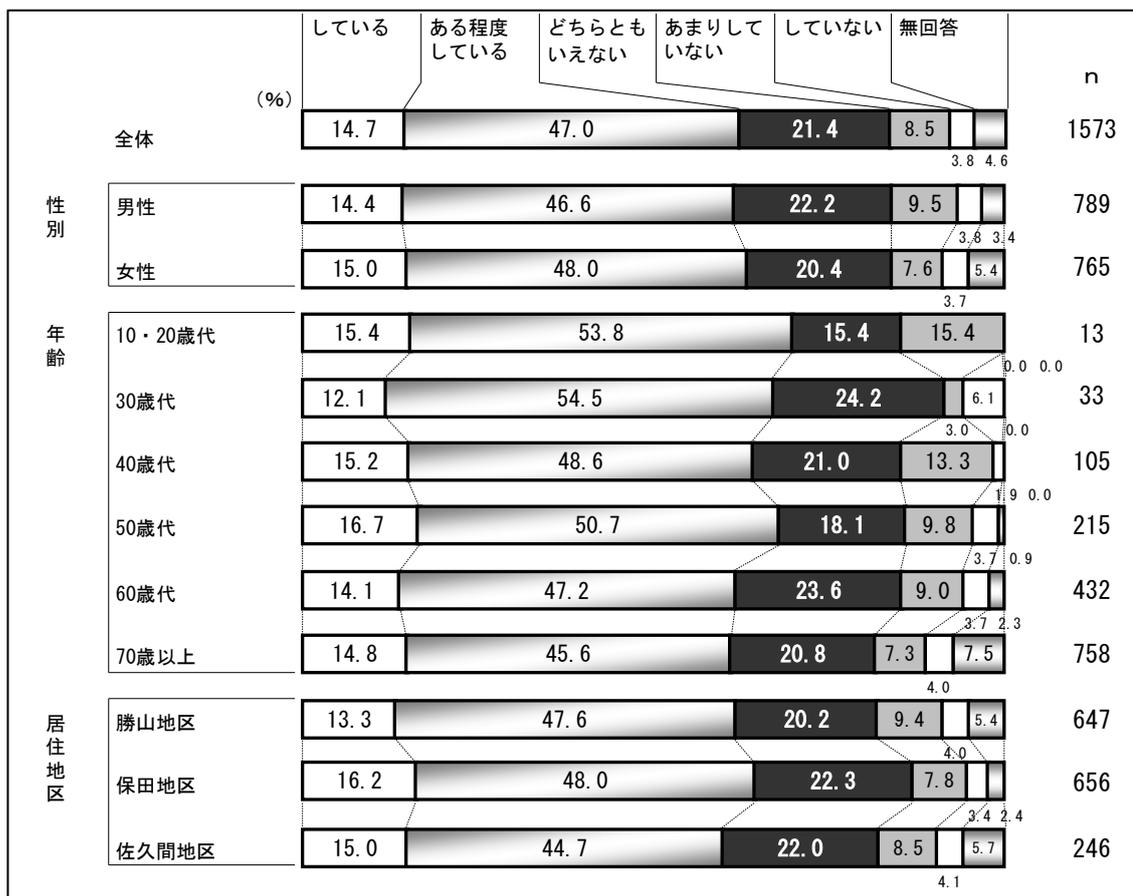
問 11(1)-8 環境美化や省資源・省エネルギー、アイドリングストップなど、環境に配慮した生活をしていますか。

● “している” が 61.7%、“していない” が 12.3%。

環境に配慮した生活をしているかどうかについては、「ある程度している」(47.0%)と答えた人が最も多く、これと「している」(14.7%)をあわせた“している”は61.7%となっています。一方、“していない”（「あまりしていない」(8.5%)と「していない」(3.8%)の合計）は12.3%となっています。なお、「どちらともいえない」は21.4%となっています。

[図表 27 参照]

図表 27 環境に配慮した生活をしているか（全体・性別・年齢・居住地区）



(9) 電気のムダを気にかける等環境に配慮しているか

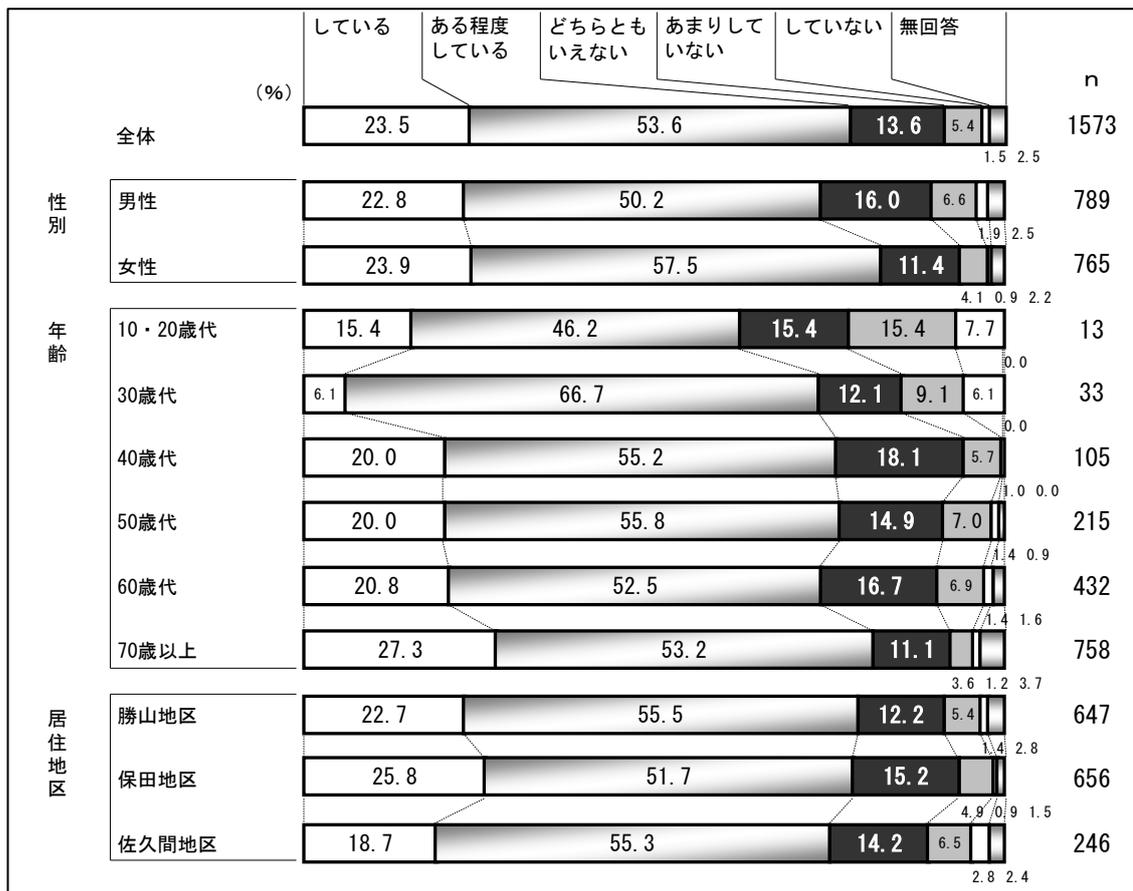
問 11(1)-9 電気のムダづかいを気にかけるなど、環境に配慮していますか。

- “している” が 77.1%、“していない” が 6.9%。

電気のムダづかいを気にかける等環境に配慮しているかどうかについては、「ある程度している」(53.6%)と答えた人が最も多く、次いで「している」(23.5%)が続く、これらをあわせた“している”は77.1%となっています。一方、“していない”（「あまりしていない」(5.4%)と「していない」(1.5%)の合計）は6.9%となっています。なお、「どちらともいえない」は13.6%となっています。

[図表 28 参照]

図表 28 電気のムダを気にかける等環境に配慮しているか（全体・性別・年齢・居住地区）



(10) 再生可能エネルギー利用の費用負担をしてよいと思うか

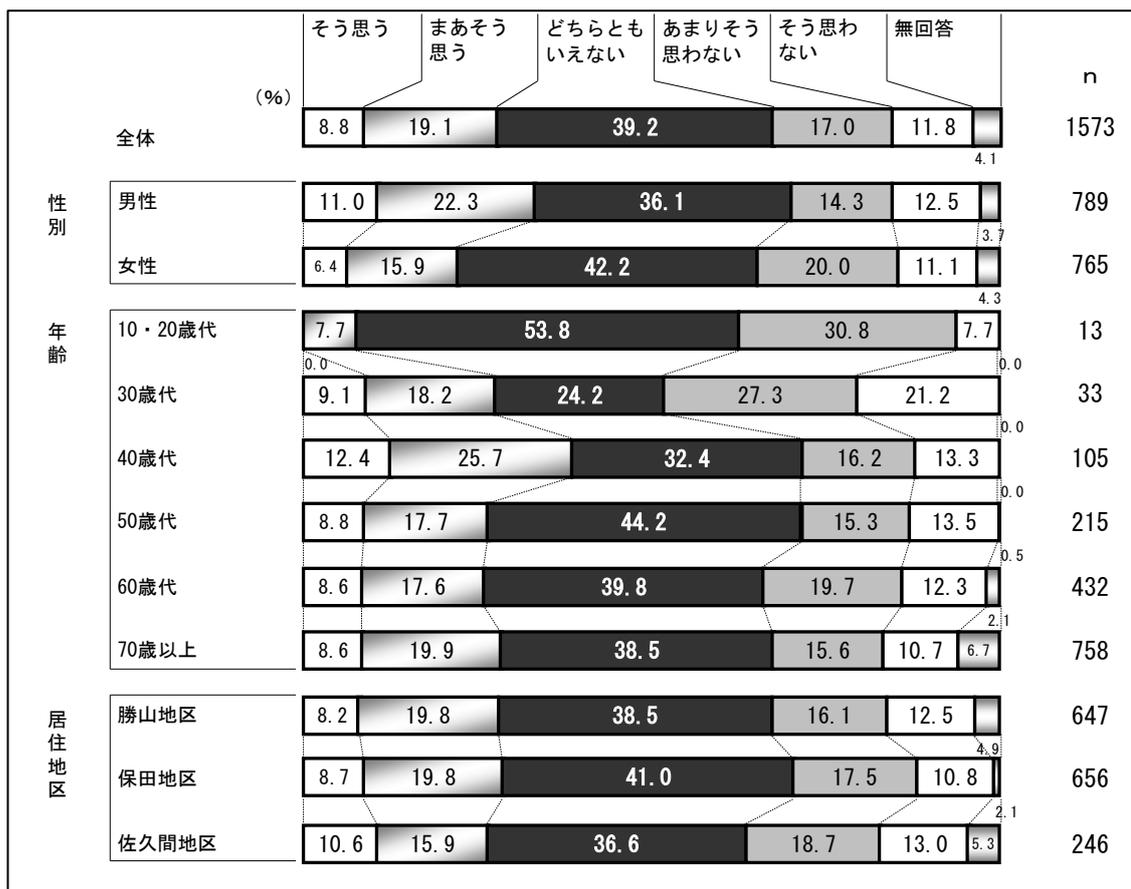
問 11(1)-10 太陽光などの再生可能エネルギーを利用するために、費用を負担してもよいと思いますか。

● “そう思わない” が 28.8%、“そう思う” が 27.9%。

再生可能エネルギー利用の費用負担をしてよいと思うかどうかについては、「どちらともいえない」(39.2%)と答えた人が最も多く、次いで「まあそう思う」(19.1%)が続き、これと「そう思う」(8.8%)をあわせた“そう思う”は27.9%となっています。一方、“そう思わない”(「あまりそう思わない」(17.0%)と「そう思わない」(11.8%)の合計)は28.8%となっています。

[図表 29 参照]

図表 29 再生可能エネルギー利用の費用負担をしてよいと思うか  
(全体・性別・年齢・居住地区)



(11) 節水を意識した生活をしているか

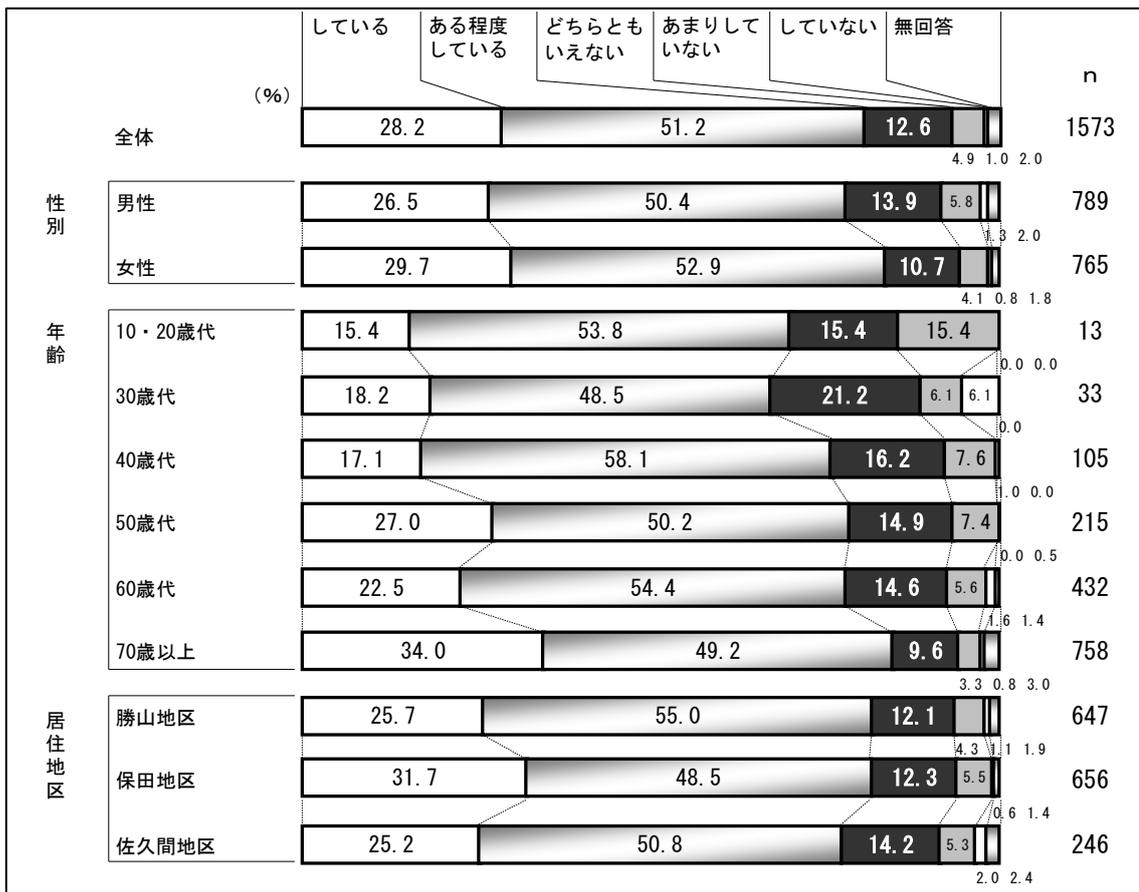
問 11(1)-11 水を大切に使うなど、節水を意識した生活をしていますか。

- “している” が 79.4%、“していない” が 5.9%。

節水を意識した生活をしているかどうかについては、「ある程度している」(51.2%)と答えた人が最も多く、次いで「している」(28.2%)が続き、これらをあわせた“している”は79.4%となっています。一方、“していない”(「あまりしていない」(4.9%)と「していない」(1.0%)の合計)は5.9%となっています。なお、「どちらともいえない」は12.6%となっています。

[図表 30 参照]

図表 30 節水を意識した生活をしているか (全体・性別・年齢・居住地区)



(12) 緑化活動をしているか

問 11(1)-12 緑化活動（植樹や花づくり）をしていますか。

- “している” が 48.7%、 “していない” が 29.8%。

緑化活動をしているかどうかについては、「ある程度している」（33.1%）と答えた人が最も多く、これと「している」（15.6%）をあわせた“している”は 48.7%となっています。一方、“していない”（「あまりしていない」（17.2%）と「していない」（12.6%）の合計）は 29.8%となっています。なお、「どちらともいえない」は 18.2%となっています。

[図表 31 参照]

図表 31 緑化活動をしているか（全体・性別・年齢・居住地区）

	している (%)	ある程度している (%)	どちらともいえない (%)	あまりしていない (%)	していない (%)	無回答 (%)	n	
全体	15.6	33.1	18.2	17.2	12.6	3.2	1573	
性別	男性	15.0	31.7	19.4	16.5	14.4	3.0	789
	女性	16.2	34.8	16.9	18.2	10.8	3.1	765
年齢	10・20歳代	7.7	30.8	30.8	30.8	0.0	13	
	30歳代	9.1	18.2	24.2	27.3	21.2	33	
	40歳代	13.3	20.0	25.7	20.0	21.0	105	
	50歳代	11.6	28.8	20.0	17.2	21.4	215	
	60歳代	14.8	28.7	21.8	19.7	13.4	432	
	70歳以上	17.9	40.0	14.0	15.0	8.0	758	
居住地区	勝山地区	12.7	33.8	17.0	19.6	13.9	5.0	647
	保田地区	17.4	34.1	18.3	16.6	11.6	2.9	656
	佐久間地区	19.1	28.5	21.1	13.8	12.6	2.0	246

(13) 3R運動をしているか

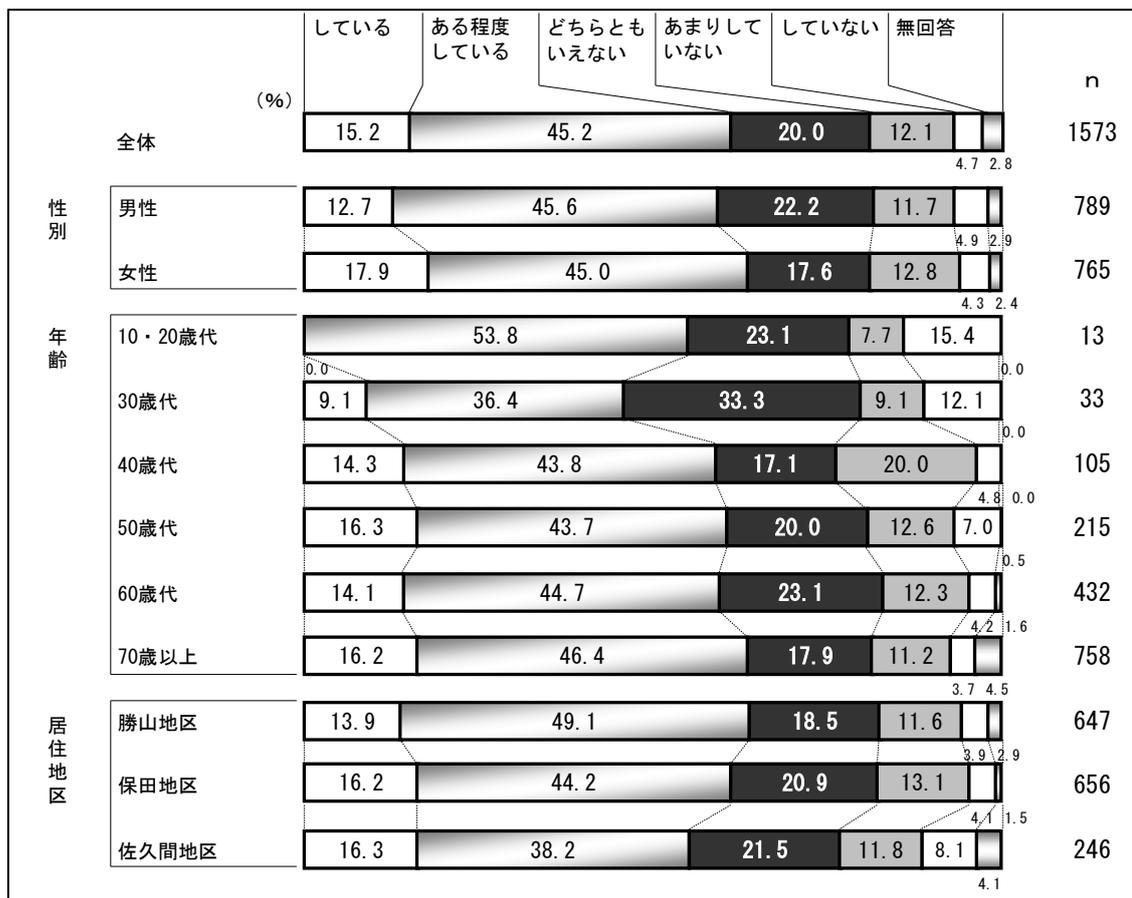
問 11(1)-13 ごみの減量化のための3R運動（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生使用）をしていますか。

● “している”が60.4%、“していない”が16.8%。

3R運動をしているかどうかについては、「ある程度している」（45.2%）と答えた人が最も多く、これと「している」（15.2%）をあわせた“している”は60.4%となっています。一方、“していない”（「あまりしていない」（12.1%）と「していない」（4.7%）の合計）は16.8%となっています。なお、「どちらともいえない」は20.0%となっています。

[図表 32 参照]

図表 32 3R運動をしているか（全体・性別・年齢・居住地区）



(14) 環境に配慮したものを選んでいるか

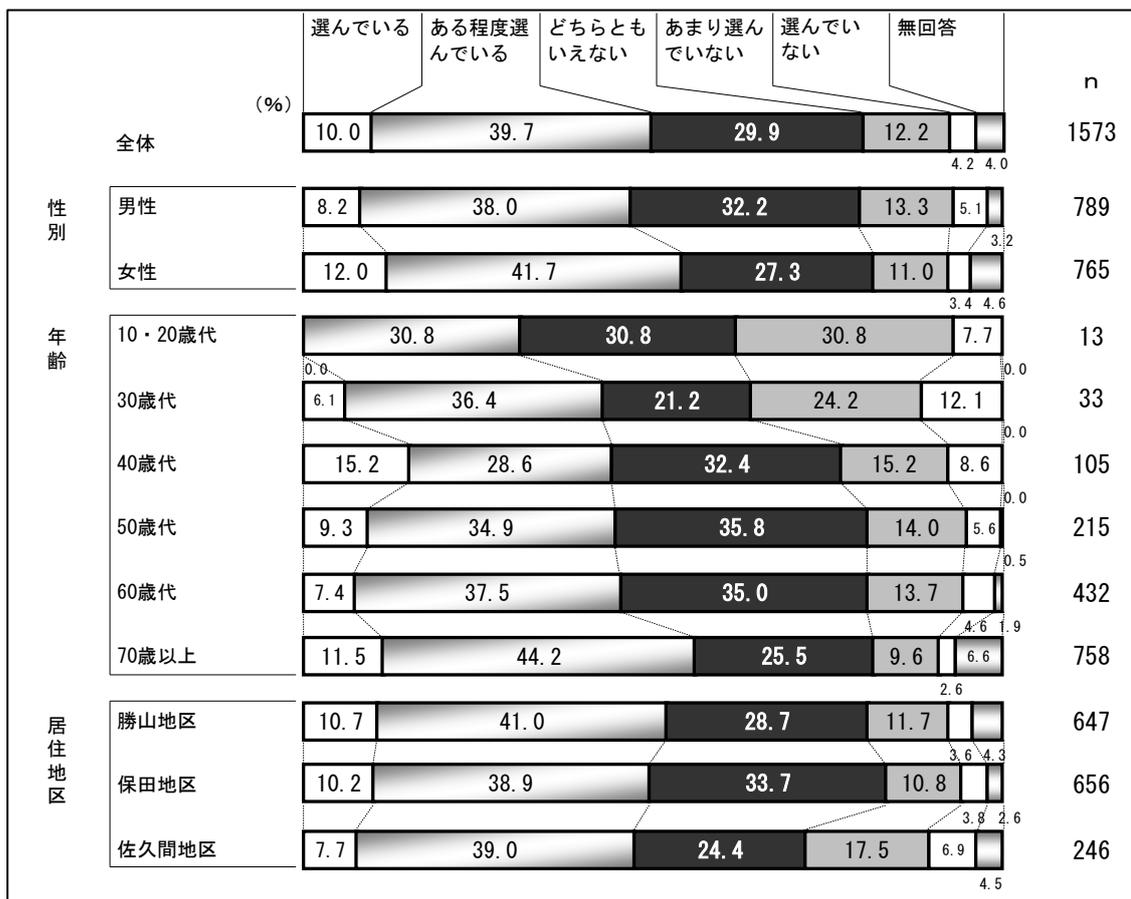
問 11(1)-14 製品を購入する際に、環境に配慮したものを選んでいますか。

- “選んでいる”が49.7%、“選んでいない”が16.4%。

環境に配慮したものを選んでいるかどうかについては、「ある程度選んでいる」(39.7%)と答えた人が最も多く、これと「選んでいる」(10.0%)をあわせた“選んでいる”は49.7%となっています。一方、“選んでいない”(「あまり選んでいない」(12.2%)と「選んでいない」(4.2%)の合計)は16.4%となっています。なお、「どちらともいえない」は29.9%となっています。

[図表 33 参照]

図表 33 環境に配慮したものを選んでいるか (全体・性別・年齢・居住地区)



(15) 公共の交通機関を利用しているか

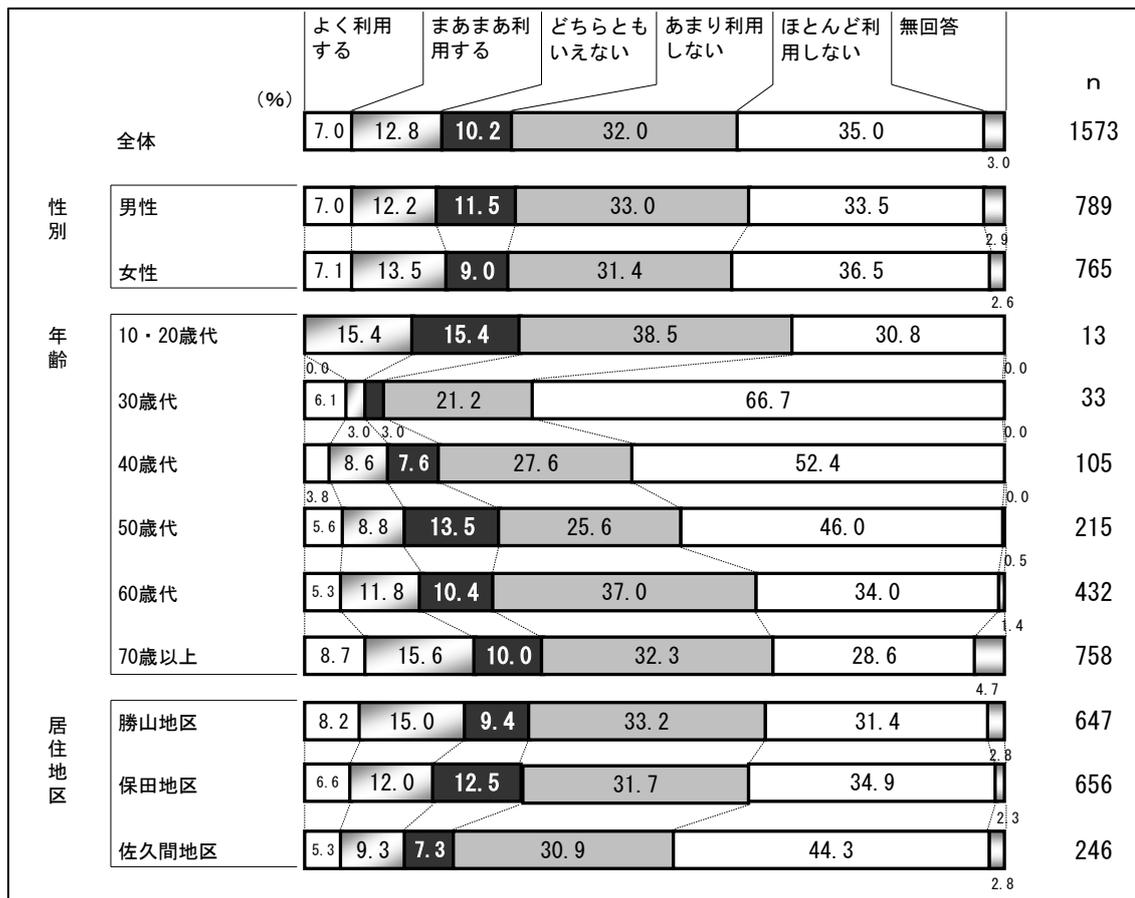
問 11(1)-15 普段、できるだけ公共の交通機関を利用していますか。

- “利用しない”が67.0%、“利用する”が19.8%。

公共の交通機関を利用しているかどうかについては、「ほとんど利用しない」(35.0%)と答えた人が最も多く、これと「あまり利用しない」(32.0%)をあわせた“利用しない”は67.0%となっています。一方、“利用する”（「まあまあ利用する」(12.8%)と「よく利用する」(7.0%)の合計）は19.8%となっています。なお、「どちらともいえない」は10.2%となっています。

[図表 34 参照]

図表 34 公共の交通機関を利用しているか（全体・性別・年齢・居住地区）



(16) 災害時の避難場所を知っているか

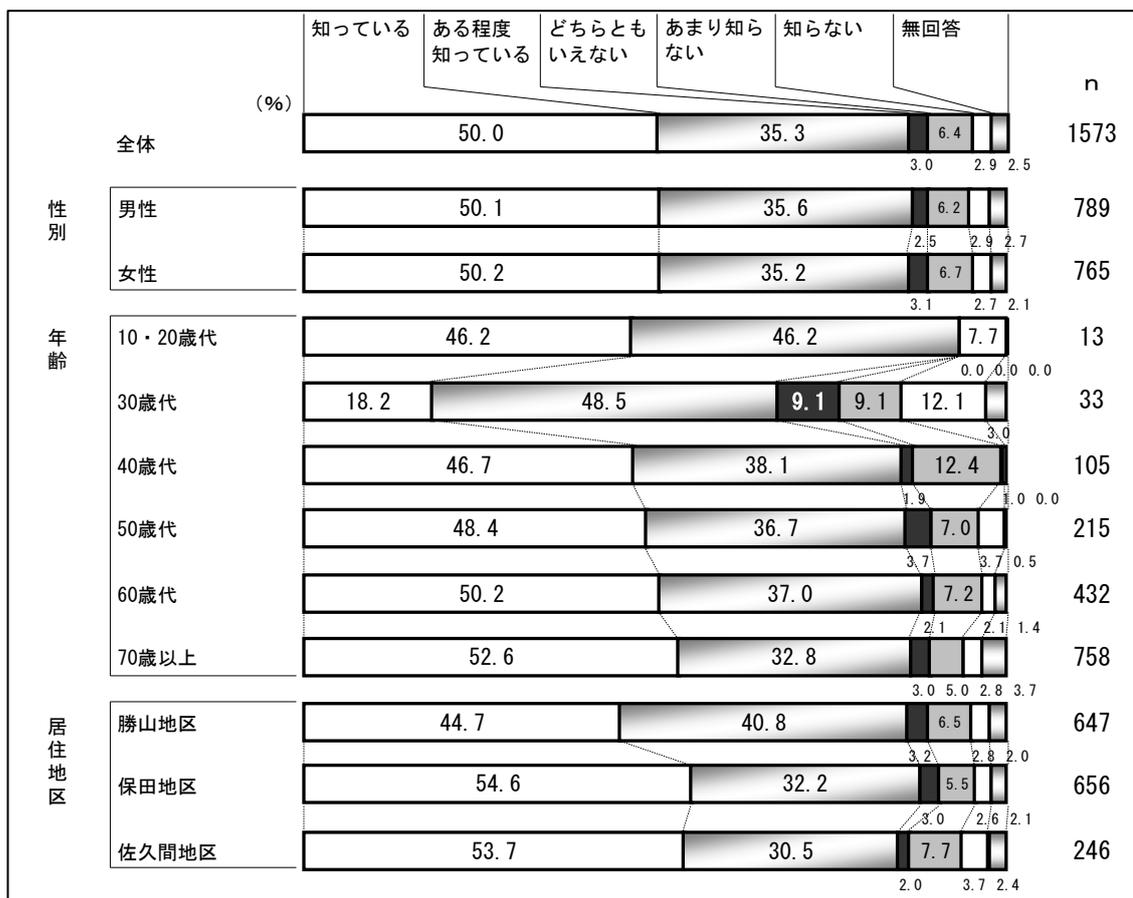
問 11(1)-16 災害時の避難場所を知っていますか。

- “知っている” が 85.3%、“知らない” が 9.3%。

災害時の避難場所を知っているかどうかについては、「知っている」(50.0%)と答えた人が最も多く、次いで「ある程度知っている」(35.3%)が続き、これらをあわせた“知っている”は85.3%となっています。一方、“知らない”(「あまり知らない」(6.4%)と「知らない」(2.9%)の合計)は9.3%となっています。なお、「どちらともいえない」は3.0%となっています。

[図表 35 参照]

図表 35 災害時の避難場所を知っているか (全体・性別・年齢・居住地区)



(17) 職場や地域での防災訓練に参加しているか

問 11(1)-17 職場や地域での防災訓練に参加していますか。

- “している” が 63.5%、“していない” が 26.3%。

職場や地域での防災訓練に参加しているかどうかについては、「している」(34.7%)と答えた人が最も多く、次いで「ある程度している」(28.8%)が続き、これらをあわせた“している”は63.5%となっています。一方、“していない”(「あまりしていない」(13.3%)と「していない」(13.0%)の合計)は26.3%となっています。なお、「どちらともいえない」は7.2%となっています。

[図表 36 参照]

図表 36 職場や地域での防災訓練に参加しているか (全体・性別・年齢・居住地区)

	している	ある程度 している	どちらとも いえない	あまりして いない	していない	無回答	n
全体	34.7	28.8	7.2	13.3	13.0	3.0	1573
性別							
男性	33.6	30.3	8.5	12.9	11.7	3.0	789
女性	36.5	27.2	5.9	13.7	14.1	2.6	765
年齢							
10・20歳代	30.8	38.5	15.4	7.7	7.7	0.0	13
30歳代	36.4	21.2	15.2	15.2	12.1	0.0	33
40歳代	31.4	24.8	13.3	13.3	17.1	0.0	105
50歳代	31.2	29.3	6.5	15.3	17.2	0.5	215
60歳代	32.6	34.0	9.0	12.0	10.6	1.6	432
70歳以上	37.7	26.4	5.1	13.3	12.5	4.9	758
居住地区							
勝山地区	34.9	30.0	6.8	14.4	11.1	2.8	647
保田地区	38.9	29.1	7.6	10.2	12.2	2.0	656
佐久間地区	24.8	26.4	6.9	18.7	19.1	4.1	246

(18) 防犯活動やパトロール活動に参加しているか

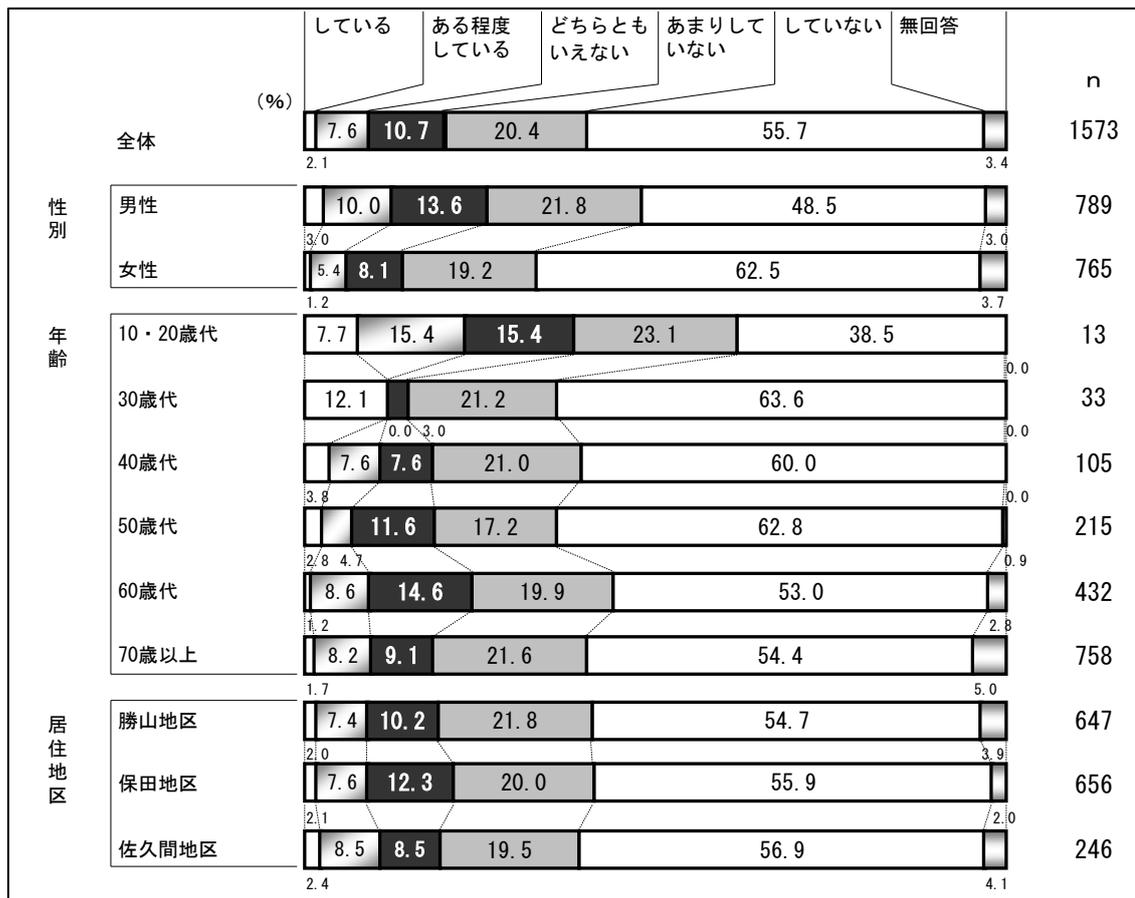
問 11(1)-18 地域の防犯活動やパトロール活動に参加していますか。

- “していない” が76.1%、“している” が9.7%。

防犯活動やパトロール活動に参加しているかどうかについては、「していない」(55.7%)と答えた人が最も多く、次いで「あまりしていない」(20.4%)が続き、これらをあわせた“していない”は76.1%となっています。一方、“している”（「ある程度している」(7.6%)と「している」(2.1%)の合計）は9.7%となっています。なお、「どちらともいえない」は10.7%となっています。

[図表 37 参照]

図表 37 防犯活動やパトロール活動に参加しているか（全体・性別・年齢・居住地区）



(19) 目的をもって学んでいるものがあるか

問 11(1)-19 目的をもって学んでいるものがありますか。(学生の方は学校以外で。)

- “ない” が 49.7%、“ある” が 27.6%。

目的をもって学んでいるものがあるかどうかについては、「ない」(35.5%)と答えた人が最も多く、これと「どちらかといえは無い」(14.2%)をあわせた“ない”は49.7%となっています。一方、“ある”(「どちらかといえはある」(15.6%)と「ある」(12.0%)の合計)は27.6%となっています。なお、「どちらともいえない」は17.7%となっています。

[図表 38 参照]

図表 38 目的をもって学んでいるものがあるか(全体・性別・年齢・居住地区)

		ある	どちらかといえはある	どちらともいえない	どちらかといえは無い	ない	無回答	n
全体	(%)	12.0	15.6	17.7	14.2	35.5	4.9	1573
性別	男性	12.2	17.0	20.8	14.3	31.6	4.2	789
	女性	11.9	14.4	14.8	14.1	39.5	5.4	765
年齢	10・20歳代	7.7	23.1	38.5	15.4	15.4	0.0	13
	30歳代	18.2	18.2	15.2	24.2	24.2	0.0	33
	40歳代	21.0	16.2	17.1	15.2	30.5	0.0	105
	50歳代	10.2	13.5	21.9	13.5	40.0	0.9	215
	60歳代	12.3	13.7	18.8	16.7	36.6	2.1	432
	70歳以上	11.1	16.9	16.2	12.4	35.2	8.2	758
居住地区	勝山地区	11.9	15.5	18.9	15.6	32.9	5.3	647
	保田地区	12.7	17.2	16.8	15.2	35.1	3.0	656
	佐久間地区	10.6	12.2	18.3	8.5	43.9	6.5	246

(20) 生涯学習活動に参加しているか

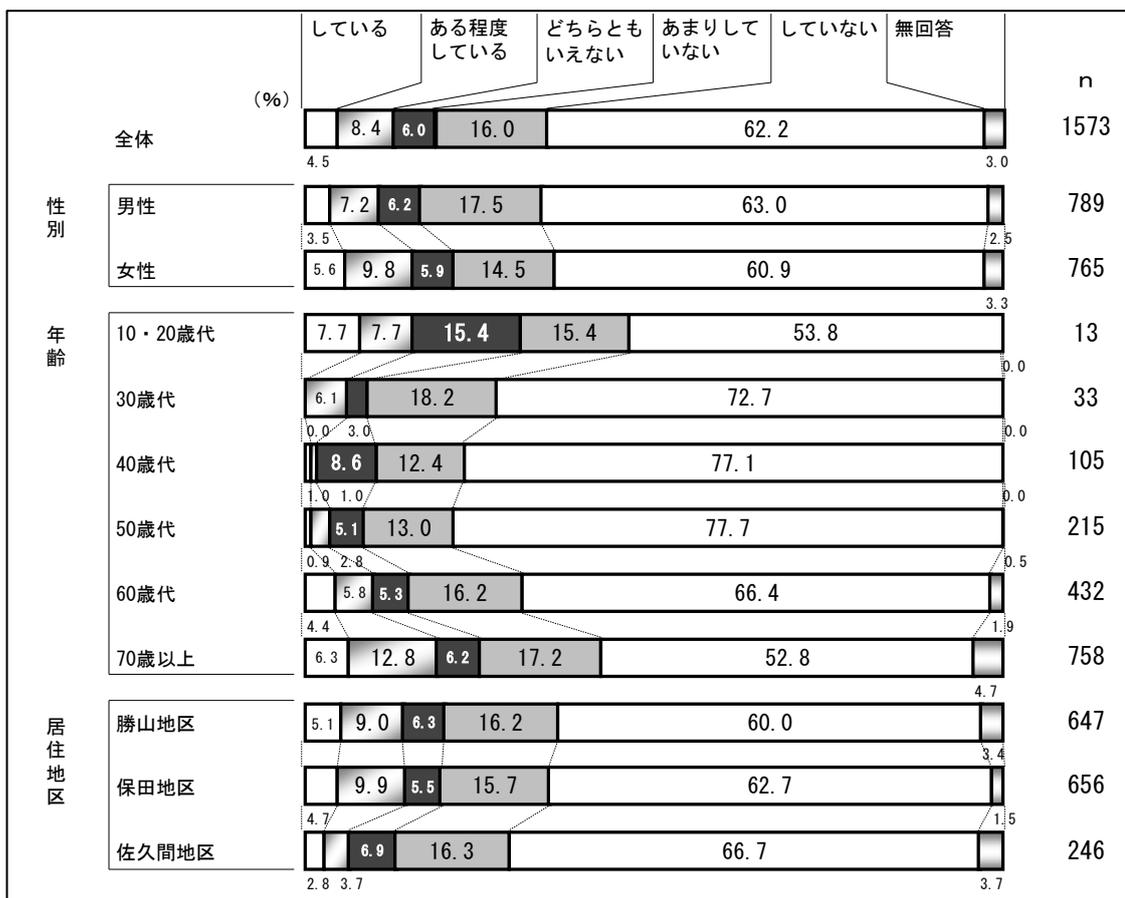
問 11(1)-20 町の講座や教室等の生涯学習活動に参加していますか。

- “していない” が 78.2%、“している” が 12.9%。

生涯学習活動に参加しているかどうかについては、「していない」(62.2%)と答えた人が最も多く、次いで「あまりしていない」(16.0%)が続き、これらをあわせた“していない”は78.2%となっています。一方、“している”(「ある程度している」(8.4%)と「している」(4.5%)の合計)は12.9%となっています。なお、「どちらともいえない」は6.0%となっています。

[図表 39 参照]

図表 39 生涯学習活動に参加しているか (全体・性別・年齢・居住地区)



(21) 地域のいろいろな行事に参加しているか

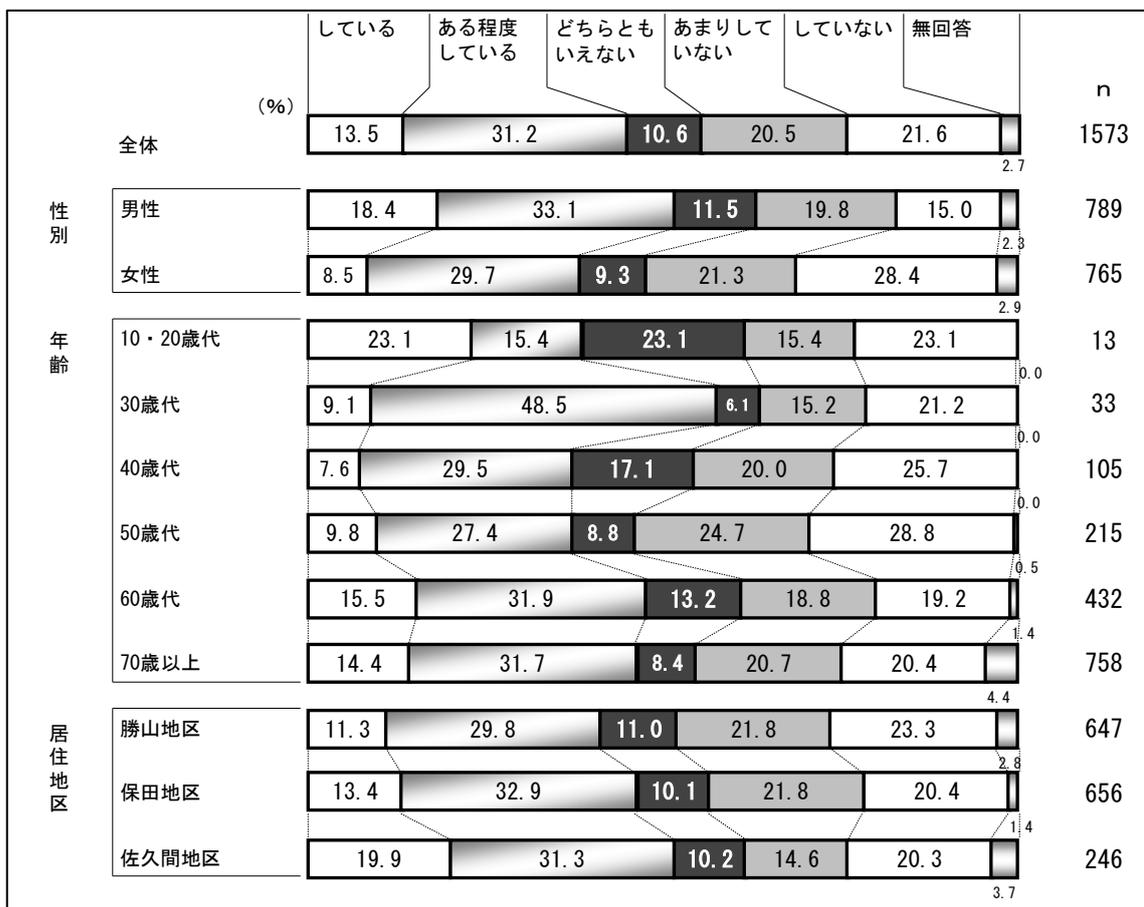
問 11(1)-21 地域のいろいろな行事に参加していますか。

- “している” が 44.7%、“していない” が 42.1%。

地域のいろいろな行事に参加しているかどうかについては、「ある程度している」(31.2%)と答えた人が最も多く、これと「している」(13.5%)をあわせた“している”は 44.7%となっています。一方、“していない”（「あまりしていない」(20.5%)と「していない」(21.6%)の合計）は 42.1%となっています。なお、「どちらともいえない」は 10.6%となっています。

[図表 40 参照]

図表 40 地域のいろいろな行事に参加しているか（全体・性別・年齢・居住地区）



(22) 地域活動やボランティアなどで活動してみたいか

問 11(1)-22 地域活動やボランティアなどで社会のために活動してみたいと思いますか。

- “活動してみたい”が40.7%、“活動したいとは思わない”は24.2%。

地域活動やボランティアなどで活動してみたいかどうかについては、「どちらともいえない」(30.1%)と答えた人が最も多く、次いで「たまには活動してみたい」(29.3%)が続き、これと「活動してみたい」(11.4%)をあわせた“活動してみたい”は40.7%となっています。一方、“活動したいとは思わない”(「あまり活動したいとは思わない」(15.6%)と「活動したいとは思わない」(8.6%)の合計)は24.2%となっています。

[図表 41 参照]

図表 41 地域活動やボランティアなどで活動してみたいか (全体・性別・年齢・居住地区)

		(%)						n
		活動してみたい	たまには活動してみたい	どちらともいえない	あまり活動したいとは思わない	活動したいとは思わない	無回答	
性別	全体	11.4	29.3	30.1	15.6	8.6	4.9	1573
	男性	11.8	29.9	30.5	15.1	8.6	4.1	789
	女性	11.2	28.8	29.4	16.2	8.9	5.5	765
年齢	10・20歳代	15.4	46.2	7.7	23.1	7.7	0.0	13
	30歳代	9.1	36.4	27.3	12.1	12.1	3.0	33
	40歳代	12.4	31.4	28.6	16.2	11.4	0.0	105
	50歳代	10.7	34.0	28.8	15.8	8.8	1.9	215
	60歳代	13.2	30.1	28.9	16.9	7.2	3.7	432
	70歳以上	10.6	26.9	31.5	14.9	9.1	7.0	758
	居住地区	勝山地区	11.1	30.4	29.8	15.0	8.8	4.8
	保田地区	11.9	29.4	30.6	16.6	7.8	3.7	656
	佐久間地区	11.4	27.2	29.3	15.4	11.0	5.7	246

### (23) 町政に関する情報の入手方法

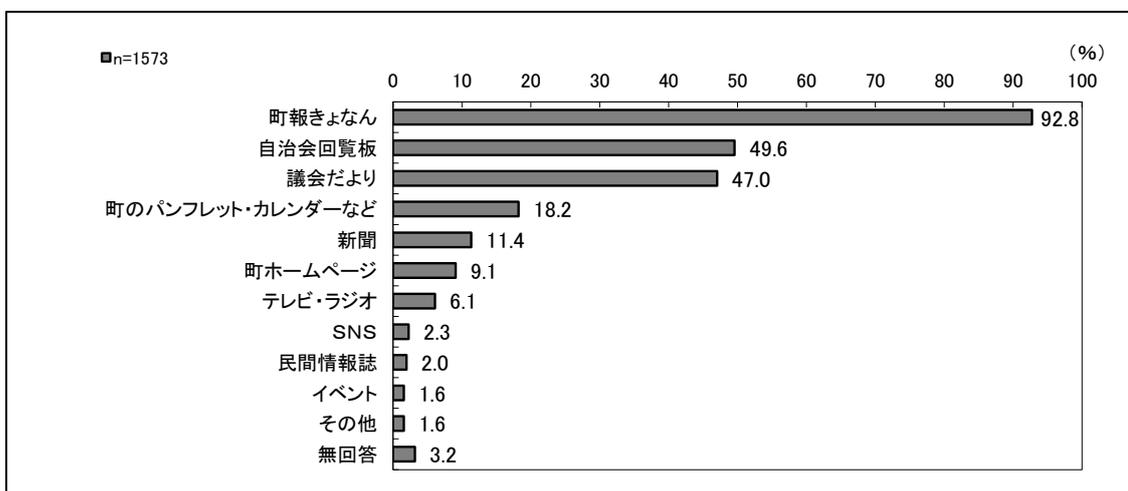
問 11(1)-23 町政に関する情報を主にどの方法で知りますか。【複数回答】

- 「町報きよなん」が第1位。

町政に関する情報の入手方法については、「町報きよなん」(92.8%)、「自治会回覧板」(49.6%)、「議会だより」(47.0%)、「町のパンフレット・カレンダーなど」(18.2%)、「新聞」(11.4%)、「町ホームページ」(9.1%)、「テレビ・ラジオ」(6.1%)、「SNS」(2.3%)、「民間情報誌」(2.0%)、「イベント」(1.6%)などの順となっています。

[図表 42・43 参照]

図表 42 町政に関する情報の入手方法（全体／複数回答）



図表 43 町政に関する情報の入手方法  
 (全体・性別・年齢・居住地区—上位第3位／複数回答)

(単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全体		町報きよなん 92.8	自治会回覧板 49.6	議会だより 47.0
性別	男性	町報きよなん 91.9	議会だより 49.2	自治会回覧板 48.4
	女性	町報きよなん 94.1	自治会回覧板 51.2	議会だより 45.0
年齢	10・20歳代	町報きよなん 92.3	町ホームページ／自治会回覧板 30.8	
	30歳代	町報きよなん 84.8	自治会回覧板 51.5	町ホームページ／議会だより 24.2
	40歳代	町報きよなん 94.3	自治会回覧板 44.8	議会だより 29.5
	50歳代	町報きよなん 94.4	自治会回覧板 48.4	議会だより 35.8
	60歳代	町報きよなん 93.1	自治会回覧板 52.5	議会だより 51.4
	70歳以上	町報きよなん 92.6	議会だより 52.1	自治会回覧板 49.6
居住地区	勝山地区	町報きよなん 93.4	自治会回覧板 50.4	議会だより 43.3
	保田地区	町報きよなん 93.9	議会だより 51.5	自治会回覧板 48.5
	佐久間地区	町報きよなん 91.1	自治会回覧板 52.0	議会だより 46.3

(24) 町と一緒にまちづくりを考えてみたいか

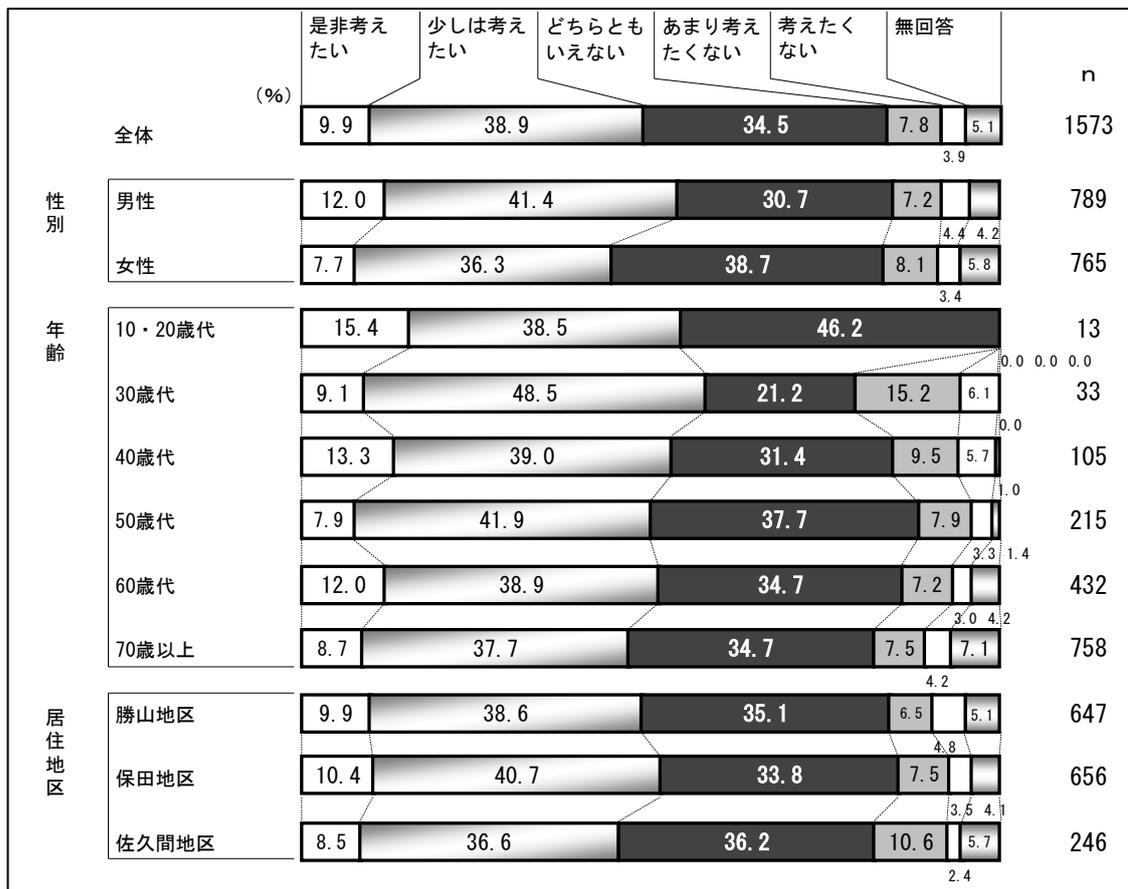
問 11(1)-24 町と一緒にまちづくりを考えてみたいと思いますか。

- “考えたい” が 48.8%、“考えたくない” が 11.7%。

町と一緒にまちづくりを考えてみたいかどうかについては、「少しは考えたい」(38.9%)と答えた人が最も多く、これと「是非考えたい」(9.9%)をあわせた“考えたい”は48.8%となっています。一方、“考えたくない”（「あまり考えたくない」(7.8%)と「考えたくない」(3.9%)の合計）は11.7%となっています。なお、「どちらともいえない」は34.5%となっています。

[図表 44 参照]

図表 44 町と一緒にまちづくりを考えてみたいか（全体・性別・年齢・居住地区）



(25) 自分の仕事にやりがいを感じるか

問 11(1)-25 自分の仕事にやりがいを感じますか。(「仕事」にはボランティアなども含みます。)

● “感じる” が 50.8%、“感じない” が 13.5%。

自分の仕事にやりがいを感じるかどうかについては、「まあ感じる」(32.2%)と答えた人が最も多く、これと「感じる」(18.6%)をあわせた“感じる”は50.8%となっています。一方、“感じない”(「あまり感じない」(8.0%)と「感じない」(5.5%)の合計)は13.5%となっています。なお、「どちらともいえない」は25.5%となっています。

[図表 45 参照]

図表 45 自分の仕事にやりがいを感じるか (全体・性別・年齢・居住地区)

		感じる	まあ感じる	どちらとも いえない	あまり感じ ない	感じない	無回答	n
全体		18.6	32.2	25.5	8.0	5.5	10.3	1573
性別	男性	19.3	32.7	25.5	8.6	5.3	8.6	789
	女性	18.0	31.9	25.2	7.6	5.6	11.6	765
年齢	10・20歳代	23.1	53.8	23.1	0.0	0.0	0.0	13
	30歳代	24.2	36.4	30.3	9.1	0.0	0.0	33
	40歳代	30.5	41.9	13.3	7.6	6.7	0.0	105
	50歳代	20.0	38.6	26.0	8.8	5.1	0.0	215
	60歳代	16.7	35.0	31.0	7.2	7.4	1.4	432
	70歳以上	17.5	27.0	23.6	8.6	7.3	16.0	758
居住地区	勝山地区	17.8	33.5	24.0	8.2	6.3	10.2	647
	保田地区	20.3	29.7	28.0	9.1	3.8	9.0	656
	佐久間地区	17.5	36.2	23.2	7.7	10.6	4.9	246

(26) 仕事と自分の生活の両立ができているか

問 11(1)-26 仕事と自分の生活の両立ができていると思いますか。

- “そう思う” が 47.8%、“そう思わない” が 19.5%。

仕事と自分の生活の両立ができているかどうかについては、「まあそう思う」(33.4%)と答えた人が最も多く、これと「そう思う」(14.4%)をあわせた“そう思う”は47.8%となっています。一方、“そう思わない”(「あまりそう思わない」(12.1%)と「そう思わない」(7.4%)の合計)は19.5%となっています。なお、「どちらともいえない」は22.3%となっています。

[図表 46 参照]

図表 46 仕事と自分の生活の両立ができているか (全体・性別・年齢・居住地区)

		そう思う	まあそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わ ない	無回答	n	
		(%)							
全体		14.4	33.4	22.3	12.1	7.4	10.4	1573	
性別	男性	13.2	35.7	24.3	11.4	7.2	8.1	789	
	女性	15.8	31.2	20.3	12.9	7.5	12.3	765	
年齢	10・20歳代	0.0	61.5	15.4	23.1	0.0	0.0	13	
	30歳代	3.0	33.3	39.4	15.2	9.1	0.0	33	
	40歳代	0.0	18.1	36.2	18.1	18.1	9.5	105	
	50歳代	0.0	17.7	38.1	21.9	13.5	7.4	215	
	60歳代	1.4	14.4	38.9	26.2	8.8	7.9	432	
	70歳以上	3.9	14.0	28.1	20.1	12.7	9.1	16.1	758
居住地区	勝山地区	0.0	14.5	34.5	20.1	12.2	9.0	9.7	647
	保田地区	0.0	14.5	33.1	24.4	11.6	6.4	10.1	656
	佐久間地区	0.0	14.6	32.9	22.8	14.2	6.1	9.3	246

(27) 地域内の異なる世代の人と付き合いがあるか

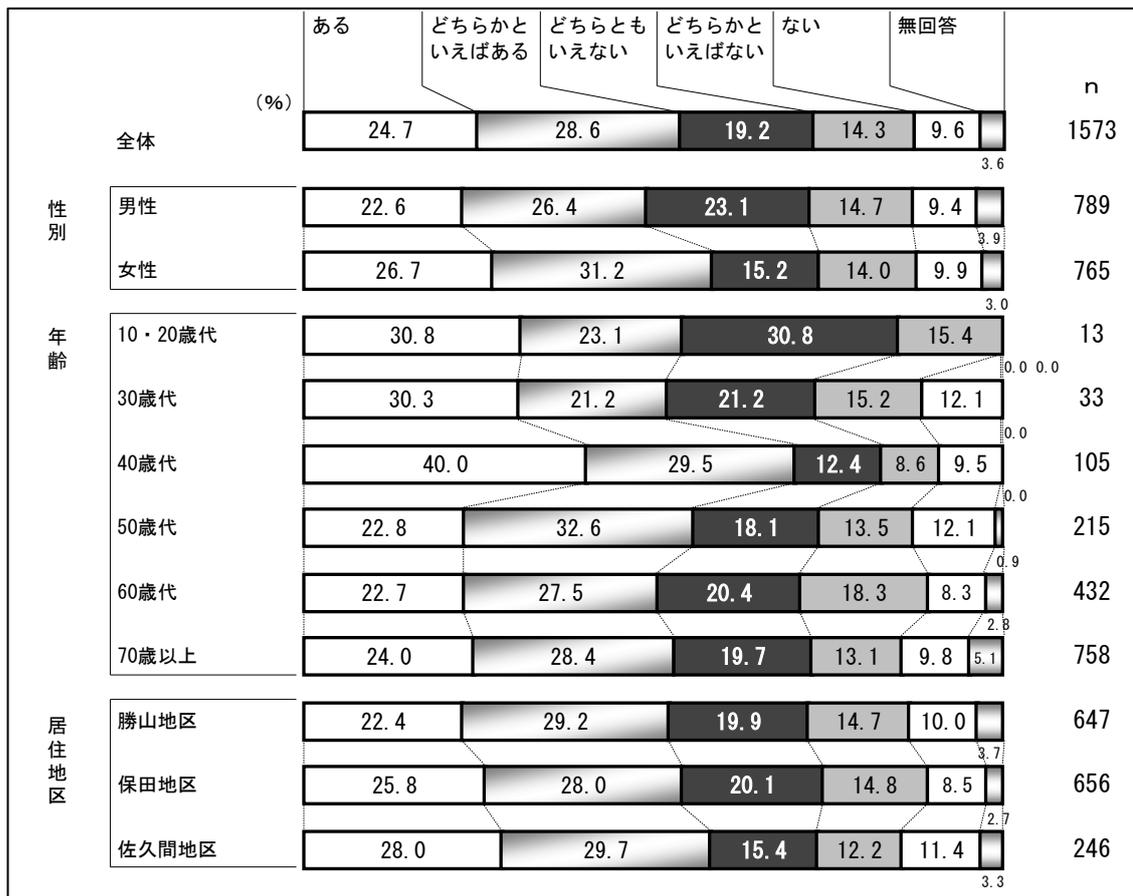
問 11(1)-27 地域内の異なる世代の人と付き合いがありますか。

- “ある” が 53.3%、“ない” が 23.9%。

地域内の異なる世代の人と付き合いがあるかどうかについては、「どちらかといえばある」(28.6%)と答えた人が最も多く、次いで「ある」(24.7%)が続き、これらをあわせた“ある”は53.3%となっています。一方、“ない”(「どちらかといえばない」(14.3%)と「ない」(9.6%)の合計)は23.9%となっています。なお、「どちらともいえない」は19.2%となっています。

[図表 47 参照]

図表 47 地域内の異なる世代の人と付き合いがあるか（全体・性別・年齢・居住地区）



(28) 頼りになる知り合いが近所にいるか

問 11(1)-28 頼りになる知り合いが近所にありますか。

- “いる” が 62.2%、“いない” が 15.9%。

頼りになる知り合いが近所にいるかどうかについては、「いる」(31.9%)と答えた人が最も多く、次いで「どちらかといえばいる」(30.3%)が続き、これらをあわせた“いる”は62.2%となっています。一方、“いない”(「いない」(8.1%)と「どちらかといえばいない」(7.8%)の合計)は15.9%となっています。なお、「どちらともいえない」は19.1%となっています。

[図表 48 参照]

図表 48 頼りになる知り合いが近所にいるか (全体・性別・年齢・居住地区)

		いる	どちらかといえばいる	どちらともいえない	どちらかといえばいない	いない	無回答	n
		(%)						
性別	全体	31.9	30.3	19.1	7.8	8.1	2.8	1573
	男性	26.6	31.8	21.4	8.5	8.5	3.2	789
	女性	37.5	28.8	16.7	7.1	7.7	2.2	765
年齢	10・20歳代	30.8	15.4	15.4	15.4	23.1	0.0	13
	30歳代	21.2	27.3	27.3	12.1	12.1	0.0	33
	40歳代	33.3	29.5	18.1	11.4	7.6	0.0	105
	50歳代	27.0	30.7	20.9	7.9	12.6	0.9	215
	60歳代	26.6	30.3	23.1	10.2	7.4	2.3	432
	70歳以上	36.9	30.9	15.8	5.5	7.0	3.8	758
居住地区	勝山地区	33.8	26.9	17.9	10.2	8.3	2.8	647
	保田地区	31.1	30.9	23.0	5.8	7.2	2.0	656
	佐久間地区	30.1	39.0	11.4	6.5	10.2	2.8	246

(29) 地域に自分の活躍の場があるか

問 11(1)-29 地域に自分の活躍の場がありますか。

- “ない” が 38.8%、“ある” が 27.7%。

地域に自分の活躍の場があるかどうかについては、「どちらともいえない」(28.6%)と答えた人が最も多く、次いで「ない」(22.5%)が続き、これと「どちらかといえはない」(16.3%)をあわせた“ない”は38.8%となっています。一方、“ある”(「どちらかといえはある」(16.5%)と「ある」(11.2%)の合計)は27.7%となっています。

[図表 49 参照]

図表 49 地域に自分の活躍の場があるか (全体・性別・年齢・居住地区)

		ある	どちらかといえはある	どちらともいえない	どちらかといえはない	ない	無回答	n
全体	(%)	11.2	16.5	28.6	16.3	22.5	4.9	1573
性別	男性	14.3	18.6	30.7	15.1	16.6	4.7	789
	女性	8.0	14.5	26.9	17.4	28.2	5.0	765
年齢	10・20歳代	15.4	15.4	30.8	15.4	23.1	0.0	13
	30歳代	6.1	12.1	36.4	21.2	24.2	0.0	33
	40歳代	13.3	19.0	24.8	18.1	22.9	1.9	105
	50歳代	8.8	14.4	32.1	15.3	27.9	1.4	215
	60歳代	11.1	17.8	31.3	16.7	19.9	3.2	432
	70歳以上	11.9	16.5	26.6	15.6	22.2	7.3	758
居住地区	勝山地区	10.5	14.7	27.7	15.8	26.0	5.4	647
	保田地区	11.7	18.6	29.3	17.1	20.0	3.4	656
	佐久間地区	12.2	17.1	30.9	14.2	19.9	5.7	246

(30) 今の生活への満足度

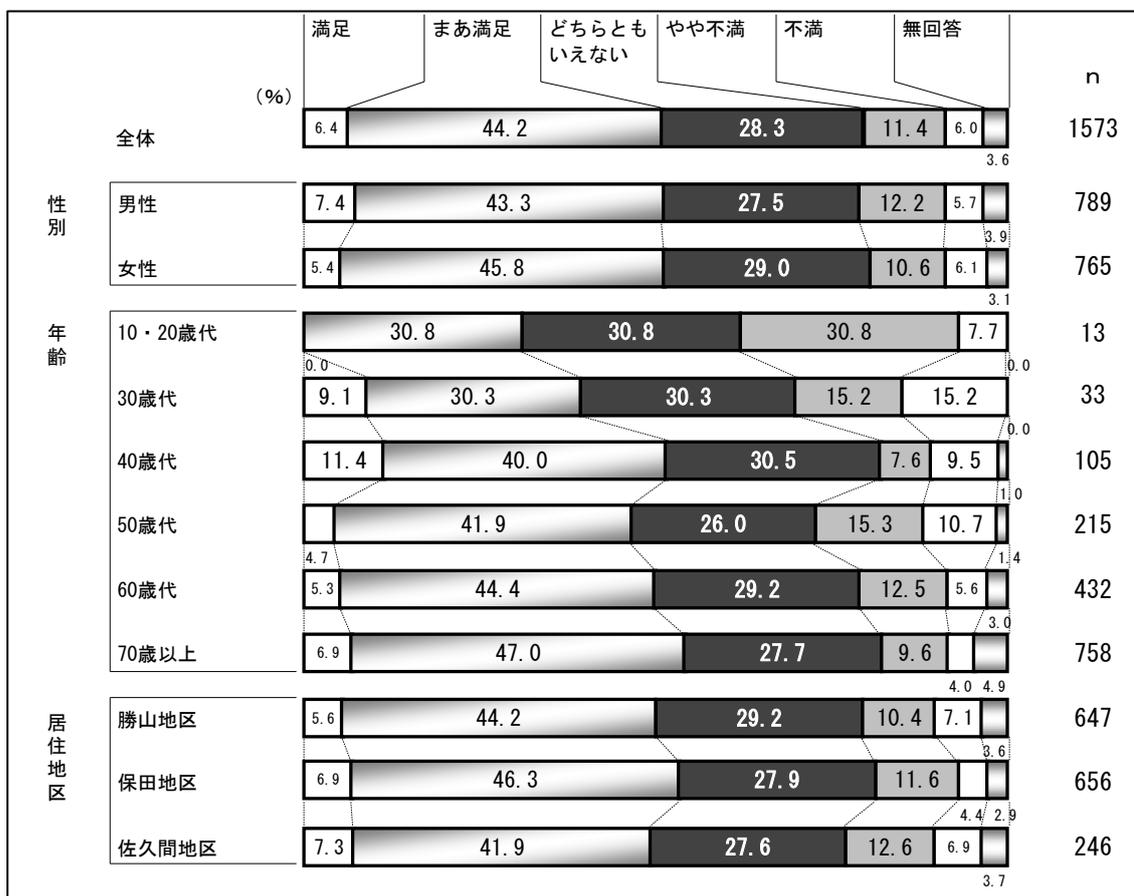
問 11(1)-30 あなたは、全体として、今の生活にどの程度満足していますか。

- “満足” が 50.6%、“不満” が 17.4%。

今の生活への満足度については、「まあ満足」(44.2%)と答えた人が最も多く、これと「満足」(6.4%)をあわせた“満足”は50.6%となっています。一方、“不満”(「やや不満」(11.4%)と「不満」(6.0%)の合計)は17.4%となっています。なお、「どちらともいえない」は28.3%となっています。

[図表 50 参照]

図表 50 今の生活への満足度 (全体・性別・年齢・居住地区)



(31) 生活は去年の今頃と比べてどうか

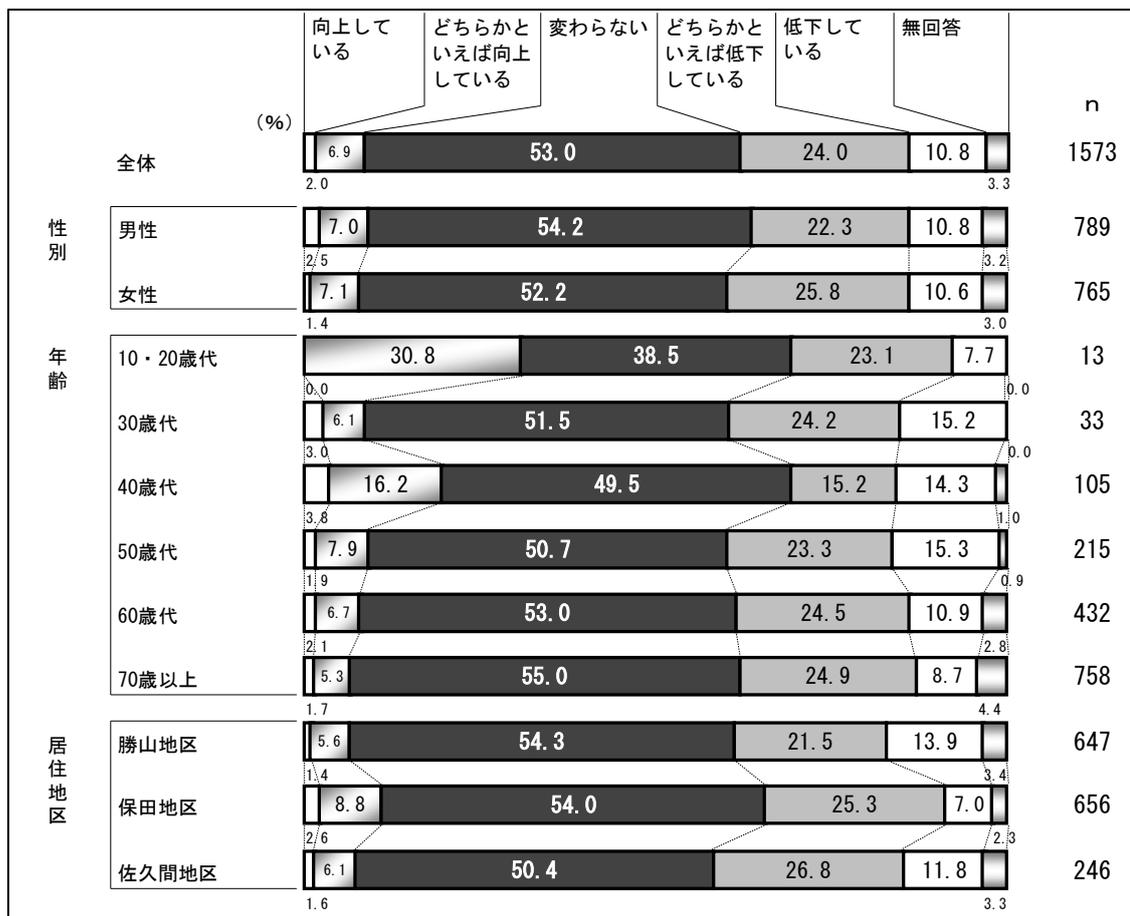
問 11(1)-31 あなたの生活は、全体として、去年の今頃と比べてどうでしょうか。

- “低下している”が34.8%、“向上している”が8.9%。

生活は去年の今頃と比べてどうかについては、「変わらない」(53.0%)と答えた人が最も多く、次いで「どちらかといえば低下している」(24.0%)が続き、これと「低下している」(10.8%)をあわせた“低下している”は34.8%となっています。一方、“向上している”(「どちらかといえば向上している」(6.9%)と「向上している」(2.0%)の合計)は8.9%となっています。

[図表 51 参照]

図表 51 生活は去年の今頃と比べてどうか (全体・性別・年齢・居住地区)



(32) 平日に家族で話をする時間

問 11(1)-32 平日に家族で話をする時間はどのくらいありますか。

- 「1～2時間程度」が最も多い。

平日に家族で話をする時間については、「1～2時間程度」(26.9%)、「1時間未満」(20.9%)、「ほとんど時間はない」(18.9%)、「3～4時間程度」(17.2%)、「5時間以上」(7.7%) となっています。[図表 52 参照]

図表 52 平日に家族で話をする時間（全体・性別・年齢・居住地区）

		5時間以上	3～4時間程度	1～2時間程度	1時間未満	ほとんど時間はない	無回答	n	
		(%)							
性別	全体	7.7	17.2	26.9	20.9	18.9	8.5	1573	
	男性	8.1	17.2	28.3	22.1	17.5	6.8	789	
	女性	7.5	17.3	25.5	19.7	20.4	9.7	765	
年齢	10・20歳代	7.7	23.1	38.5	7.7	23.1		13	
	30歳代	18.2	18.2	39.4	9.1	15.2		33	
	40歳代	10.5	24.8	33.3	23.8	7.6		105	
	50歳代		16.7	32.6	26.0	16.7		215	
	60歳代	4.7	6.0	16.2	28.9	26.2	16.2	6.5	432
	70歳以上	8.7	16.9	22.7	16.9	22.6	12.3	758	
居住地区	勝山地区	7.9	18.4	27.2	21.0	17.2	8.3	647	
	保田地区	7.2	16.2	30.0	20.7	19.7	6.3	656	
	佐久間地区	8.9	17.9	19.1	22.0	20.7	11.4	246	

(2) 地域について

(33) 地域は高齢者や障がい者にとって暮らしやすいか

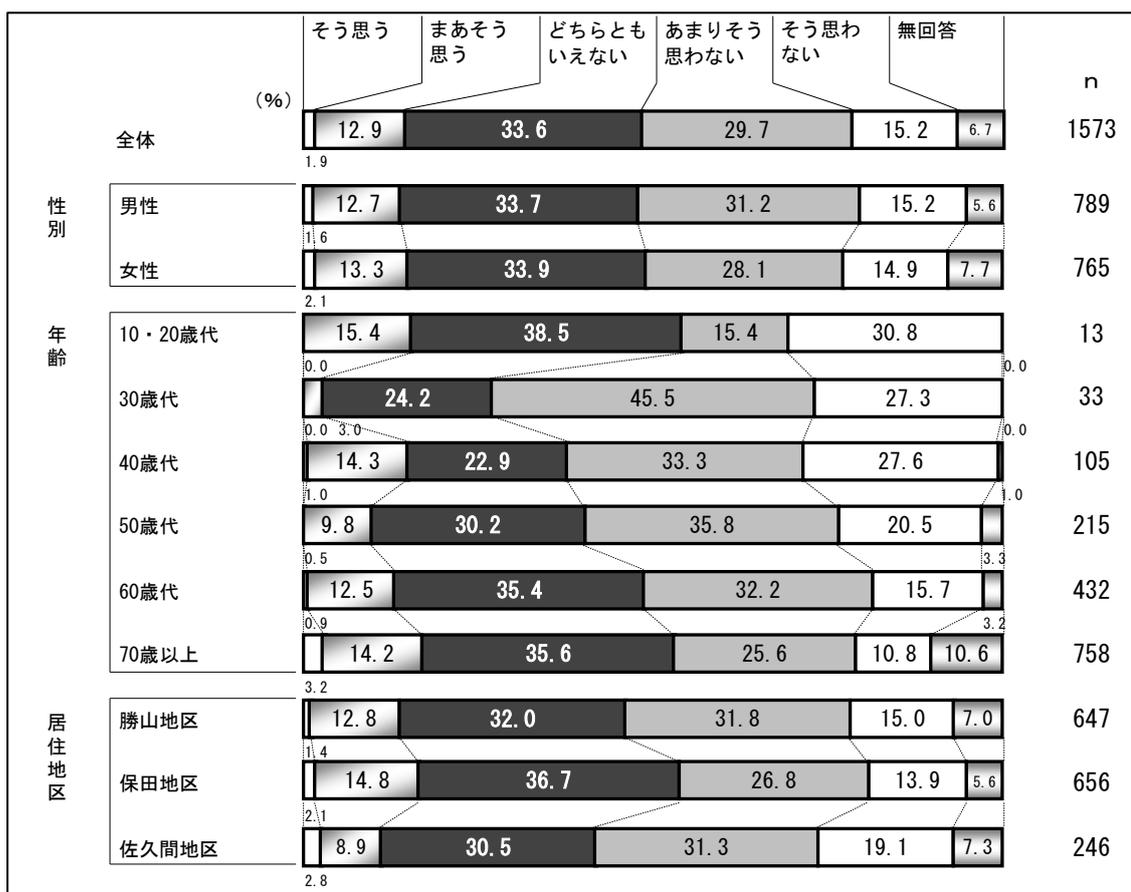
問 11(2)-33 住んでいる地域は高齢者や障がいのある人にも暮らしやすいと思いますか。

● “そう思わない”が44.9%、“そう思う”が14.8%。

地域は高齢者や障がい者にとって暮らしやすいかどうかについては、「どちらともいえない」(33.6%)と答えた人が最も多く、次いで「あまりそう思わない」(29.7%)が続き、これと「そう思わない」(15.2%)をあわせた“そう思わない”は44.9%となっています。一方、“そう思う”(「まあそう思う」(12.9%)と「そう思う」(1.9%)の合計)は14.8%となっています。

[図表 53 参照]

図表 53 地域は高齢者や障がい者にとって暮らしやすいか (全体・性別・年齢・居住地区)



(34) 地域は買い物や通院に便利か

問 11(2)-34 住んでいる地域は買い物や通院に便利だと思いますか。

- “そう思わない”が64.1%、“そう思う”が14.5%。

地域は買い物や通院に便利かどうかについては、「あまりそう思わない」（33.1%）と答えた人が最も多く、次いで「そう思わない」（31.0%）が続き、これらをあわせた“そう思わない”は64.1%となっています。一方、“そう思う”（「まあそう思う」（12.5%）と「そう思う」（2.0%）の合計）は14.5%となっています。なお、「どちらともいえない」は15.8%となっています。

[図表 54 参照]

図表 54 地域は買い物や通院に便利か（全体・性別・年齢・居住地区）

		そう思う	まあそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わ ない	無回答	n
		（%）						
性別	全体	12.5	15.8	33.1	2.0	31.0	5.5	1573
	男性	13.8	16.5	34.6	1.9	28.0	5.2	789
	女性	11.5	15.4	31.9	2.2	33.5	5.5	765
年齢	10・20歳代	15.4	23.1	23.1	0.0	38.5	0.0	13
	30歳代	12.1	6.1	27.3	0.0	54.5	0.0	33
	40歳代	10.5	13.3	31.4	2.9	41.9	0.0	105
	50歳代	11.2	10.2	34.0	2.3	39.5	2.8	215
	60歳代	12.7	16.9	37.3	1.4	28.9	2.8	432
	70歳以上	13.3	17.5	31.4	2.4	26.9	8.4	758
居住地区	勝山地区	13.8	14.2	34.6	1.9	30.4	5.1	647
	保田地区	13.9	19.1	33.4	2.1	26.5	5.0	656
	佐久間地区	6.5	12.2	29.7	2.4	43.5	5.7	246

(35) 地域の高齢者はいきいきと暮らしているか

問 11(2)-35 住んでいる地域の高齢者はいきいきと暮らしていると思いますか。

- “そう思わない” が 38.2%、 “そう思う” が 19.1%。

地域の高齢者はいきいきと暮らしているかどうかについては、「どちらともいえない」(37.1%)と答えた人が最も多く、次いで「あまりそう思わない」(26.6%)が続く、これと「そう思わない」(11.6%)をあわせた“そう思わない”は38.2%となっています。一方、“そう思う”(「まあそう思う」(16.6%)と「そう思う」(2.5%)の合計)は19.1%となっています。

[図表 55 参照]

図表 55 地域の高齢者はいきいきと暮らしているか (全体・性別・年齢・居住地区)

		そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	n
全体	(%)	16.6	2.5	37.1	26.6	11.6	5.7	1573
		2.5						
性別	男性	15.3	2.0	36.5	29.0	11.9	5.2	789
	女性	18.0	3.0	37.6	24.2	11.1	6.0	765
年齢	10・20歳代	15.4	0.0	38.5	38.5	7.7	0.0	13
	30歳代	9.1	0.0	36.4	24.2	18.2	12.1	33
	40歳代	6.7	0.0	27.6	33.3	20.0	12.4	105
	50歳代	20.0	1.9	34.4	25.1	15.3	3.3	215
	60歳代	15.5	2.1	40.7	29.2	9.7	2.8	432
	70歳以上	14.0	2.1	36.9	26.8	11.3	8.8	758
居住地区	勝山地区	16.1	2.2	37.2	27.2	11.7	5.6	647
	保田地区	17.4	2.6	37.8	26.5	10.4	5.3	656
	佐久間地区	16.7	3.3	35.0	25.6	14.2	5.3	246

(36) 町は子育て支援に積極的だと思うか

問 11(2)-36 町は子育て支援に積極的だと思いますか。

- “そう思う” が 27.8%、“そう思わない” が 17.3%。

町は子育て支援に積極的だと思うかどうかについては、「どちらともいえない」(45.3%)と答えた人が最も多く、次いで「まあそう思う」(23.5%)が続き、これと「そう思う」(4.3%)をあわせた“そう思う”は27.8%となっています。一方、“そう思わない”（「あまりそう思わない」(11.6%)と「そう思わない」(5.7%)の合計）は17.3%となっています。

[図表 56 参照]

図表 56 町は子育て支援に積極的だと思うか（全体・性別・年齢・居住地区）

		そう思う	まあそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わ ない	無回答	n
	(%)							
全体		4.3	23.5	45.3	11.6	5.7	9.7	1573
性別	男性	4.2	20.9	46.6	12.8	7.4	8.1	789
	女性	4.4	26.3	43.9	10.3	11.0		765
年齢	10・20歳代	7.7	30.8	46.2	15.4			13
	30歳代	6.1	27.3	27.3	21.2	18.2		33
	40歳代	7.6	27.6	38.1	14.3	12.4		105
	50歳代	6.0	18.1	47.9	15.3	8.4		215
	60歳代	2.5	24.3	50.9	13.2		4.2	432
	70歳以上	4.2	23.9	43.0	9.0	15.6	4.4 4.6	758
居住地区	勝山地区	4.2	21.2	46.1	13.4	5.3	9.4	647
	保田地区	4.6	24.7	46.8	10.7	5.8	8.2	656
	佐久間地区	3.8	27.6	41.1	8.9	6.1	11.4	246
		4.9						

(37) 子育てについて地域で支え合う雰囲気があるか

問 11(2)-37 子育てについて地域で支え合う雰囲気がありますか。

- “ない” が 23.5%、“ある” が 18.8%。

子育てについて地域で支え合う雰囲気があるかどうかについては、「どちらともいえない」(47.0%)と答えた人が最も多く、次いで「まあある」(16.8%)が続き、これと「ある」(2.0%)をあわせた“ある”は18.8%となっています。一方、“ない”(「どちらかといえはない」(15.2%)と「ない」(8.3%)の合計)は23.5%となっています。

[図表 57 参照]

図表 57 子育てについて地域で支え合う雰囲気があるか (全体・性別・年齢・居住地区)

		ある	まあある	どちらとも いえない	どちらか といえはない	ない	無回答	n
全体		16.8	47.0	15.2	8.3	10.7		1573
性別	男性	14.3	49.2	16.3	8.4	9.4		789
	女性	19.7	44.7	14.0	8.2	11.8		765
年齢	10・20歳代	7.7	30.8	46.2	15.4			13
	30歳代	12.1	51.5	24.2	9.1			33
	40歳代	5.7	21.9	41.0	16.2	15.2		105
	50歳代	15.8	49.3	18.6	10.7			215
	60歳代	14.6	55.8	15.7	6.9	5.6		432
	70歳以上	17.8	42.2	13.3	7.7	17.2		758
居住地区	勝山地区	18.4	45.7	16.2	7.4	10.5		647
	保田地区	16.3	49.1	13.6	9.5	9.8		656
	佐久間地区	15.0	46.7	16.3	7.7	11.0		246

(38) 地域の子どもはのびのびと育っているか

問 11(2)-38 住んでいる地域の子どもはのびのびと育っていると思いますか。

- “そう思う” が 37.7%、“そう思わない” が 14.0%。

地域の子どもはのびのびと育っているかどうかについては、「どちらともいえない」(37.5%)と答えた人が最も多く、次いで「まあそう思う」(31.9%)が続き、これと「そう思う」(5.8%)をあわせた“そう思う”は 37.7%となっています。一方、“そう思わない”（「あまりそう思わない」(10.2%)と「そう思わない」(3.8%)の合計）は 14.0%となっています。

[図表 58 参照]

図表 58 地域の子どもはのびのびと育っているか（全体・性別・年齢・居住地区）

		そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	n
全体		5.8	31.9	37.5	10.2	3.8	10.8	1573
性別	男性	4.6	29.8	41.2	11.2	3.9	9.4	789
	女性	7.2	34.5	33.6	9.0	3.7	12.0	765
年齢	10・20歳代	23.1	46.2	15.4	15.4	0.0	0.0	13
	30歳代	18.2	36.4	30.3	9.1	6.1	0.0	33
	40歳代	12.4	35.2	36.2	9.5	6.7	0.0	105
	50歳代	3.3	32.6	40.0	14.4	5.6	4.2	215
	60歳代	3.5	31.7	44.4	12.0	5.8	2.5	432
	70歳以上	6.2	31.4	33.5	8.0	17.3	3.6	758
居住地区	勝山地区	6.3	32.9	36.2	10.5	10.7	3.4	647
	保田地区	5.3	31.6	39.6	10.5	9.6	3.4	656
	佐久間地区	6.1	32.1	35.8	8.5	5.7	11.8	246

(39) 地域の公共交通は便利か

問 11(2)-39 住んでいる地域の公共交通は便利だと思いますか。

- “そう思わない” が 66.8%、“そう思う” が 7.1%。

地域の公共交通は便利かどうかについては、「そう思わない」(34.8%)と答えた人が最も多く、次いで「あまりそう思わない」(32.0%)が続き、これらをあわせた“そう思わない”は66.8%となっています。一方、“そう思う”(「まあそう思う」(6.0%)と「そう思う」(1.1%)の合計)は7.1%となっています。なお、「どちらともいえない」は19.9%となっています。

[図表 59 参照]

図表 59 地域の公共交通は便利か (全体・性別・年齢・居住地区)

	そう思う	まあそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わ ない	無回答	n
全体	7.1	19.9	32.0	34.8	6.3		1573
性別							
男性	7.5	21.4	34.3	31.3	6.0		789
女性	5.5	18.3	30.2	38.0	6.3		765
年齢							
10・20歳代	7.7	7.7	30.8	53.8			13
30歳代		33.3		63.6			33
40歳代	5.7	12.4	31.4	47.6			105
50歳代		17.7	33.5	42.3			215
60歳代	5.1	24.1	34.5	33.1			432
70歳以上	7.9	19.9	30.7	30.2	9.8		758
居住地区							
勝山地区	5.3	18.7	34.6	34.0	6.3		647
保田地区	6.6	22.0	32.3	33.1	5.5		656
佐久間地区	6.9	17.9	25.6	41.5	5.7		246

(40) 地域はきれいだと思うか

問 11(2)-40 住んでいる地域はきれいだと思いますか。

- “そう思う” が 42.5%、 “そう思わない” が 21.3%。

地域はきれいだと思うかどうかについては、「まあそう思う」(36.6%)と答えた人が最も多く、これと「そう思う」(5.9%)をあわせた“そう思う”は42.5%となっています。一方、“そう思わない”(「あまりそう思わない」(15.1%)と「そう思わない」(6.2%)の合計)は21.3%となっています。なお、「どちらともいえない」は30.3%となっています。

[図表 60 参照]

図表 60 地域はきれいだと思うか (全体・性別・年齢・居住地区)

		そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	n
		(%)						
全体		5.9	36.6	30.3	15.1	6.2	6.0	1573
性別	男性	6.6	37.3	28.6	15.8	6.0	5.7	789
	女性	5.4	36.1	31.8	14.2	6.7	5.9	765
年齢	10・20歳代	15.4	46.2	23.1	7.7	7.7	0.0	13
	30歳代	9.1	42.4	21.2	24.2	0.0	3.0	33
	40歳代	14.3	37.1	28.6	13.3	6.7	0.0	105
	50歳代	7.0	39.1	30.2	14.0	7.0	0.0	215
	60歳代	4.2	39.6	29.6	16.9	7.2	2.8	432
	70歳以上	5.1	34.0	31.4	14.2	5.7	9.5	758
居住地区	勝山地区	5.6	36.8	31.1	14.4	6.5	5.7	647
	保田地区	6.3	35.7	31.1	16.3	5.5	5.2	656
	佐久間地区	6.5	39.0	26.8	13.8	7.7	6.1	246

(41) 地域の自然環境は守られていると思うか

問 11(2)-41 住んでいる地域の自然環境は守られていると思いますか。

- “そう思う” が 38.0%、“そう思わない” が 24.1%。

地域の自然環境は守られていると思うかどうかについては、「まあそう思う」（32.3%）と答えた人が最も多く、これと「そう思う」（5.7%）をあわせた“そう思う”は 38.0%となっています。一方、“そう思わない”（「あまりそう思わない」（16.5%）と「そう思わない」（7.6%）の合計）は 24.1%となっています。なお、「どちらともいえない」は 31.0%となっています。

[図表 61 参照]

図表 61 地域の自然環境は守られていると思うか（全体・性別・年齢・居住地区）

		そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	n
		（%）						
性別	全体	5.7	32.3	31.0	16.5	7.6	7.0	1573
	男性	6.5	32.7	29.5	18.0	7.5	5.8	789
	女性		32.4	32.2	15.0	7.7	7.8	765
年齢	10・20歳代	4.8	23.1	46.2	23.1	7.7		13
	30歳代	12.1	33.3	39.4	6.1	9.1	0.0	33
	40歳代	11.4	36.2	26.7	15.2	10.5	0.0	105
	50歳代	5.1	41.9	24.7	15.8	8.8	0.0	215
	60歳代		33.1	33.3	19.9	7.6	3.7	432
	70歳以上	3.7	28.8	31.7	15.7	6.9	11.5	758
	2.3	5.5	28.8	31.7	15.7	6.9	11.5	758
居住地区	勝山地区	5.3	32.1	32.0	15.6	7.6	7.4	647
	保田地区	6.1	32.6	30.8	17.7	7.0	5.8	656
	佐久間地区	5.7	34.6	28.0	16.3	8.9	6.5	246

(42) 地域に活気があるか

問 11(2)-42 住んでいる地域に活気がありますか。

- “活気がない” が 57.6%、“活気がある” が 6.6%。

地域に活気があるかどうかについては、「あまり活気がない」(37.2%)と答えた人が最も多く、これと「活気がない」(20.4%)をあわせた“活気がない”は57.6%となっています。一方、“活気がある”（「まあ活気がある」(6.2%)と「活気がある」(0.4%)の合計)は6.6%となっています。なお、「どちらともいえない」は29.9%となっています。

[図表 62 参照]

図表 62 地域に活気があるか（全体・性別・年齢・居住地区）

		活気がある	まあ活気がある	どちらともいえない	あまり活気がない	活気がない	無回答	n
性別	全体	6.2 0.4	29.9	37.2	20.4	5.8		1573
	男性	6.5 0.4	28.6	38.8	20.8	4.9		789
	女性	6.0 0.5	31.4	35.7	20.0	6.4		765
年齢	10・20歳代	7.7 0.0	46.2	30.8	15.4			13
	30歳代	9.1 0.0	33.3	36.4	21.2			33
	40歳代	7.9 4.8	30.5	31.4	31.4			105
	50歳代	6.5 0.5	32.6	34.0	23.3	3.3		215
	60歳代	7.9 4.9	32.2	41.2	19.0			432
	70歳以上	7.0 0.4	27.6	37.3	18.6	9.1		758
居住地区	勝山地区	6.5 0.3	28.6	38.0	20.9	5.7		647
	保田地区	6.1 0.3	32.2	37.3	18.9	5.2		656
	佐久間地区	6.1 1.2	28.0	36.2	23.2	5.3		246

(43) 地域に観光などでの訪問客が増えているか

問 11(2)-43 住んでいる地域に観光などでの訪問客が増えていると思いますか。

- “そう思わない” が 57.1%、“そう思う” が 15.5%。

地域に観光などでの訪問客が増えているかどうかについては、「あまりそう思わない」(32.6%)と答えた人が最も多く、次いで「そう思わない」(24.5%)が続き、これらをあわせた“そう思わない”は57.1%となっています。一方、“そう思う”(「まあそう思う」(13.0%)と「そう思う」(2.5%)の合計)は15.5%となっています。なお、「どちらともいえない」は21.0%となっています。

[図表 63 参照]

図表 63 地域に観光などでの訪問客が増えているか (全体・性別・年齢・居住地区)

		そう思う	まあそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わ ない	無回答	n
		(%)						
全体		13.0	21.0	32.6	24.5	6.4		1573
		2.5						
性別	男性	15.2	21.0	33.2	22.3	5.3		789
		2.9						
	女性	10.8	21.0	31.9	26.9	7.2		765
		2.1						
年齢	10・20歳代	7.7	15.4	23.1	23.1	30.8		13
		0.0						
	30歳代	21.2	33.3	27.3	18.2			33
		0.0						
	40歳代	20.0	16.2	28.6	31.4			105
		2.9						
	50歳代	16.3	21.9	28.4	26.0			215
		4.2						
	60歳代	16.0	24.1	32.4	23.4			432
		1.6						
	70歳以上	9.1	19.1	35.1	24.0	10.2		758
		2.5						
居住地区	勝山地区	6.3	18.1	36.6	30.8	6.8		647
		1.4						
	保田地区	19.1	24.1	30.5	17.7	5.2		656
		3.5						
	佐久間地区	14.6	20.3	28.9	27.2	6.1		246
		2.8						

(44) 自慢したい地域の風景や名所があるか

問 11(2)-44 自慢したい地域の風景や名所がありますか。

● “ある” が 44.1%、“ない” が 26.3%。

自慢したい地域の風景や名所があるかどうかについては、「どちらかといえばある」(26.6%)と答えた人が最も多く、これと「ある」(17.5%)をあわせた“ある”は44.1%となっています。一方、“ない”（「どちらかといえばない」(14.2%)と「ない」(12.1%)の合計)は26.3%となっています。なお、「どちらともいえない」は22.4%となっています。

[図表 64 参照]

図表 64 自慢したい地域の風景や名所があるか（全体・性別・年齢・居住地区）

		ある	どちらかとい えばある	どちらとも いえない	どちらかとい えばない	ない	無回答	n
		（%）						
性別	全体	17.5	26.6	22.4	14.2	12.1	7.2	1573
	男性	16.9	28.5	22.4	14.2	12.0	6.0	789
	女性	18.4	24.7	22.6	14.4	11.6	8.2	765
年齢	10・20歳代	23.1	30.8	38.5			7.7	13
	30歳代	24.2	54.5	9.1	6.1	6.1	0.0	33
	40歳代	26.7	25.7	19.0	13.3	15.2	0.0	105
	50歳代	19.5	29.3	21.4	14.4	11.6	3.7	215
	60歳代	16.9	28.0	26.4	13.9	11.6	3.2	432
	70歳以上	16.1	23.7	21.4	15.2	12.1	11.5	758
居住地区	勝山地区	16.4	24.6	21.5	15.5	14.1	8.0	647
	保田地区	21.0	27.7	24.5	12.5	8.2	5.9	656
	佐久間地区	12.6	28.5	19.9	16.3	16.7	6.1	246

(45) 地元や県内でとれた農水産物を買っているか

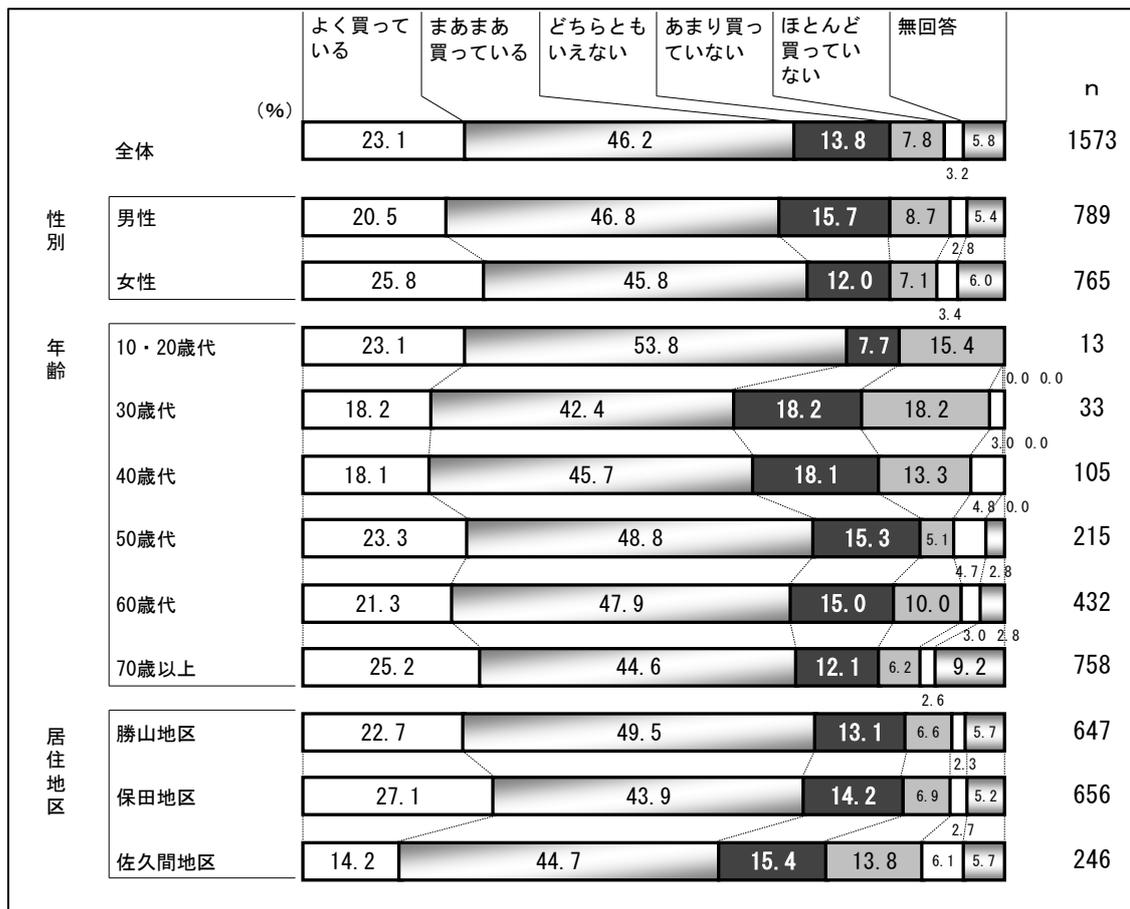
問 11(2)-45 地元や県内でとれた農水産物を買っていますか。

- “買っている”が69.3%、“買っていない”が11.0%。

地元や県内でとれた農水産物を買っているかどうかについては、「まあまあ買っている」(46.2%)と答えた人が最も多く、次いで「よく買っている」(23.1%)が続き、これらをあわせた“買っている”は69.3%となっています。一方、“買っていない”（「あまり買っていない」(7.8%)と「ほとんど買っていない」(3.2%)の合計）は11.0%となっています。なお、「どちらともいえない」は13.8%となっています。

[図表 65 参照]

図表 65 地元や県内でとれた農水産物を買っているか（全体・性別・年齢・居住地区）



(46) 災害に対して地域は安全だと思うか

問 11(2)-46 災害に対して住んでいる地域は安全だと思いますか。

- “安全とは思わない” が 49.8%、“安全だと思う” が 19.7%。

災害に対して地域は安全だと思うかどうかについては、「あまり安全とは思わない」(28.9%)と答えた人が最も多く、これと「安全とは思わない」(20.9%)をあわせた“安全とは思わない”は 49.8%となっています。一方、“安全だと思う”(「まあ安全だと思う」(17.9%)と「安全だと思う」(1.8%)の合計)は 19.7%となっています。なお、「どちらともいえない」は 24.4%となっています。

[図表 66 参照]

図表 66 災害に対して地域は安全だと思うか (全体・性別・年齢・居住地区)

		安全だと思 う	まあ安全 だと思う	どちらとも いえない	あまり安全 とは思わな い	安全とは思 わない	無回答	n
全体	(%)	17.9	24.4	28.9	20.9	6.0		1573
		1.8						
性別	男性	20.4	25.2	30.2	17.6	6.6	4.9	789
	女性	15.7	23.4	28.0	24.1	6.8	2.1	765
年齢	10・20歳代	23.1	46.2	30.8	0.0	0.0	0.0	13
	30歳代	9.1	15.2	36.4	39.4	0.0	0.0	33
	40歳代	12.4	27.6	33.3	24.8	0.0	0.0	105
	50歳代	17.7	25.6	27.4	25.1	0.9	3.3	215
	60歳代	20.6	25.2	29.6	21.1	0.9	2.5	432
	70歳以上	18.1	23.6	28.1	17.9	9.5	2.8	758
居住地区	勝山地区	15.3	24.0	28.7	24.3	6.3	1.4	647
	保田地区	19.4	25.3	32.2	16.3	4.7	2.1	656
	佐久間地区	22.0	24.0	21.5	24.0	6.1	2.4	246

(47) 夜9時以降に地域を安心して歩けるか

問 11(2)-47 夜9時以降に住んでいる地域を安心して歩けますか。

● “安心して歩けない”が37.0%、“安心して歩ける”が34.0%。

夜9時以降に地域を安心して歩けるかどうかについては、「まあ安心して歩ける」(27.3%)と答えた人が最も多く、これと「安心して歩ける」(6.7%)をあわせた“安心して歩ける”は34.0%となっています。一方、“安心して歩けない”(「あまり安心して歩けない」(21.3%)と「安心して歩けない」(15.7%)の合計)は37.0%となっています。なお、「どちらともいえない」は22.6%となっています。

[図表 67 参照]

図表 67 夜9時以降に地域を安心して歩けるか (全体・性別・年齢・居住地区)

		安心して歩ける	まあ安心して歩ける	どちらともいえない	あまり安心して歩けない	安心して歩けない	無回答	n
		(%)						
全体		6.7	27.3	22.6	21.3	15.7	6.4	1573
性別	男性	9.6	33.5	23.2	18.3	9.8	5.7	789
	女性	3.7	21.4	21.6	24.6	22.0	6.8	765
年齢	10・20歳代	23.1	23.1	7.7	30.8	15.4	0.0	13
	30歳代	9.1	24.2	9.1	33.3	24.2	0.0	33
	40歳代	8.6	35.2	16.2	20.0	19.0	0.0	105
	50歳代	10.2	30.7	17.7	18.6	20.0	1.0	215
	60歳代	7.2	31.0	26.2	20.6	12.5	2.8	432
	70歳以上	4.9	23.6	23.5	21.9	15.8	10.3	758
居住地区	勝山地区	6.3	30.8	23.2	19.5	13.9	6.3	647
	保田地区	6.9	25.9	22.9	24.1	14.3	5.9	656
	佐久間地区	7.3	23.6	20.7	17.9	25.2	5.3	246

(48) 男は仕事女は家庭という考え方について

問 11(2)-48 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どう思いますか。

- “そう思わない” が 73.1%、 “そう思う” が 19.9%。

男は仕事女は家庭という考え方については、「そう思わない」(40.0%)と答えた人が最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」(33.1%)が続き、これらをあわせた“そう思わない”は73.1%となっています。一方、“そう思う”(「どちらかといえばそう思う」(17.0%)と「そう思う」(2.9%)の合計)は19.9%となっています。

[図表 68 参照]

図表 68 男は仕事女は家庭という考え方について (全体・性別・年齢・居住地区)

		そう思う	どちらかとい えはそう 思う	どちらかとい えはそう 思わない	そう思わない	無回答	n
		(%)					
性別	全体	17.0	2.9	33.1	40.0	7.0	1573
	男性	19.1	3.4	34.0	37.4	6.1	789
	女性	14.9	2.4	32.5	42.7	7.5	765
年齢	10・20歳代	30.8	0.0	38.5	30.8	0.0	13
	30歳代	9.1	0.0	15.2	75.8	0.0	33
	40歳代	13.3	1.0	23.8	61.9	0.0	105
	50歳代	14.4	1.9	28.4	52.1	3.3	215
	60歳代	15.0	2.5	32.4	47.0	3.0	432
	70歳以上	19.5	3.7	37.1	28.5	11.2	758
居住地区	勝山地区	18.4	2.5	33.4	38.3	7.4	647
	保田地区	17.4	2.6	33.8	40.2	5.9	656
	佐久間地区	12.2	4.9	32.5	44.3	6.1	246

(49) 女性の活躍を多面的に支援する地域と思うか

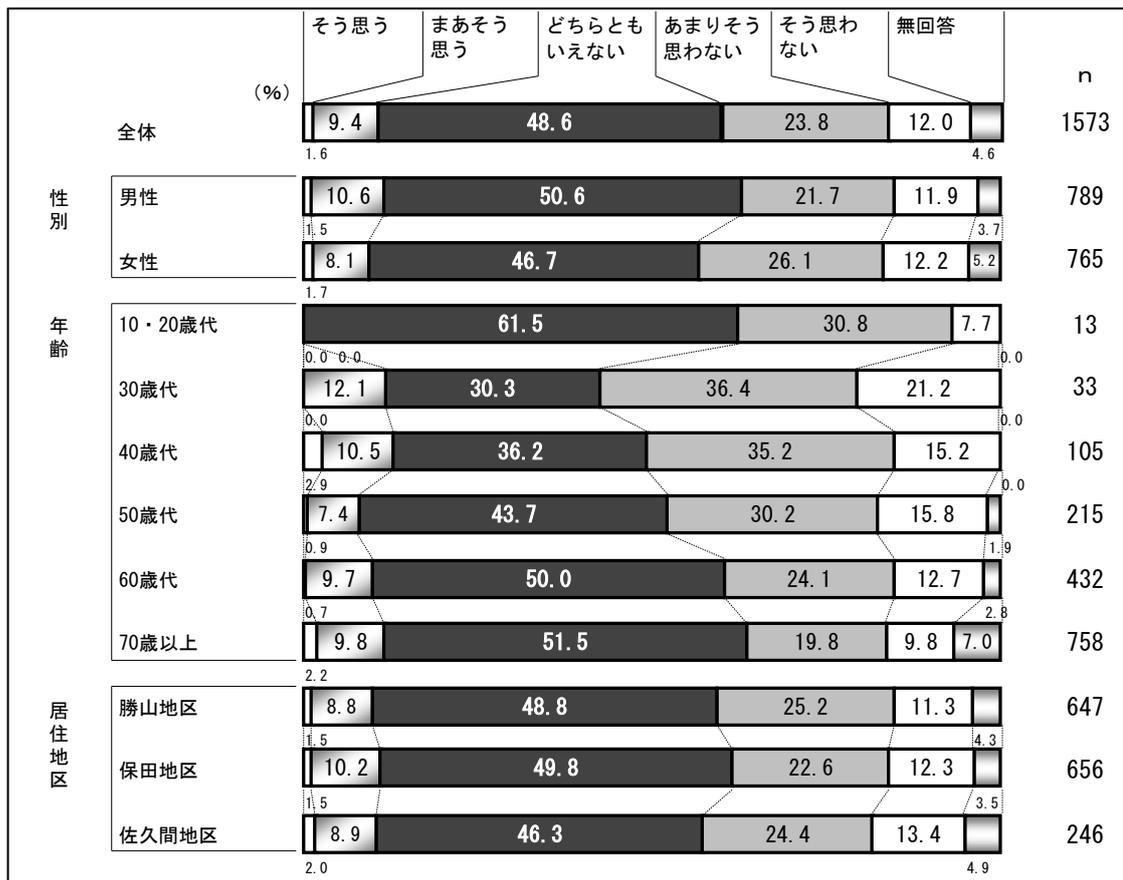
問 11(2)-49 女性の活躍を多面的に支援する地域だと思いますか。

- “そう思わない” が 35.8%、“そう思う” が 11.0%。

女性の活躍を多面的に支援する地域と思うかどうかについては、「どちらともいえない」(48.6%)と答えた人が最も多く、次いで「あまりそう思わない」(23.8%)が続き、これと「そう思わない」(12.0%)をあわせた“そう思わない”は35.8%となっています。一方、“そう思う”(「まあそう思う」(9.4%)と「そう思う」(1.6%)の合計)は11.0%となっています。

[図表 69 参照]

図表 69 女性の活躍を多面的に支援する地域と思うか（全体・性別・年齢・居住地区）



(50) 意欲のある人が働きやすい環境が整っているか

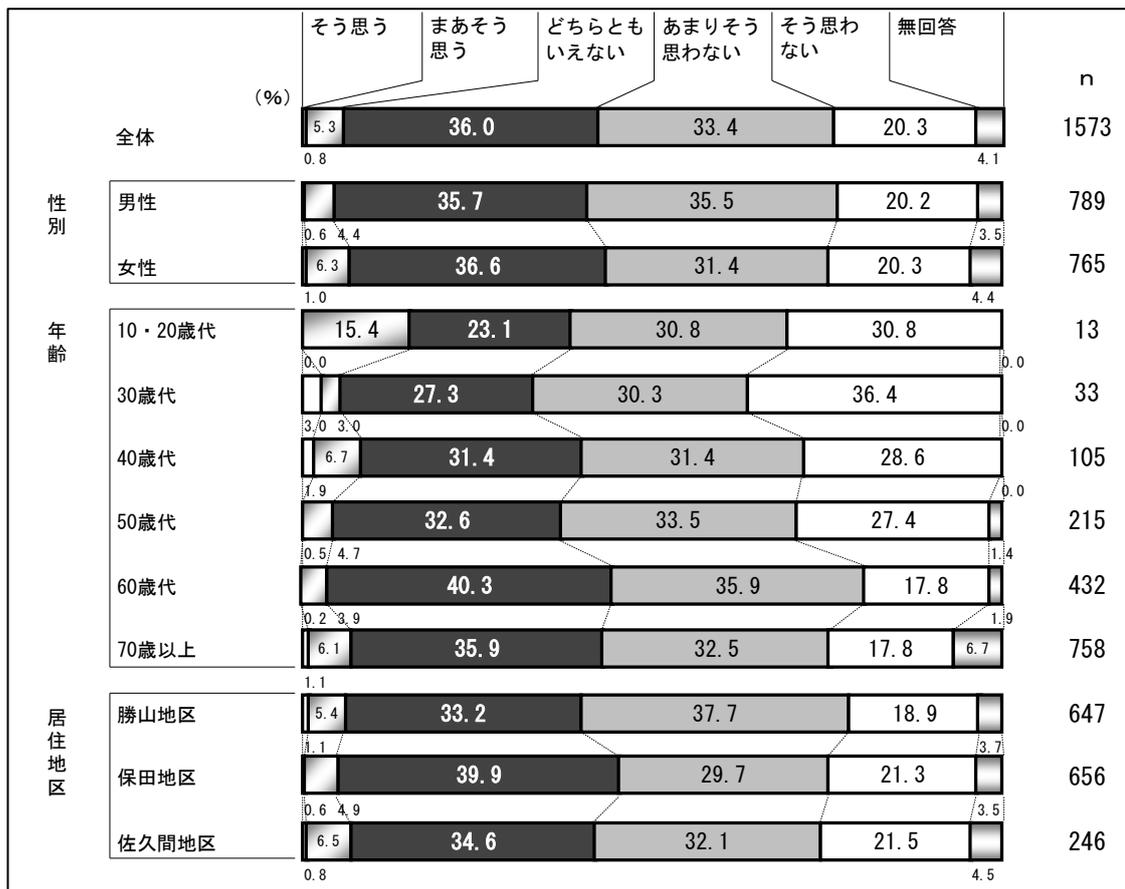
問 11(2)-50 性別や年齢、国籍を問わず、意欲のある人が働きやすい環境が整っていると思いますか。

- “そう思わない” が 53.7%、“そう思う” が 6.1%。

意欲のある人が働きやすい環境が整っているかどうかについては、「どちらともいえない」(36.0%)と答えた人が最も多く、次いで「あまりそう思わない」(33.4%)が続き、これと「そう思わない」(20.3%)をあわせた“そう思わない”は53.7%となっています。一方、“そう思う”(「まあそう思う」(5.3%)と「そう思う」(0.8%)の合計)は6.1%となっています。

[図表 70 参照]

図表 70 意欲のある人が働きやすい環境が整っているか (全体・性別・年齢・居住地区)



(51) 若者が希望を持てる地域だと思うか

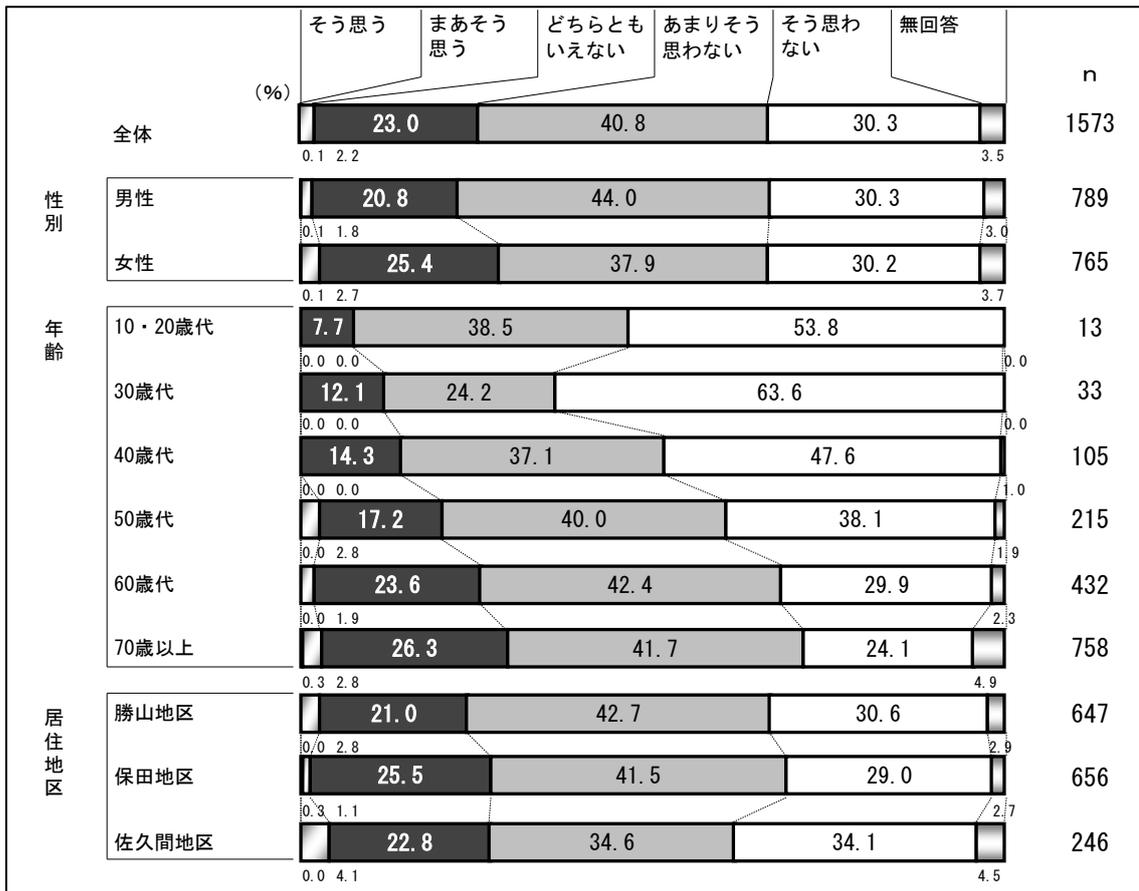
問 11(2)-51 若者が希望を持てる地域だと思いますか。

- “そう思わない” が 71.1%、“そう思う” が 2.3%。

若者が希望を持てる地域だと思うかどうかについては、「あまりそう思わない」(40.8%)と答えた人が最も多く、次いで「そう思わない」(30.3%)が続き、これらをあわせた“そう思わない”は71.1%となっています。一方、“そう思う”(「まあそう思う」(2.2%)と「そう思う」(0.1%)の合計)は2.3%となっています。なお、「どちらともいえない」は23.0%となっています。

[図表 71 参照]

図表 71 若者が希望を持てる地域だと思うか (全体・性別・年齢・居住地区)



(52) 挑戦する人を進んで応援する地域だと思うか

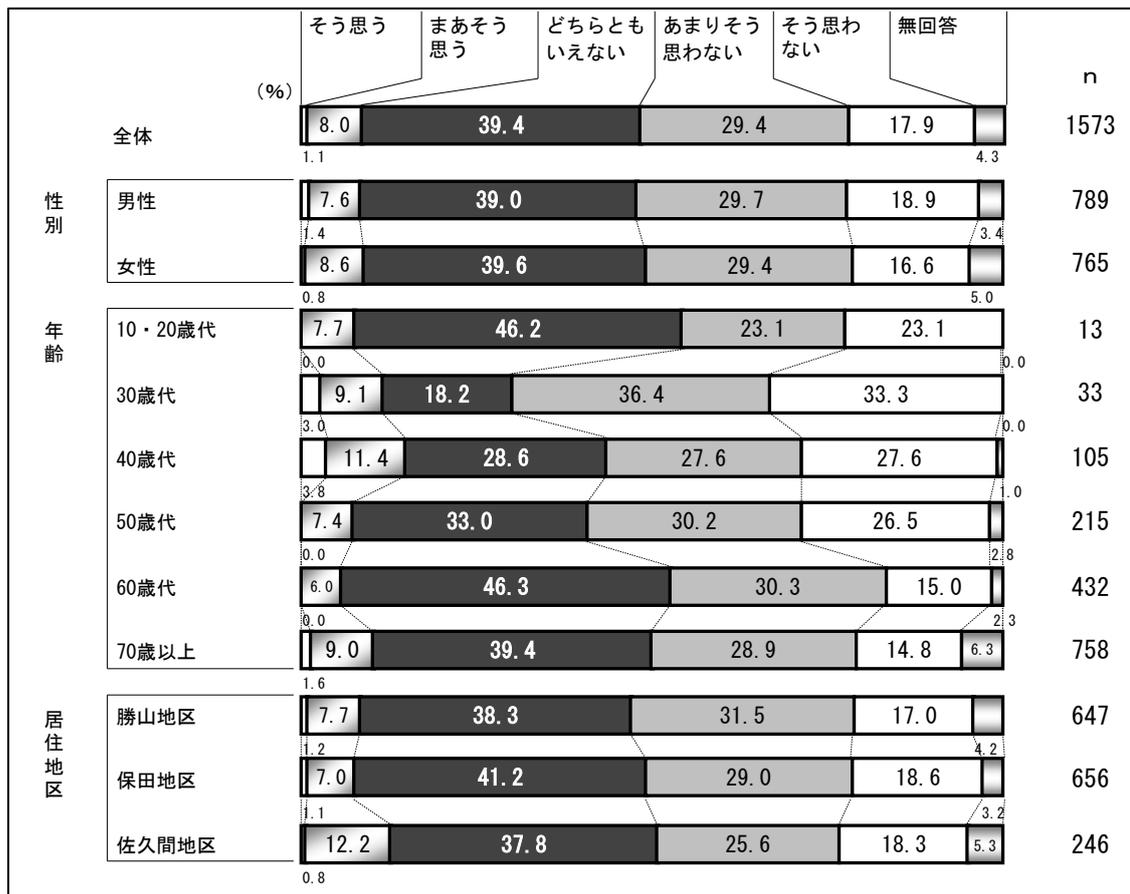
問 11(2)-52 挑戦する人を進んで応援する地域だと思いますか。

- “そう思わない” が 47.3%、“そう思う” が 9.1%。

挑戦する人を進んで応援する地域だと思うかどうかについては、「どちらともいえない」(39.4%)と答えた人が最も多く、次いで「あまりそう思わない」(29.4%)が続き、これと「そう思わない」(17.9%)をあわせた“そう思わない”は47.3%となっています。一方、“そう思う”（「まあそう思う」(8.0%)と「そう思う」(1.1%)の合計）は9.1%となっています。

[図表 72 参照]

図表 72 挑戦する人を進んで応援する地域だと思うか（全体・性別・年齢・居住地区）



### Ⅲ. 自由意見

番号	性別	年齢	居住地区	問 12 自由意見
4	男性	70 歳以上	勝山地区	企業を誘致し、雇用問題を解決し、人々の増加！
9	男性	60 歳代	勝山地区	協力をするようにしたい。
10	男性	60 歳代	保田地区	有害鳥獣について、日頃より対策を生じていると思いますが、問 11-47 で夜9時以降安心して歩けますかの間に疑問あり。
11	男性	60 歳代	勝山地区	環境優先、残土事業が決まれば他地方に移住します。
13	女性	50 歳代	勝山地区	鋸南町は役場関係に知り合いがいるいないによって、いろいろな面で不利で情報が伝わってこない。町外に出て働いている人にとっては、重要なことも全くわからない。子供会にしる育成会にしる、すべてが役場職員関係で終わっていると思う。町の行事いつ？っていう次第、ただ住んでいるのみである。大体役場に勤めている人の子とかが町の協力体みたいな感じ。とても変な町だ。
14	女性	40 歳代	保田地区	保田海岸駐車場に写真を撮りに来る人、キャンピングカーで車中泊する人の光景を良く目にする。キャンピングカーで来るorソロキャンプの人達の為のきちんとした整備、施設を整え、収益になるようにしたら良いと思う。 富士山が見える夕陽の為の記念写真スポットも、インスタ映えになるようなスポットで、まずは地域外からも来客、来訪がのぞめたら良い。写真ツールとしてSNS活用できる場所を名所として話題にならないものかと…鋸南山はみんな金谷で降りて登っていますが、日本一の大仏が海岸駐車場から見えるのは保田側ならではの立地です。保田海岸駐車場のみならず、海岸線からの富士山・日本一大仏が見えるなど、もっと有効に宣伝してSNS活用した方が良いと思う。※時代の流れに乗り、それを定着して行けたらと思う。今はソロキャンプ・アウトドア・BBQ・映えるスポット+地産物もあるのだから(年1回の町あげでのBBQではもったいない)ある意味災害で有名になった鋸南町なんだから逆手に使い、良さ景色を売りに来客を望めたらと希望してる所存！
15	女性	60 歳代	勝山地区	人口が減少する事に不安があり、自分が高齢となった時には店も近所もいなくなるのでは、生きていけない。まとまって住めるような地区や企業(工場)などを誘致して、税収を確保できる事ができるようにと思います。若い人が古い建物を無料でもらえるとか、メリットがあれば良いと思います。
19	女性	30 歳代	勝山地区	木更津市の様な再建ができる様に生活の場や交通機関の利便化を考えてほしいです。子供が高校・大学を卒業してもここにいたいと思える町にしたいです。
21	女性	50 歳代	勝山地区	若い人が鋸南から出て行くのはまず働く所が少ない、就職する場所がないのが一番悪い。だから若者は都会へ出て行ってしまおうのでは。残っているのは年寄りばかり。
28	男性	70 歳以上	保田地区	週末を中心にセカンドハウスとして、利用していますが、友人の皆さんが千葉、東京方面から高速バスを利用し、道の駅富楽里とみやまを利用することから、自家用車で迎えや送る事が多々ある。鋸南保田インターや保田小(道の駅)近辺にバス停が出来れば、ありがたいです。
30	女性	70 歳以上	保田地区	私はこの町に来て18年たちますが、障害者の私は交通の不便なことが困ります。マイクロバスでも有れば自分で買物にも行けますし、体の悪い主人に送り迎えしてもらわなくてもいいと思います。
33	男性	70 歳以上	佐久間地区	移住者に対する心配りがもっと必要。町長自身が移住者への姿勢をより積極的に変えるべき。
36	男性	60 歳代	勝山地区	若者の町外流出防止対策(町内で働ける職場を)。
39	女性	60 歳代	-	鋸南町に引っ越してきて、3年程なので、近所といっても別荘宅ばかりでけっこう離れているから、情報が町のラジオから得られるだけなのでよく分かりません。いい所だと思うのに、何とか若い人達が根付いてくれる様、活気が出るといいと思います。

番号	性別	年齢	居住地区	問 12 自由意見
43	男性	60 歳代	勝山地区	若い世代が楽しく、子供を育てやすい町であってほしい。60 代男性。
49	女性	70 歳以上	保田地区	町長さん良いです(この町より離れない)。
50	男性	60 歳代	勝山地区	・災害時の情報の共有、発信を積極的に行う。 ・災害時に行政が積極的に前に出る。 ・役場職員は原則町民とする(居住者)。
51	女性	50 歳代	勝山地区	昨年の台風により町の風景が一変してしまいました。人口の減少も止まらず、役場の職員も限界を超えてしまって、対応に疲れが出て大変でした。おつかれ様です。たださえ老人の多い町が活気あふれる町にもどるには少々難しいと思いますが、ブルーシートの町がいかに元気になっていけるか、若者達が少しでも残ってくれるか、SNSなどうまく使って全国に発信して欲しいです。
52	男性	70 歳以上	勝山地区	税金の値下げ！！保険料の値下げ！！無能職員の退職推奨！
54	女性	60 歳代	保田地区	中学生(鋸南中)の通学路の外灯の点検は、定期的に防犯の意味で実施ができればよいです。冬は切れているとまっ暗です。してほしいです。
59	女性	60 歳代	保田地区	・町はいろいろ取組みや情報を発信しているのだと思う。自分がその情報をきちんと受信してないと感じることはある。若者は情報はすぐ受信できるが年寄りには受信できる方法を知らない人が多い。まして老人が多い町、もう少し老人が情報をうまく受信できるよう工夫してほしい。 ・町のためにいろいろ活動したいが今はプライバシー保護や難しいこと多く活動が難しいなあと思うことが多い。 ・保田小(道の駅)ももう少し若者がおしゃれとか思う店があるといいなあと思う。台風とか今後災害に対する対応を的確にしてほしい。
61	男性	60 歳代	保田地区	私は老人ですが、まだ少しは仕事が出来るとして居ますが、働く場所が無いです。又、収入が無いので、働かなければ生活が出来て居ません。どうかお願いします。少しの収入でも良いと思って居ます。年寄りにも働ける所を作ってほしいと思います。若者のことを考えることはこれからの鋸南町には大切だとはわかって居ますが、年寄りのことも少しは考えてほしいです。苦しい生活を送って居ます。助けて下さい。町長殿へ。
63	女性	30 歳代	勝山地区	公共の場に勤めている方が、他人の個人情報について、第3者に話しているのを何回も目にしています。長年しみついたクセが治らないようですが、情報漏えいに対して一般企業のようにきちんと取り扱うようにしてもらいたいです。※家庭内にも仕事の話を持ち込まない、ご主人が勤め先であった話を奥さまへ話すのもだめだと、今一度認識してほしい。
65	女性	40 歳代	勝山地区	鋸南町は、行政が不公平だと思います。農業、漁業、自営業がほとんどなく、活気ある町づくりになりません。町長さんが保田だから、保田ばかり復興が進んでいて、勝山は衰退している所が多いです、なんで行政はもっと公平に町づくりをしてくれないのですか？高齢者が可哀相です。
67	女性	30 歳代	勝山地区	・子どもが遊べる場所(公園など)が町内にあると良いと思う。 ・海沿いの地域では、数分以内に津波から避難できる高台があると安心できると思う。
71	男性	50 歳代	勝山地区	台風 15 号以降、町の行政への信頼が無くなった。東日本震災で、災害は予測して備えるべきだったのに、行政の対応が何も出来ていなかった。安心安全な町づくりをしてほしい。
75	女性	70 歳以上	保田地区	・歩道がなく、運動していて危険な思いをする事が数回あるので整備を願いたい。 ・保田商店街を再生して他県からも客を呼べる様にして欲しい。 ・農地の放置等で荒れた土地などを再生して欲しい。
79	女性	50 歳代	勝山地区	台風の後、仮設住宅も設置できず人口の流出を防げなかった事に不満で不安である。循環バスも上手に活用できていない→乗り合いタクシーの様な制度を導入して欲しい(今、docomo等でやっているデマンドタクシーの様なもの)。そういうものがあれば高齢者の免許証返納も進むのではと考える。人口減少はこの先も続く。企業誘致等しないと若者を鋸南町に留めるのはむずかしい。人口減少しつづけるのなら町の中心に

番号	性別	年齢	居住地区	問 12 自由意見
				病院、スーパー、学校等を集めて、そこを循環バス等でつなぐというのを何十年かの計画でして欲しい。
82	男性	30 歳代	勝山地区	町づくりアンケートをとるなら、一世帯の全員分を下さい。一世帯にアンケートだと1人しか答えられません。〇〇と分けましたが2人の意見です。住みづらいから、町民は減っていますね…都会に逃げている事は確かです。合併しなかったのは白石町長のみの意志が強かったからでしょうか？
83	女性	40 歳代	勝山地区	水道代が高すぎる！！
84	-	-	-	南房総市に入ることが賢明かと。
85	男性	60 歳代	勝山地区	このままだと人口が減少するのみである。農業、漁業に従事する若者がいない現状を見ていると、町の将来はどうなるのか心配しています。若者が定住できる施策が急務と思われる。
87	男性	40 歳代	勝山地区	一部の方々の意見で物事が進んでいるように思う。新しい考え方を取り入れて、マンネリ化しないようイベントや事業に取り組んでいただきたい。すばらしい町だから。
88	女性	60 歳代	佐久間地区	若者達が安心して生活出来るよう、職場環境を整え、働きやすく、この町で長く住み続けられるように取り組んでいただきたい。
89	男性	40 歳代	勝山地区	5. そう思わない一支援や活動を知らない為。町の活動や情勢などについてインターネット、ホームページで発信していることをどんどんアピールしてほしいと思います。今回のアンケートをとって、行政の様々な取り組みについて知らないことが多く、町民の、町行政の活動についての共通認識が必要と感じました。
93	男性	70 歳以上	保田地区	美しい夕日と海に魅せられ東京から吉浜に移りました。今の生活には、自分では大変満足していますが、住んでみると年寄りが多く、若い人がいないのは問題があるのでは？山を開発し夕日の見える場所、地元優先の老人ホーム、ツナミ等の避難場所、遊歩道を作れば、若い人が定住するのでは？港は漁協の地区？治外法権？観光客を増やす努力をして！
96	男性	70 歳以上	保田地区	車なしでは動きがとれない！（84 才）運動又は運転中の急死。救急の場合、鴨川・館山主治医で時間的困惑あり。
97	女性	60 歳代	保田地区	道の駅だけではなく町全体を整備し、一日過ごせる様な町作り（歴史あるものや、遺跡、ジビエ料理）を町民と一緒に作り上げる方向に待っていただけると嬉しいです。ユニークな頭の柔らかい人材の確保を願います（町職員）。
99	女性	60 歳代	勝山地区	現在の農家組合について、少しでも農地があるからといって強制的に組合に入らされ、役員をやらされ、歩いた事もない土地の草刈、溝掃除、農家で暮らしている人は、役員や、掃除など、いいかげんな人が多く、まったく農家などした事もない私達が、こんな事をしなくては行けないのですか？いつまでも、こんな仕組みでやっている、住みたくなくなってしまいます。すこしでも、農家をやっている人達だけで、やれる様にして下さい。協力はしますが、役員になる事はおかしいです。見た事も、さわった事もない、精米所の掃除をして下さいとか、精米所の機械が故障したので、お金を出して下さいとか？おかしいでしょう、今のこの時代に…町の方で農家組合の仕組みを改善して下さい。
107	男性	60 歳代	保田地区	未曾有の災害があり、生活再建に向け、行政、町民が一体となり取り組んでいる中、視察旅行か何か良く分からないが、平日の昼間からバスで移動し、アルコールを飲んでいる町会議員は、何を考えているのかと思うのは私だけでしょうか（1 月 21 日）。被害があっても町会議員は町民の心配をしているようには見えなかったのは残念です。選挙の時しか顔を出さないという声も聞きます。反省する所があれば是非してもらい、町の事をもっと真剣に考えてもらいたい。
114	女性	70 歳以上	勝山地区	ご苦労様です。80 才になっております。町は良くやってくれていると思います。今は年をとった人でも人の役にたつものがあれば仲間でしたいと思います。昨年迄働いて居りましたので、皆で話しをして居ります。やれ

番号	性別	年齢	居住地区	問 12 自由意見
				る物が有れば町報でも載せて下されば、生きがいにもなります。80 才～79 才の同級生で町に多くいますので知らせて下さい。
121	女性	60 歳代	保田地区	私はS56 年から鋸南町で生活していますが、その頃は町の賑わいもあり、将来子供達には鋸南で活躍してほしいと思い、子育てしておりました。今は3人の(男、女、男)の子供は東京で生活し、働いています。ある時期から鋸南で仕事をするなら役場か、スーパーかと選択肢が少ないように思い、鋸南は帰ってくる所ではないのではと思うようになりました。豊かな自然と人情のある所なのだと思うとともに、なかなか向上心のない場所でもあるようにと、常々思うところが感じられます。田舎を思う人材はもしかして、鋸南の外にいないのではと思い、ふるさとを思う気持ちと、ふるさとに期待する意見を聞く機会をつくるのはどうでしょうか。
125	女性	70 歳以上	勝山地区	佐久間ダム周辺に今風の洒落たカフェ(レストラン)などを営業して、町の活性化に役立てたら良いのでは。
126	男性	60 歳代	保田地区	耕作放棄地が増え、都会から田舎暮らしにあこがれて移住してきたものの、家庭菜園は荒され、夜の散歩にもイノシシに出くわす可能性があり、行けない。イノシシ用の檻も誰が管理しているのかが分からず草ボウボウ！ずっと入口の扉の閉まったままの檻もある。そのあたりから真剣に取り組んで行きませんか！私は無職ですが、耕作放棄地の芝刈りくらいなら時給 900 円程度で協力できます。また夜間、早朝の航空機の騒音も行政として取り組んでいただきたい。アンケート結果の公表よろしく！
133	男性	60 歳代	勝山地区	今年は災害により実施しなかった防災訓練のように、毎年ほぼ同じ内容でただ実施するような行事は、是非見直し、改善して欲しい。それが意識の向上、経費の削減等になると思う。このようなアンケートは(比較の為に)以前と同様でも仕方ないかもしれないが、NO. 9の水準・種類やNO. 23、7. 町のカレンダー等不明瞭なものが感じられた。語句等も検討して欲しい。
134	女性	70 歳以上	勝山地区	勝山地区にスーパーがあるといいですね。
141	女性	70 歳以上	保田地区	スーパーなど買い物をする場所をつくってもらいたい。
144	女性	50 歳代	勝山地区	今後高齢者が買物難民になっていく心配がある。車がなければ買物にも行けず免許・返納も考えていかなければいけない。年齢の人達が安心して返納できるような環境整備をお願いしたい。
145-1	男性	60 歳代	佐久間地区	自身の生活で現在もしくは将来に向けて町の行政に望むこと。私は県外からの移住者です。定年後は温暖な町で一生を終えようと思いい土地を探してここにしました。行政に望むことは以下です。 ・各区の入会費が異なります(0～70000 円)。行政が各区に対し住人の不公平感が無いように一定額になるよう指導をする。特に都会からの移住者は前住所では入会費はほとんど 0 なのに移住した途端最大 70000 円の費用がかかることもあり、区の方と衝突することもある。 ・津辺野山西側の土砂採掘場跡の景観、環境が良くないので汚染土埋立の問題も含め早期に解決して跡地の利用を真剣に考えて欲しい。個人的には鋸南富山インターに近い利点を生かし、町の予算では整備が困難なので広く町民から意見を取りまとめたうえで県・国に町の振興に役立つ施設などを考えて欲しい。
145-2	男性	60 歳代	佐久間地区	・公共施設の老朽化が目立つので、町民からの情報を受信する係を部署に兼務させることを町民に伝え、その情報を整備計画に生かす。・循環バス(赤バス、青バス)の乗客が少ないのでワゴン車程度にして維持費を抑え、逆に本数を増やしてはどうか。・町づくりに関する意見・提案 鋸南町のウリは豊かな自然と景観だと思います。それを生かして人を呼び込む町づくりが一番良いと思います。おそらく産業を立地してもこのご時世に進出する企業も少ないと思います。・町並みは空き地が多いせいか生活感がなく、なんとなく汚らしい。国から国道の整備要望を出し、高齢者対策として歩道の整備計画を進言し、その計画に合わせ空き地の

番号	性別	年齢	居住地区	問 12 自由意見
				緑化、老朽化した建物の解体を進めて欲しい。・観光客を受け入れる道路整備は道の駅「保田小学校」は進んでいるが、観光客が降車する県道 184 号線(鋸南富山インター→鋸南町役場→勝山港まで)が整備されていないと思う。そこを津辺野山、水仙ロード、田子遺跡、富士山が見える景観、大黒山展望台、勝山港の賑わいを絡めて整備をしてはどうか。また勝山～元名間の海水浴場の整備を進め都会に発信してはどうか。
145-3	男性	60 歳代	佐久間地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝山駅は車を持たない観光客の出発点なので、観光案内所の充実、駅前通りの整備を進め、佐久間川・水仙ロードへのアクセスも良くしてはどうか。</li> <li>・佐久間川の親水護岸整備、兩岸の管理用道路の整備を県に要望し、春先の水仙・頼朝桜ロード、田園風景(鴨なども多い)を観光に生かしてはどうか。</li> <li>・鋸南富山インターは観光客が最初に降りるところであるので、富士山も津辺野山も見える利点を生かし山田堰も含めた観光施設、大型商業施設の誘致を進めて観光の拠点化を計画してはどうか。</li> <li>・一般的に踏切の幅員が狭く交通障害の解消のため JR に要望して広くして欲しい。</li> <li>・南海トラフ地震対応のため緊急避難路の整備を進める。特に台風 15 号による倒木撤去で幅員を確保し、切断された照明灯の復旧を急いで欲しい。</li> <li>・国道 127 号線の保田インター入口交差点は木更津方向右折車線の滞留長が長く通行がスムーズでないので交差点改良を国に要望して欲しい。</li> <li>・農家に農業体験を都会から受入れて鋸南町の良さを知ってもらってはどうか。以上</li> </ul>
146	男性	40 歳代	勝山地区	さきの台風でも、議員は町民の意見を町にあげておらず、こんなに議員は必要ですか。議員の人数は同じでいいですが、人件費(歳費)を 1/3 ぐらいにするか会期中だけの(歳費)ではだめですか？議員の歳費は房州のサラリーマンの給料とくらべて下さい。
147	女性	70 歳以上	保田地区	雑草だらけの道路では観光客も来なくなる。美しい町作りが必要。役場の人も積極的に動く、マニュアル通りだと進化は無い。
150	女性	70 歳以上	保田地区	まわりの人達が老人ばかりで若い人や子供もほとんど見ない。将来がとても不安になります。10 年、20 年先を考えていただきたい。
151	女性	60 歳代	勝山地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一番心配な事は、鋸南町から病院が減ってしまう事です。特に入院が出来る病院は高齢化が進んでいるので、必要だと思えます。鋸南病院は存続させて下さい。</li> <li>・商店が減っているので、お年寄りが安心して買物出来る方法考えて下さい。</li> <li>・職場に幼稚園のお子さんが居る人がいますが、病気になった時が困ると言っています。子供達の支援もよろしく願います。</li> </ul>
153	男性	70 歳以上	保田地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・白石町長は頑張っている。</li> <li>・ジビエの処理施設を作り、町の食堂でも食べられる様になったら、特産品になるのでは。</li> </ul>
155	男性	70 歳以上	保田地区	町の職員は公務員としての自覚をもってほしい。勤務時間内は町民に対してキチンと仕事をやってほしいです。
157	女性	70 歳以上	勝山地区	ある一部の人には良いと思いますが、町にはまだまだ困っている人がいます。
159	女性	60 歳代	保田地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査を何度しても、反映されたという事例がみえていない。まとめて終わりでは何度やっても意味がないのでは…。経費削減の為回収に協力してほしいのなら、封筒は必要ないのでは…。</li> <li>・人口が減っているのに、町、区の行事に変化が見られず前向きな方法が示されていないのでは。</li> </ul>
163	男性	60 歳代	勝山地区	少子高齢化による人口減少は仕方ないが、2030 年頃には総人口に対する年金受給者比率が高い数値になると予想され、合併の道を考える

番号	性別	年齢	居住地区	問 12 自由意見
				時がきたのではないかと思います。今回のアンケートでは他市との合併についての質問が入ってなかった事は、誠に残念です。
168	女性	70 歳以上	勝山地区	近くの商店が年ごとに閉店し、買物に大変困っております。年寄り2人で暮らしていると、タクシーを利用したり、若い方に頼んで、何でも揃うおどやまでお願いするしか方法がないので、何か良い方法はないのでしょうか。
172	男性	60 歳代	勝山地区	山を切りくずし桜を植えるのはやめてほしい。桜はいずれは枯れるし、その維持管理が大変。
174	男性	60 歳代	保田地区	・これだけの自然豊かな町はありません！自然環境を大切に、休耕田の活用をお願いします。 ・他の町との接続道路の環境整備をお願いします！ ・台風 15 号での倒木などによる通行止が多々あります。早急に対策をお願いします。
177	男性	70 歳以上	保田地区	近日中にお宿「ひるた」の新店舗がオープンします。オープンに乗り、勝山城、醍醐新兵衛鯨塚等、見直し観光に役立てたらと思う。ジビエ料理の商品化、販売。
178	-	10・20 歳代	勝山地区	・電車の本数の増加。遊園地の復活(水族館)。 ・教室などの増加、習い事の種類の増加、参加のしやすさ。 ・修理業者など都会と違いお願いする場所が決まってしまう、お世話になりたい所を選べない。※台風時は有難うございました。
179	女性	30 歳代	佐久間地区	町の情報をインスタグラムでもっと発信してほしい。停電時3日目以降に一番、インスタグラムでの情報が役に立った。メールよりもLINEで情報をながしてほしい。
194	男性	70 歳以上	-	・イノシシ、シカ、サルなどの被害を少なくしてほしい。 ・森林の管理をもっと手を入れてほしい。 ・川又周辺の整備美化に力を入れる。 ・水道水水質の向上。夏場は特に臭く感じる。
195	男性	70 歳以上	勝山地区	今回台風 15 号により家が半壊状態になりました。相談には何回も行き、よく指導していただきました。お見舞金、義援金等のニュースは早くに回って来ましたが、日時についての(義援金や補助金)正確なニュースが無い為みんな困っています。シートをかけたままの状態、家がいつまでもつのか心配です。これから先の事を考えると安心して眠れないです。
199	男性	60 歳代	勝山地区	アンケートをとり、発表はあるが町が何を望んでいるかが見えてこない。この方向にいきたいから協力して欲しいとか、本気で考えているかわからない。
200	男性	70 歳以上	佐久間地区	まちづくりの意識と取り組みについての問いで③どちらともいえない④あまりそう思わない⑤そう思わない等、なぜそう思わないのか？○印を付けただけでその理由について調査しなければこのアンケートの意味が無いと思う。
201	男性	60 歳代	勝山地区	台風 15 号の支援に大変感謝しております。いまだ復旧できていない家も多くあります。屋根だけでも行政指導で早く、又強く復旧できないかと思えます。
202	男性	50 歳代	佐久間地区	車イスやシニアカーでも安全に通行出来る道路を整備をして欲しいです。
203	女性	70 歳以上	勝山地区	横浜市では、70 才以上の人は市営バスは無料と聞きました。鋸南町の赤・青バスの客の少ないのを見るともったいない。買いもの難民はふえています。
205	女性	60 歳代	佐久間地区	昨年、台風 15 号襲来以降、町は混乱しました。そこから復興していく姿を少しずつ、SNSや各種報道で発信しつづけていくことが大切だと思います。去年 9 月と現在の様子の対比や、町でこんなイベント(催し物)が開催される等、毎日発信し続けることでしょう。興味を持つ人は、東京横浜からも1時間で来ることが出来るので、きっとやって来ます。魅力あふれる鋸南町を歌(メロディー)や絵、写真を使って全世界に伝えること！

番号	性別	年齢	居住地区	問 12 自由意見
208	女性	60 歳代	保田地区	町民、シニア世代が参加できるスポーツ環境を作って欲しい。
212	男性	60 歳代	保田地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者の定着対策(移住支援住宅等)。</li> <li>・就業支援のため、他の市との連携。</li> <li>・主要道路の整備、バスが通れるような道幅と歩道の整備(主要道路と一帯)。</li> <li>・自然資源の更なる有効活用(海)。</li> <li>・遊歩道等海側の整備。</li> <li>・移住者が老後も車なしで安心して暮せる環境整備。</li> </ul>
214	男性	60 歳代	勝山地区	台風でダメージを受け、風評被害に苦しんでいる。その様な状況を打破する必要が早急にあると思われる。
215	男性	50 歳代	勝山地区	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 前にて記入済。議員の削減。</li> <li>2. 漁港施設周辺の美化活動、クレームがあるほど汚れてゴミだらけです。</li> <li>3. 自宅や、田、畑での(ドラム缶)生活ゴミの焼却をやめさせる。</li> <li>4. 防災、とくに地震対策でブロック壁の撤去。</li> <li>5. 人口減に対する、行動策なにもかも削減する事。</li> <li>6. 職員のレベルの低さ！会社であれば倒産の入り口。まともな電話の会話も出来ていない、あいさつも無い！スピードもない。民間ではクビ。</li> </ol>
222	女性	50 歳代	勝山地区	役場にいくと手続きするのに1人で対応可能だが二、三人窓口にくる時がある。人員が多い様に思える。赤バス青バスにのっている客が少ない、バスの運転手の人件費を払っているのは大変なので、タクシー回数券で利用できたらいいと思う。
225	女性	70 歳以上	勝山地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い人が外に出ないで自分の町で働ける様な場所を作ってほしい。</li> <li>・各地区避難場所をはっきり示した場所の配布をお願いしたいと思います。台風の避難の時に行っても、いっばいで入れなかったり、ペットの指示もはっきりしてほしい。</li> </ul>
228	女性	70 歳以上	佐久間地区	15号台風や高齢化による人口の減少が皆の話題にのぼっています。残る人も去っていく人も、大変な毎日ですがせめて、鋸南町でお友達や近所の仲間の近くでいつまでも過ごしたいという仲間達の希望が届いてくれることが出来るようにそんな鋸南町になれば。町長さんの話のように、人間も動物も過ごしやすい鋸南町に。
229	男性	60 歳代	保田地区	町当局は関与する法令等を遵守してほしい。町職員の能力の向上を図ってほしい(行政文書の書きぶりに誤りが散見される。質問照会に適切に回答できないことがある。アナウンス等の発言に日本語として不正確な場合がある)。
231	男性	60 歳代	保田地区	水仙をはじめ1年中花が咲いている街並、そして砂浜にゴミ1つ無い海。それだけで、自然と人々が集まり、街が豊かになる(PRすれば有名に)。もし、本当に豊かになったら、その資金を他の地方の街では行っていない事、例えば、街並から電柱、電線を無くす取組みを、景観の良い所から実施など。
235	女性	70 歳以上	保田地区	町の行政はとても良くやって下さっています。でも町外の事かも知れませんが、鴨川線のバスの事ですが鋸南はごくかぎられた場所(3ヶ所位)なので、各停留所に止っていただけるようになったらうれしいです。
236	女性	60 歳代	勝山地区	難しい事柄が多く、わかる範囲で答えさせていただきました。車の運転中、カーブミラーの破損を多く目にします。ぜひ点検をお願いしたいです。
238	男性	30 歳代	勝山地区	役場の職員の皆様、いつも夜遅くまでお仕事お疲れ様です。町長や議員の方々が行政や町づくりに対する方針等を出されているのではないかと思います。役場の職員(特に若い方)が「こんな町にしていきたい」「こんな町に住みたい」と思う町づくりをしていくのが良いと思います。日々の業務の中でそんな余裕が無いかもしれませんが頑張ってください。陰ながら応援しています。
239	男性	70 歳以上	保田地区	海岸部の台風時の大波、高潮、地震時の津波対策が全く行われていない。避難する事が重要かつ確実だと思いが、ハード的な防災対策は全く

番号	性別	年齢	居住地区	問 12 自由意見
				行われておらず、不備。無策。生命、財産の危機を感じる。町の職員もハード対策には「予算が無いと」あきらめており、やる気がない。これでいいのか？
243	男性	60 歳代	勝山地区	・企業・教育関係・観光施設の誘致※観光協会を充実させる、役場の職員退職者等ベテランを配置することにより活発な活動を行う？国保（鋸南病院）の充実、看護師の応接をもっとよく！（ドクター看護師）評判が悪い！
245	男性	30 歳代	-	町全体の若返りに向けた取組み、若い世代が住み続ける若い世代を呼び込む政策を。 ①大型公園整備、シルバー人材を活用した登下校見守ボランティア、町内パトロールステッカー配布。 ②汚染土拒否自然保護 ③防災対策台風、地震、津波など災害発生前にできること、発生後の速やかな対応をお願いしたい。災害マニュアルに、区長、班長の細かな動きまで入れてほしい（支援物資が届きにくかった、コミセンの活用の仕方、情報伝達の仕方）。
246	男性	70 歳以上	保田地区	めぐまれた自然環境を効率的に生かしてほしいと思います。町主体をテーマパークにするような感じで！
248	男性	30 歳代	保田地区	・町を象徴するはずの役場が暗く雰囲気非常に悪い。 ・子育てについて力を入れようとしているのはとてもよいと思うが、現状若者が子育てしやすい町になっているのか疑問である。高齢者ではなく“若者”が住みたいと思える町づくりをしなければ町の未来はない。
249	女性	50 歳代	保田地区	台風災害におかれましては職員の皆様には長期間にわたり町民の生活再建の為にありがとうございました。今後共健康留意しながら宜しくお願い致します。日頃有害鳥獣対策にも取り組んで頂いておりますが、大きなイノシシに身の危険を感じたことがあります。自分でできることはやらなければならないと思いますが、捕獲をすることで安心して生活や野菜作りができるようお力添えを頂けたらと思います。
250	女性	40 歳代	保田地区	平日、仕事をしているので、諸手続きが難しく、1～2カ月に1度、土、日、祝窓口対応してもらえる日があると助かります。台風後の対応とてもありがたかったです。ありがとうございました。
254	女性	50 歳代	勝山地区	中央公民館又は保田小でイベントがあっても、年寄りや車など確保できないと行くことも出来ず、残念がっています。町のバスなどをそういう時などに率先して出してもらえようならありがたいです。
257	女性	10・20 歳代	勝山地区	公園があまりなく、子ども達のがのびのびと遊ぶ場所がないため、増えると良いと思います。若者と様々な世代の人の交流があると、町に活気が出ると思います。町のための働きありがとうございます。
264	女性	50 歳代	勝山地区	若物が住みたいと思う街づくりにして欲しいです。まずは働く場所がないと定住は無理だと思います。
266	男性	60 歳代	保田地区	トイレが汲み取りなので行政で直して貰えると助かります。最近引越してきてまだ日が浅いので、良く判りません。申し訳有りません。
268	女性	70 歳以上	保田地区	大きな災害の時に住める仮設住宅が必要ではないでしょうか（町有地の活用）。
273	女性	70 歳以上	保田地区	自然環境が心配です。汚染土！海の汚れ！山の破壊！川の汚れ！なんとかしなくてははいけません。
285	男性	60 歳代	勝山地区	近くに食品の買い物をする店がなく、困っています。空家（壊れている家）が多い。危ない。台風その他で物が飛んで来て、家のガラスが割れた。取り壊してほしい。
287	女性	60 歳代	勝山地区	台風 15、19 号で被災した家などを、いち早く元にもどせるように取り組んでいただきたい。また、トップが長い間同じでは新しい風が吹かないのではと思う。観光に力を入れるべきではないでしょうか。
290	男性	70 歳以上	保田地区	・まず第一に耕作放棄地をなくすため、他への利用、活用を望みます。又有害鳥獣駆除を全力で行うことを希望します。 ・夏、海水浴場に多くの人々が来るよう、トイレや海の家、その他活気づく

番号	性別	年齢	居住地区	問 12 自由意見
				<p>ような努力がほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鋸南、水仙ロード、きれいな海、菱川師宣記念館、美味しい魚等々の素晴らしさをもっと都市住民に配信してもらいたい。</li> <li>・あちらこちらから子供の声が聞こえたら心地よい生活ができます。</li> </ul>
292	女性	70 歳以上	佐久間地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町営バスは、利用者が少ないので、小型車にしたら良いと思います。免許返納者が増え、利用者が多くなったら台数を増やしたら良いと思うのですが…。</li> <li>・健康づくりに役立つ講習会に参加させていただいて、もっと多くの人達に聞いてもらえたらと思いました。</li> <li>・就学前の子供を遊ばせる場所が近くに欲しいです。</li> </ul>
295	男性	40 歳代	勝山地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者若い世代の子育て支援に積極的な補助をお願いしたい。</li> <li>・漁港等を使った「港まつり」や既存のイベント等、あまりお金のかからないように広域への周知を行うことにより、鋸南町を近隣都県へ知ってもらえう。昨年の台風等で甚大な被害を受けた鋸南町であるため鋸南町での年間行事等を近隣都県にPR出来るチャンスだと思います。</li> </ul>
296	女性	70 歳以上	保田地区	<p>昨年の大型台風で思いもよらない災害をうけ、改めて大木がガケの上に多数有り、くずれて倒れてきたら大事になる所があると、車で走っていて感じる事がある。環境整備は、老後生活をしていく上で、重要な1つと思っています。</p>
297	男性	70 歳以上	保田地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策を見ていると国の言いなり、県の言いなり、創意工夫が感じられない。町や海を歩くと漁業者や、農業者の物と思われる廃舟や古い農業資材ゴミ？なのかわからない物が目につく。片付けて美しい街に！</li> <li>・点としてはすぐれた観光資源があっても連携なくバラバラ。二つの漁協も仲良く協力し合えないのかと疑問に思う。</li> <li>・道路の貧しさ(歩道がない狭い)。安全な街の第一歩ではないか。観光客が国道を命がけで歩いている。</li> <li>・海沿いに低山のトレッキングコースを開発してみたらいかが。</li> </ul>
302	男性	60 歳代	保田地区	<p>買い物は生協に頼っていますが、1週間に1回なので、自宅近くにコンビニがあったらいいと。近場にはないので。中原に住んでいます。</p>
304	男性	60 歳代	勝山地区	<p>台風などの自然災害に対しての山林の間伐指導。</p>
309	女性	50 歳代	勝山地区	<p>町役場と部落(区)との連絡がとれていなかったように思う(災害時)。具体的な防災訓練をやってみたらどうでしょう？</p>
312	男性	70 歳以上	保田地区	<p>医療、福祉の充実を最優先に取り組んでほしい。災害時、全住民が避難できる、避難所の確保及び適切な誘導放送等望む。</p>
315	女性	60 歳代	佐久間地区	<p>夜9時以降、街灯が少なく思う。歩くのが怖い。道路のデコボコが沢山あり、つまづいてしまう。ミラーがわれている所が多く、それを頼りにするものがなく、自転車で行く人も、車も怖いのではないかと。ゴミを所定に捨てられないのか、いたる所にゴミが、川の竹やぶ他、いたる所に見受けられる。非常に見苦しい。</p>
317	女性	60 歳代	勝山地区	<p>夜にウォーキングをしています。予算がない事はわかりますが、道がでこぼこです。工事の度に、もう少し丁寧に修正して頂ければと思います。台風前には明るかった海岸の道も今は暗いです。</p>
322	男性	40 歳代	勝山地区	<p>すべての町民が平等にサービスを受けられる町にしてほしい(行政対応)。</p>
328	男性	60 歳代	保田地区	<p>50 年前の遠浅の砂浜、川にうなぎがいて、あゆが飛びはねていた。その状況に戻したら、もっと都会の人達が来てくれる。1日漁業権を販売し、都会の人に磯遊びをせよ。→都会の人か来る。→町が潤う。</p>
329	女性	60 歳代	保田地区	<p>行政にばかりたよっては、いけないと思いつつ、甘えてしまうところがあります。少ない人数でがんばっている役場の職員のみなさんを見ると、本当に大変だと思い、感謝もしています。特に昨年の台風被害への対応など、身体をこわしていないかと心配にもなります。あまり無理をせずがんばって下さい。こちらでもできることは、協力したいです。</p>
331	男性	50 歳代	保田地区	<p>老人が多い町なので昨年の台風等災害時に罹災申請を代行してやるサービスが必要である。老人はカメラと車もない方が多いので申請をし</p>

番号	性別	年齢	居住地区	問 12 自由意見
				たくても出来ない。被災者が唯一活用出来る権利を行使出来るようにしてもらいたい。また、現在、活躍している技術ボランティアは現状にマッチして効果が絶大である。町はこの技術ボランティアの支援と育成に力を入れるべきだと思います。
334	男性	50 歳代	佐久間地区	町や行政は街中には、何でも力を入れており、外れた山間部には何もしてくれていないのではと思います。
345	男性	70 歳以上	佐久間地区	観光客誘致対策の一案として、釣堀廃棄されたプールを利用…。川魚海でのいけす…海魚佐久間小跡地利用。サテライトオフィス+住宅。
347	男性	60 歳代	佐久間地区	有害鳥獣駆除。若者の働く場所。
352	男性	50 歳代	勝山地区	行政サービスは現状でいいと思います。もしよろしければ、新しい友好都市と結ぶ事かなあ～。行政職員の退職年齢を引き伸ばして人材確保。
353	女性	60 歳代	保田地区	生まれ育った町ですが寂れて行く町を目の当りにし、寂しく感じ、不安を感じます。
354	女性	40 歳代	佐久間地区	今回の台風 15 号で被害にあった人に対する対応(義援金など)が、もう少し充実していたら…と感じた。蓄えのある人は、一時的に自分で出し、それに対して町へ申請し補助を受ける事が出来るが、全く蓄えのない人には手元にお金が入らず補修も実費。業者の見積もりも全額保証される訳ではないので、依頼しても払えない為、業者へ頼めずという辛い思いをしました。町の財政も厳しいとは思いますが、そういう内容の援助も欲しかったと思います。
361	女性	40 歳代	佐久間地区	財源もない、高齢者が多い、若者はいない、空き家ばかり。そんな現状をどうしていけば活気ある町になるか、私にはわからないが、鋸南町にたとえばインスタ映えするスポットを作ったり、立ち寄り、沢山の人を呼び泊まっていてくれば、定住にもつながるのかな。若者も高齢者でも働ける、集まれる場所作り、あったら良いかも。地域の農海産物を使ったおみやげ名物を考える(住民学生に考えを募ってコンテストを開く)。
365	男性	60 歳代	佐久間地区	鋸南町の人口がどんどん減っています。町のコンパクト化を心掛けながら、町民への行政サービス等が低下しないようにお願いします。
373	女性	30 歳代	勝山地区	小さい子供が、安心して、遊べる場所がないのが、困ります。作ってほしいです。小学校の行き帰り道にもう少し安全安心になってほしい。車が、けっこうなスピードで走ってるので。
374	男性	60 歳代	保田地区	町(行政)と町民が話し合う場を設け、広く一般に今後の町政について討議する機会を増す…。汚染土受入れ反対！白石町長引退後の町に不安がある。
382	男性	70 歳以上	佐久間地区	町道 1-106 号の県道昇格による金銅橋の欄干のサビ止め、塗り替え工事の推進と拡巾、県道 34 号鴨川保田線より県道 184 号外野勝山線に通じる町道 1-106 号すいせん観光、さくら観光で 30 年度バス 650 台、自家用車 2万台以上の通過のある町道です。大型バイクが年間 500 台以上と思われる。急カーブ等標識の設置等望む。
383	女性	50 歳代	勝山地区	明石丸さんが店を閉じて、困っています。車が無いので食料品を買いに仁浜からおどや迄、自転車で走っています。今はまだ 50 代なので、なんとかかかっていますが、この先不安です。食料販売の車が定期的に回ってくると助かります。
385	女性	60 歳代	勝山地区	地方にいてもパソコンで仕事ができる時代なので、人口が少なくなる現在、移住できるようになればと思う。お試し移住住宅(1週間、1ヵ月、3ヵ月)を作ってみる(実費は頂く)。図書館に自由に持ちこみ、持ち出しのできる本のコーナーを設けて欲しい。館山、千倉の図書館で何年か前よりやっていますので…。
391	男性	70 歳以上	勝山地区	受益者負担(?)という言葉があるが、他人の金で、ぬくぬくと生活しようとせず、本当に補助しなければならぬ事には公金を使い、奉仕の心で無駄を省いて、小さくとも中身のある行政にしなければ、今の現状ではいずれ立ち行かなくなる事は明らかである。

番号	性別	年齢	居住地区	問 12 自由意見
394	女性	50 歳代	勝山地区	毎日の生活に追われています。どの分野についても、最善であると思っ ていますが、具体的な情報は全く入らないです。町報が情報源ですが、 ゆっくり目を通す時間もない現状です。お仕事お疲れ様です。
398	男性	60 歳代	勝山地区	・若い人の職場確保の為、積極的な企業誘致を期待します。 ・自ら活動に参加したい。
403	女性	70 歳以上	勝山地区	台風 15 号で被災しました。役場の方々も大変だったでしょうが、長男が 東京に住んでいるので、手続や何かで何回も鋸南町役場と連絡を取り ましたけど、ようやく1月半ばで終わりました。ちなみに、私は埼玉県に四ヶ 月、避難していました。皆様のおかげで家が建ちまして、今は新居に 住んでいます。ありがとうございました。86 才。
404	男性	60 歳代	-	高齢化、人口減少は確実に進むでしょう。それを防ぐ方法は絶望的な ので、そうなった時にもやっていける方法があるかどうかを考えるしか ないと思います。
409	男性	30 歳代	勝山地区	このアンケートの意味がよくわからない。このアンケートを書かせる くらいなら行政は、もっとしっかりしてもらいたい。
410	男性	40 歳代	勝山地区	税金の無駄遣いをまずはやめて、町長、議員報酬の見直しと無駄な 公共工事の中止。税金未納者と納税者がほぼ変わらない生活はおか しいと思う。
417	女性	60 歳代	勝山地区	台風 15 号の災害ではお世話になりありがとうございました。まだ復旧 途中ですがよろしく願います。
419	女性	70 歳以上	勝山地区	今は自然災害の傷跡を、1日も早く元の町にもどして欲しい事に力 を出して下さい。未だにブルーシート鋸南…！！対象外の方もいます ので、そここのところは…！（3つのことば）ハイ…明るい返事。ニコ… 笑顔で。ポン…すぐ行動に移す。（リズムカルに）。
423	女性	50 歳代	保田地区	町に対して何か協力出来る事があると思ひ、提案しに役所などに行 ったが、閉鎖的。引越してきてみて、暗さを感じる。
425	男性	60 歳代	保田地区	台風による雨、高潮と重なり、河川の氾濫で、堤防又護岸の現在の危 険性が大きいと思います。たとえば津波に対してもそうです。河口付近 の低い護岸、古い石積等、嵩上げ整備により安心して生活出来る事 を望みます。町から、県、国に話しかけていただき、実現する事を 望みます。
429	男性	50 歳代	勝山地区	鋸南町の美しい景観を壊さず守って欲しい。若者の雇用に町が企 業を誘致する。今回 15 号、19 号台風の支援物資、支援金、誰か ら頂いてどう利用したか明細を明らかにするべき。
430	女性	50 歳代	勝山地区	鋸南町のみで独立するのではなく、他の市(南房総市)と合併し、 合理化して欲しい。
431	女性	70 歳以上	佐久間地区	免許証返納を推進するならば、高齢者の人の移動に力を入れて 欲しい。
432	男性	70 歳以上	勝山地区	(自然災害時における避難体制及び避難場所) 予想される巨大地震 時には津波ハザードマップを見ても、一番被害のある地域には老人 が多く近くには高台への避難場所がなく時間がかかります。避難 シェルターの必要性を感じます。豪雨による洪水時も底地に住む ので同じです。災害が起きれば家も減り、人口も減ります。
435	男性	70 歳以上	保田地区	高速バス停留所の設置をお願いしたい(道の駅保田小学校前)。
438	男性	60 歳代	勝山地区	町づくりも大事ではあるが、現状は町・町民家屋の復旧、復興が 第一の優先ではないのでしょうか？特に屋根修理に関しては瓦等 の撤去による処分場所の確保が必要と思える。屋根業者が処分 に困っています。だから、屋根復旧が進まないでしょうか。ブル ーシートが取れば町民が町づくり等に協力的になると思いま す。町として考えてください、早急の問題です。
440	女性	70 歳以上	佐久間地区	空家、空地を町で買い取り、子供が比較的多い地域に公園を 作ってほしい。遊具などはなくてよい。キャッチボール、おに ごっこ、ボール遊びができる公園。孫達が遊びにきても、 広いところはたくさんあるのに遊べる場所がないので。

番号	性別	年齢	居住地区	問 12 自由意見
441	男性	70 歳以上	佐久間地区	町会議員が年度初めに今年はどういう事やって町を良くしよう、発展させようと各自1項目申し出て、それを町長の考えも入れて決定し町報で知らせて下さい。町民の意見も重要ですが、町民に選ばれた議員が議論し合っ。会社経営は新製品が出なくなったら終わりです。町長一大きい声で頑張っ！（出して）。
442	男性	70 歳以上	佐久間地区	下記認識を！台風 15 号、その他で山間部の道で山崩・崖崩で通行不能となって居り、有害鳥獣駆除組合の人達が入山出来ず、従って猪の害が史上最多となって居ります。奥山では、山ノ田、松子田、猪ノ倉、太田、ニツ尾いずれも入山出来ず、従って本年は全く猪の駆除がなされず被害最大です。御配慮を！！
448	男性	70 歳以上	勝山地区	行政は、町民に正確な情報を伝える（台風や災害）。勉強不足が見られる部分がある。行政は町民に対して上から目線が感じられる。
449	男性	50 歳代	保田地区	近隣市との合併。
450	女性	30 歳代	勝山地区	・災害に強い町づくりをしてほしいです。津波に対する高台の避難場所がないことが不安です。また、避難した所で、安心できるよう、情報を伝えてほしい。 ・子どもが戸外で遊べるところがほしいです。大きな芝の広場や遊具で車など気にせずのびのびと遊べる所がほしいです。 ・人と人が交流しながら、悩みなど気軽に相談できる所が必要かなと思います。健康の悩み、子育ての悩み、話しやすい場所がほしいです。 ・災害の片付け等で1、2時間子どもを預かってほしいことがあって困りました。用がある時、短時間、預かってもらえる所があったらとても助かります。
451	男性	70 歳以上	佐久間地区	町でやるべき事、地域でやるべき事、町民自身がやるべき等、それぞれのやるべき事をはっきりさせ、すべて町が答える事ではない町政をお願いしたい。
454	女性	70 歳以上	保田地区	一人暮らしの老人のため、買物や病院への交通手段を考えて頂きたい。移住者が地元の人々と溶け込める雰囲気作りが大切。受け入れ対策。空家対策に力を込めて欲しい。若い人の働き口が必要。
455	男性	30 歳代	佐久間地区	都市部からの移住よりも町内出身者のUターンできる環境を作ったほうが良いと思う。地元愛が強い地域性があると思うので、仕事や実家以外の居住場所が確保できれば地元に戻りたいと思っている友達が多いので、君津、木更津あたりに住んでいる人を呼び戻せるような施策が必要なのだと思う。
457	女性	10・20 歳代	保田地区	役場職員が少人数になってきているため、担当者が不在等で困ることがある。雇用をつくる意味も兼ねて、正規職員数を増やしてはどうでしょうか。
459	男性	70 歳以上	保田地区	現在のままで安心です。
460	女性	70 歳以上	勝山地区	・鋸南病院を頼れる様にして下さい今のままではどうも…。 ・台風 15 号で大きな店が閉店になり車のない人、高齢者は困っている（買い物について）。 ・高齢者で単身の人には年と数年？食事の給食が配られているらしいが、高齢者 85 才以上で二人暮らしの人には何の配布もない。不公平だと思う。2人共高齢なのでもう少し気配りを御願いしたい。 ・高齢者の集いの家が、台風 15 号で屋根にブルーシート。早くなおして下さい。
462	男性	70 歳以上	勝山地区	町道が狭い所がある。地籍調査の道幅が狭くなっている。不便である。下佐久間大門東の町道広くしてもらいたい。
463	女性	70 歳以上	保田地区	役場の皆様にはいつも御世話になっております。毎日のお仕事で大変だと思っと同時に、自分も大変だろうに町民の事に御配慮頂き心より感謝申し上げて居ります。私は八十五才になりました。もう少し頑張っみたいと思っっています。役場職員一同様、御元気で頑張っして下さい。
470	男性	60 歳代	保田地区	・長狭道路のJR付近の幅が狭くダンプ、バスとのすれ違いに危険を感じる。幅を広げる必要性有り（歩道含める）。

番号	性別	年齢	居住地区	問 12 自由意見
				・保田駅→保田漁港、保田小道の駅→保田漁港までの歩道の整備とその道側に魅力ある商店を誘致する。 ・吉浜埋立地の活用(雨天や夏の日ざしから守れる釣り施設)。
471	男性	60歳代	保田地区	学童保育の時間の検討、交通手段なども。
472	女性	70歳以上	勝山地区	老後の買物に不安を感じます(バスが少なすぎるので)。
477	女性	70歳以上	勝山地区	台風15号から町長を始め、町職員の方々大変御苦労をされた事と思います。大変御世話になり有難うございました。まだまだ道中ばと思いますが、皆様に頑張って頂きたいと思います。私は年老いて何のお手伝いも出来ず、お世話になるばかりですが、町長始め、町職員の方々体を大切にされ、私達町民の為に頑張って頂きたいと思います。町政の事は良くわかりません。失礼致します。
478	男性	70歳以上	勝山地区	町には、老人会、遺族会等いろいろな団体があります。そこで会員や役員になっても町中央公民館、保田小学校(道の駅)、すこやか、佐久間の老人センター等で会議や催しものがあったり、そこまで行く交通手段が無く困っています。良い対応策はありませんか。 (理由) ・高齢者の多くが足や膝が悪く歩行困難の人が多(災害のときの避難する場合も同じ)。 ・高齢者が年々免許証を返納し、仲間うちで車を運転する人が居なくなっている。
485	女性	60歳代	勝山地区	学校教育の充実の件で、今学校ではにじいろだの、青空だのという、教室がありますが、あれは、差別だと思う。子供の個性だと思う。先生が足りないとの事ですが、少しおかしくないですか。個性のある子供を見るのも、同じクラスの子供達にとって、勉強のひとつだと思います。できるものなら、今のクラスを廃止してもらいたいです。
486	男性	60歳代	勝山地区	オープンな役場。
487	女性	70歳以上	保田地区	若者達が鋸南町に残り、一年住み続けたいと思う様な魅力ある町作りにしてほしいですね。
488	男性	60歳代	勝山地区	・アンケートが長すぎる。私は一人身なので答えようがない質問が多かった。問い方を考えた方がよい。 ・人も行政も同じだと思うが、身の丈にあった形がいいと思う。台風の被災の折には御世話になった。少々聞きづらいかもしれないが、町外から応援にきた他の地域の行政の方々のほうが被災した私には温かい心遣いと的確な対応で接してくれたように感じられた。町の行政がひっ迫しているのであれば、ぜい肉をそぎ落としてスリム化するしかない。行政サービスが落ちるのが心配ならば、臨時の職員を増やせばよい。町の為に身を粉にして、つくすだけの気概と才覚のある人だけがこの町を守れる。町民あつての行政。“公僕”とは公のしもべ(下僕)という意味である。
492	女性	70歳以上	佐久間地区	活気ある町にするためヒマな高齢者をうまく活用するアイデアとして、年齢制限なしで、複数人で何かを作るコンテスト(テーマは要/毎回)の様なイベントを企画しては。全て制限せずボランティア的な物作りとして競う形。町の観光・老人の健康ややりがい、地域のつながりに期待。
493	女性	70歳以上	勝山地区	もう少し近くに野菜、他に買い物が出来るところを作ってもらいたいです。年をとると遠くには行けません。
495	女性	60歳代	保田地区	鋸南病院は是非必要なので、医療の充実をよろしくお願い致します。
497	男性	70歳以上	勝山地区	台風15号のつめあとがひどく、山の木々がなぎ倒され、岩肌がむき出しになり、いつ落石が起こっても不思議ではない状態ですね。土砂災害警戒区域(イエローゾーン)に相当します、と書面をいただきました。不安と心配が大きくなりました。災害のないことを祈るだけです。百歳になる母もただただ驚くばかりです。しっかりした情報にすばやく対応します。
501	女性	40歳代	保田地区	行政というのか分からないけど役場の人達が声が小さい、元気がないような気がします。話しかけづらさがあります。今回の台風で大変だったと思いますが頑張ってほしいです。

番号	性別	年齢	居住地区	問 12 自由意見
504	男性	50 歳代	勝山地区	・堤防に張り付いていたイソツピやアメフラシが消えた。トコブシが好む棚もゴミで埋まり、磯が死んでしまった。生活排水などによる水質汚濁が原因と思われる。(江の島など)対岸や都心近くの東京湾対策を見習う必要がある。・若い世代の方々(特に女性)は清潔環境意識が高いためにみ取りトイレはNG。職場が、木更津君津の通勤圏であっても、住居を移動しているようだ。浄化槽の設置は、若者が鋸南町に住む環境対策のひとつと言えるのではないかと。自宅が水洗でも夏場のくみ取りは、かなり臭うので、補助金を拠出するなどの対策も必要。若い世代の方が鋸南町へ定住する隠れた対策のひとつだと思う。・富津市と共同で「鋸山」を文化遺産として文化庁へ申請した事は、非常によかった。鋸山は、近年では、外国人が訪れるディープスポットとなっている。観光としての推進にあたっては、金谷ザ・フィッシュの社長鈴木裕さんが長年にわたり、石切場などの歴史研究をしてきたので、保田側からの観光など相談してはいかがかと、とも思っている。また、保田駅へのアクセスが悪い、ほとんど金谷側から登山・下山している。・道の駅のネーミングは、小学校の跡地だったことから「保田小学校」としたようだが、佐久間地区、私が居住している勝山地区の住民は、どう感じているのだろうか?「保田小魂」と名入りの男性用パンツが販売されていたが、佐久間・勝山小卒業の人はまず買わないだろう。いまさら名前の変更は出来ないだろうが、3地域の道の駅として設立したわけなので、特定の地区名の商品(製品)は、販売しないでいただきたい。「がんばろう鋸南」とか「鋸南の絆」とか「鋸南を応援するぞ」とかのTシャツの方がいいだろう。・昨年の台風被災後の屋根ブルーシート張りにおけるボランティアや自衛隊の派遣において、電話だけで自衛隊が何度も確認に来たりボランティアが数回来たり、明らかに他の家庭と違う対応の家があった。役場担当者は、災害時は、平等の対応をすべきと考える。今後災害があった際は、忖度はしないで欲しい。当該家は作業弱者の家ではない。一般と同じように、その場合は、県と契約している業者をすすめるべきだったと思う。
505	女性	70 歳以上	勝山地区	このアンケートも良かったのですが震災が終ってまだ復興にしのぎを削っている人が沢山います。鉄は熱いうちに打てではないですけど後世にこの反省を残して置くように切実なアンケートもほしかったのではと思いました。
506	女性	60 歳代	保田地区	スーパーが少ない。店が遠く老人や足の悪い人は買い物難民である。避難場所への移動が困難である。移動販売車をもっとあると良いと思う。
508	女性	70 歳以上	勝山地区	子供を他人に預けないで、安心して子供を育てる事が出来る環境になればよい。子育てしながら、仕事もがんばる。若い女性にもっと配慮があれば良いと思います。
510	男性	70 歳以上	勝山地区	高齢者が多く田畑の休耕も多く、山林も地肌が見え、農林業や水産業もどんどん衰退している様に見える。この状況をどうするかというアンケートなのだろうが、これからの鋸南町は若者にとって非常に厳しいと思う。
511	女性	40 歳代	勝山地区	通学路を一度歩いてみて下さい。枝木や竹がおい茂り、子供が通るには危険な所があります。国道沿いの植栽も手入れもできないのに、桜や水仙ばかり…。イヤになります。この町に未来はあるのでしょうか。商店が消え、子供も少なく、夜は暗い道を歩けるわけないです。町長始め、町の職員の皆様、もう少し新しい発展にはどうすれば良いのか考えて下さい。桜や水仙保田の道の駅で満足しては、この町は消えますよ。
519	女性	70 歳以上	勝山地区	介護施設運営、管理者を捜す。高齢者ハウスの建設管理運営、入居者に会いに家族知人が訪れるようになれば、道の駅等での買物が考えられる。公共交通機関の発達がなければ人口は増えないであろうと考える。企業の誘致も無理であるならば若い人も増えないであろう。鋸南町は自然に恵まれて観光、別荘地には最適な場所。しかし居を構えるには制限される土地。悲しいかな…。
521	男性	60 歳代	保田地区	学生の通学が便利なようJRの本数を考えてもらいたい。

番号	性別	年齢	居住地区	問 12 自由意見
526	女性	60 歳代	勝山地区	道がデコボコで足が痛い。私は歩きにくい。
533	男性	60 歳代	勝山地区	介護タクシーの設置。役場、すこやか間の交通手段ふるさと納税をやる。空き農地の活用、鋸南病院の活用(せつかくの施設なの?)
543	女性	70 歳以上	勝山地区	生活保護者の転換の見直しを。(高齢者でも町の負担にならない様に通院&生活に気を配っています。若者&ニートの人、申請すればお金が手に入る。この制度はやめてほしい)大切な税金の無駄使いです。今年のように大被災になった年の事を考えたら、この方向の金の流れは中止して下さい。
545	男性	40 歳代	勝山地区	町報きょなんや町報きょなんおしらせ版などは月1回にまとめても良いと思います。地区役員の負担が大きいです。(月2回は必ず時間を取らないといけない、共働きの方々は土、日に行けないといけないので大変だと思う)。
548	女性	40 歳代	勝山地区	・教育関連施設は充実して助かります。学習力向上のために、南房総市のように、夏休み中の教室や、塾講師の補習授業などあるとうれしいです。 ・台風後、閉店するお店があり、買物が不便になった人が多いので、商業が活気づくような支援をお願いしたいです。
551	男性	70 歳以上	勝山地区	町会議員の人数が多すぎる。人数を6人にして議員に専門的従事していただくことでベースアップにする。
552	男性	50 歳代	勝山地区	昨年の台風 15 号の際は、町長をはじめ、役場のみなさんの対応ありがとうございました。
559	男性	60 歳代	勝山地区	働く場所、環境の整備が必要と思う。その上で、Uターン、Iターン者に向けた目だまポイントの考案が必要かと思う。
565	男性	60 歳代	勝山地区	災害時に地区住民が協力し合う為には、平常時から住民間の絆を深めるコミュニケーションの場を多く、もっとお互いを協力し合い環境作りが大切だと思います。
566	男性	70 歳以上	勝山地区	町営バスをもっと細かく運行していただきたいです。
568	男性	60 歳代	勝山地区	災害の義援金は、どこにいったのでしょうか？
574	男性	70 歳以上	保田地区	町行政の考え方や人口減に対する対応の仕方が変わってついていけないとは思えない。当町は戦後一貫して、町をささえる人口減少が県下一番に進んで来たが、ほぼ成り行きまかせで、どんな町にしようとしたのか考えが分らない。結果として皆からは望まれる町となっていないので、人口減がひどい。移住人口も少なく、行政がリーダーシップを取れていない。町民代表の町議も主張がわからないし見えない。慣れ合いである。しっかりしてもらいたい。
577	男性	70 歳以上	保田地区	町づくりは官民一体でやるもの。住民は役場に要求するだけ。町は民間活動にほとんど「義務」的つきあい。民間の力を引き出すために役職、職域を越えて地域に出てほしい。「できない」「無理」「やったことがない」という町民では改革できない。今町にある魅力を発見し(花、観光、水産)それをあらゆる情報で発信する。オリンピック(例・一宮町)の外国人も来町のチャンス、日常も歓迎体制を。空き家バンクはほぼ活用できない。転居者の相談先もない。町政報告会をもっと多く聞いてほしい。生の声が聞ける。
590	女性	70 歳以上	勝山地区	人が少なくなってきました。私の家の周りは家がなくなってきました。昔に戻って行くのでないかと思っています。海のまわりはごみだらけ、こんな所にはお客様も来ません。まして私の近所は旅館があるのにとっています。
598	男性	70 歳以上	勝山地区	がんばろう鋸南町。災害のない町に。
601	男性	40 歳代	勝山地区	佐久間小脇から入った道路の陥没(台風より以前に起こっている)を早く工事をして頂きたい。
603	男性	-	保田地区	今日の様な災害にあった人達が多い。その様な町は対応の仕事が遅い。何故なら支援補助金等の配布に関し、あまりに長い時間を要している。もっと速やかに対応しなくてはならない。
607	女性	70 歳以上	勝山地区	近くのスーパーが閉店になり、老人の買物が不便になった。

番号	性別	年齢	居住地区	問 12 自由意見
608	女性	60 歳代	勝山地区	夜病気になった時に、一人で生活をしているので不安を感じます。老人の生活も、もっと考えてもらいたい。
612	女性	70 歳以上	保田地区	行政に係わる役職を依頼され、これを受けたならば、周囲に振り回されない、御自身の強い意志をもっと真剣に取り組んで欲しい。又、その分野について専門の知識を勉強すべきと思う。
622	女性	70 歳以上	勝山地区	生活保護をもらっている方が多いです。見直しをした方が良いと思います。病気が治ったら働いてもらうこと。世間では皆さん言っております。町民の人が大変です。年金を掛ける、20 才～60 才まで死にものぐるいでかけました。国民年金より多いでしょう、おかしいです。年金掛けないでもらっている人が多いです。
629	男性	70 歳以上	保田地区	迷惑をかけないように頑張りますが、町会議員さんの行動があまり見られない。頑張してほしい。
633	女性	40 歳代	勝山地区	小さい子供より高校・大学と進学したときのほうが比にならないくらいお金がかかる(塾代や定期代や部活など)。それを考えると、子供は2人も3人も産めないと考えてしまう。そちらにも、もう少し金銭的助けがあってほしい。保育料も高すぎる。
634	女性	40 歳代	勝山地区	住み慣れた鋸南町を災害より離れることになり、良い面もそうでない面も見えます。それでも、高齢者が住家を失い、また再建して、元通りの生活をそこですることは、時間的にも資力的にも厳しい、これが現実と思います。私も模索中です。
635	女性	70 歳以上	佐久間地区	高齢者が多くなるので、介護、福祉の充実を図ってほしい。少子化なので若者が地元で働ける様な環境づくり。子供が増えてもよい。家族のあり方を考えてほしい。一人暮らしが多くなっているのも民生委員、訪問回数を増やしていける行政づくりを希望。町の観光、イベントの活性化などで町に活気ができるように。
641	女性	70 歳以上	佐久間地区	総合的に問いに対しての理解がむずかしい。回答できない(わからない)という項目が欲しかった。高齢者にはとても不親切なアンケート。
650	男性	70 歳以上	勝山地区	これまでの町の総合計画の施策について、どの様に進んだか、又何を改善しなければいけないかを掘り下げて考えて行った方が良いと思う。
654	女性	70 歳以上	勝山地区	若い人達の仕事がないので離れて行きます。
655	女性	70 歳以上	保田地区	公共の交通機関を利用したくても、数が少なく利用できない。病院等の種類が少ない、すぐ行ける所が近くにあると良いと思う。
656	女性	70 歳以上	-	台風があっても、町長はじめ議員の皆様方の「どうですか」の1言もありません。うんざりです。少し考えて下さい。私は毎日思っています。良く読んで下さい。お願いします。
666	女性	70 歳以上	保田地区	・70 才過ぎても、週1～3日位でも働ける場所がほしい。 ・道の駅にもっと農水産物を多く置いてほしい。1カ所で品物がそろわないと車に乗れない人はとても不便です。
668	女性	60 歳代	保田地区	交通手段ー現在自家用車があり、不便は感じませんが、運転出来ない年齢、体調の時の不便さがあり、アンケートだけでは○、×の意見が違ってきます。近所に子供の姿がなく、活気があるのか？判断できずにいます。60 才後半ですが、他地区にパートにでていて、楽しく働けていますが、近くに自分の体調、状況にあった職場、ボランティア活動できる情報が欲しいですね。同年代の人達の情報交換の場も少ないです。
674	女性	70 歳以上	保田地区	九月の台風被害、町長始め役場の皆様には、大変お世話に成ります。ありがとうございます。町民として、ブルーシートの無い、今迄の様な暖かい鋸南町の復興を一日も早く願っております。
677	女性	70 歳以上	保田地区	空家、廃屋等の解体整備。
684	女性	70 歳以上	保田地区	年を重ね、力がなくなり、仕事のがのろい、やり方がうまく行かない。はしごで登るのがこわい。手すりか、つかまる棒が付いていたらと思ったり、たくさんのお仕事ではないけど、ちょっとした手助けをしてくれる人が身近にいたら、と思っています。近所も皆、年配の人ばかり。先が不安に思います。

番号	性別	年齢	居住地区	問 12 自由意見
704	女性	40 歳代	保田地区	観光ばかり力を入れているが意味がない。観光客は鋸南にお金をおとしているわけではない。やり方が間違っている。他に大切・重要なことがあるのに、力を入れない、町に魅力がない。このままだと入口は減る一方。
706	女性	70 歳以上	佐久間地区	車の免許証を返上した後、交通の便が悪いので、買い物や通院が大変になる。バスは町内だけ走るのでは無く、隣の町のバス停まで運行できるようにになったら便利だと思います。
709	男性	70 歳以上	佐久間地区	・赤、青バスを富楽里経由にすべき。 ・長狭街道の鴨川発、東京行きは道の駅保田小経由(近くのバス停ではなく)にすべき。
713	女性	70 歳以上	佐久間地区	農家でなければ農地を購入出来ないのは不満です。条例を作り自由に農地を購入出来れば定住する人も増えると思います。
718	男性	50 歳代	保田地区	町長ならびに町の職員の皆さん、財政不足の中での町政運営と住民へのサービスどうもありがとうございます。少しでも町を良くする為に、自分も出来る限り協力をします。ですので皆さんのお力をもう少しお貸し下さい。
721	男性	70 歳以上	保田地区	今回の台風 15 号の被害を受け、町全体の状況を把握できたでしょうか。罹災証明の判断がいかげなものであったか、一部損壊と半壊との判断が不満でした。住めない状況であっても一部損壊とはいかがなものか。
724	男性	60 歳代	保田地区	職員の公僕としての意識向上に努めてもらいたい。
732	女性	50 歳代	佐久間地区	地域、部落の家、人の減少で土地の管理が非常に難しくなっています。年に何度もある草刈り作業など、体力的にもきつくなってきています。近い将来この様々な作業が難しくなります。(危険性)現に女性ばかりの部落もあるのです。高齢者が免許返納しても、その後の生活(交通手段)が不安。
736	男性	70 歳以上	佐久間地区	このアンケートの内容が鋸南地域に新たな活力ある町づくりに役だつ事を願います。
738	女性	70 歳以上	佐久間地区	現在の地域での組織作りをもう少し見直す時期にきている様に思います。
743	女性	60 歳代	佐久間地区	町外から多くの方々が訪問したり、移住したりすることは歓迎するが、まだ、受け入れ体勢が整っていないと思うので、早期に十分な受け入れ体勢を整え、鋸南町の良さをアピールできたらよいのではと考えています。
751	女性	70 歳以上	佐久間地区	若い働き手、後継者不足には困惑しております。高齢者が多くをしめる地域、全体が沈んでいるような環境、気持ち的に淋しさを感じております。町外の施設への入居、車で遠い病院への移動は容易ではありません。一人で通院出来る事、回りから聞こえる声に耳を傾けざるを得ません。地元で仕事が出来て暮らせる環境作りが出来ればと、高齢者の身を持つ自分も常に思っております。活かせる場所と、そこで生活、仕事出来る事を願っております。
752	女性	60 歳代	佐久間地区	まずは高齢者が満足して住める町であって欲しい。若者は、それを見て育つから。
755	女性	70 歳以上	佐久間地区	鋸南町に無農薬野菜作りを目指して移り住んで 15 年余。主人に先立たれ一人暮らしを続けています。高齢になり(83 才)東京の娘夫婦の住所にしています。当初より地域の組織に加入し年会費、お祭りや修理費等お付き合いをしております。行政では住民票のない者に対して差別していると感じています。例えば、デジタル化に対しての有料化等、住民票がなくても地域とのかかわりを調査の上、配慮がほしいと思っています。
757	男性	40 歳代	勝山地区	せっかく海や山などの自然が多く残っているのだから、海の釣り堀やテントまですべて揃っているキャンプ場など、子供が遊べる施設をもっと作るべきだと思う。
766	男性	60 歳代	勝山地区	家族と同居している老人で、不要となっている老人に対しての助成や補助などの対策の見直しや、年金での生活(家族と同一で生活している)年金で病院へ行ったり(交通費、病院代)好きな食べものを購入したりす

番号	性別	年齢	居住地区	問 12 自由意見
				るお金は、自分で(年金から支払っている)払っているため、いくら同一で生活をしているといっても、低い年金での生活ではオムツも買えないし、病気もできない。扶養となっている老人の生活を少し豊かにしてあげてほしい。低年金者が多いと感じます。
769	女性	40 歳代	保田地区	台風被害による義援金の詳細な使い道。町おこし協力隊の存在、活動を周知。毎月いくら払っているetc…。
771	女性	70 歳以上	保田地区	台風 15 号以後、観光道路にも関わらず、依然倒壊寸前の状態である廃屋や、街灯が点かない処があり、トタンや木っ端が飛来して危険な事この上もなし。なんとか、なりませんかね。先様には何度もお願いしているんですが…。街灯も区長さんには台風後すぐをお願いしたんですが、点かないまま現在に至って居ります。周辺の美化作業は率先してやる様にしています。これからも。
772	女性	50 歳代	保田地区	年をとってからは交通事業や病院やスーパーマーケット全てに関して住みづらい気がする。買物に行くにも足がなければいけない。病院に関してもしかり。若い人が一緒に住んでいないと年寄りだけではとても生活するには不便だらけだと思う。
774	女性	70 歳以上	勝山地区	独居老人なので買物に困ります。毎日生きづらい生活をして居ります、スーパーが遠くて人頼みの生活では悲しいです。歩けるうちは一人で買い物をしたいと思います。自分の目で見て、買いたいです。
778	女性	60 歳代	勝山地区	町長をかえた方が良い、一時代におくれている。同じ人がやっているから町がかわらない。人口が減るばかりで今に年よりしかいなくなる。
784	女性	30 歳代	勝山地区	若い世代や子育て世代が将来に希望を持てるような町になってほしい。今は自分の子供が大きくなったら、この町はどうなっているんだろうという不安しかない。
788	男性	60 歳代	保田地区	高齢化が進み、若者が町を去っていく状態を何とかしないと、人口が少なくなっていく。第1に若者が働ける場所をつくる事、有力企業を呼ぶ造成地を作り、税金優遇などして雇用を作る事が定住、人口増になると思います。
792	男性	70 歳以上	勝山地区	・台風 15 号で被災し避難場所の充実した設備が必要である(特にB&Gアリーナ)。 ・普段より行政の方々の訓練が必要と考えられる(災害時)。 ・被災した建物を被災証明を出す時、専門の方が見て判断してほしい(町の職員以外)。 ・ボランティアの方々、自衛隊の協力はありがたかったです。 ・最後に町長は災害時背広でなく作業着で行動した方がよいと思われました。
794	男性	60 歳代	勝山地区	人が定着出来る、産業の発展を目指す。
804	男性	70 歳以上	勝山地区	町づくりに対してむしろ町外からの人が熱心に取り組んでいる(たとえば野水仙など)ことは嬉しいことである。そういう方がいるということは、鋸南町もどこか魅力があるということでしょう。そういう方を大事にしながら一緒に推進していったら良いのではないのでしょうか。
806	女性	60 歳代	保田地区	若者が地元に残るように仕事場を作ってほしいです。
810	男性	70 歳以上	保田地区	・親子3世代が一つ屋根に住める事を基本と考える、職住の近接を望みたい。近くに生涯勤められる職場、農業、漁業でも良い。 ・子供を大学まで通わせられる環境が欲しい。
812	女性	50 歳代	保田地区	住み良い町に。
816	男性	50 歳代	保田地区	町の行政を行っている人たちがまず、鋸南以外の事を知るべきであり、観光ならば観光先進の場所を知り、防災ならば大きく被災した町を知り、行政の健全化ならば都市部を学ぶべきであると思います。鋸南の多くの方は大海を知る方がよいと思っています。
823	男性	70 歳以上	保田地区	設問には回答の難しい(と感じた)ものもありますが、少し粗っぽく答えているものがあります。抽象的には、負の連鎖を断ち切ることをまず始め、正の連鎖に廻して行く手段の発見・創出が肝かと思っています。

番号	性別	年齢	居住地区	問 12 自由意見
831	男性	70 歳以上	保田地区	予算不足、職員不足を理由とする住民サービスの低下はないようにお願いします。
834	女性	-	保田地区	・難しいとは思いますが交通機関をもう少し充実させてほしい。 ・病院(鋸南病院)の充実。鋸南にいる若い子からは鋸南病院の噂で入院すると死ぬと聞きます。院長を変えてほしいです(婦長も)。町長が院長を呼んだと聞いておりますが。
837	女性	60 歳代	保田地区	買物に行けない高齢者が増えてくると思います。ヘルパーさんに買物を頼む事も出来ますが、自分で見て選んで買いたい気持ちもあると思います。勝山地区でコンビニの移動販売があると聞いた事があります。移動販売とか、お米や飲料水など重い品物など、注文して届けてくれるような事が出来たらうれしいかなと思います。
838	男性	70 歳以上	佐久間地区	参考佐久間ダムの金銅橋(特に勝山方向側)際に、桜の木があれば開花時に桜花と橋と湖の美観調和が素晴らしく絵になり、名所となり、観光客も増えるのでは。ぜひ願いたい。
839	男性	60 歳代	佐久間地区	山の方には自然がたくさんある。残念な事に道がこわれている。道端の木々が汚く見える。山の方には移住したい人が多くいる。しかし、上記で断念する人も多い。行政には、山の方こそ魅力がある事を理解していただき、道がネックにならないようにしてほしい。
840	男性	40 歳代	勝山地区	監視や監視カメラが付いた、安心・安全の公園(大きな)を作してほしい。そうすれば小さな子供やお年よりものびのびと健康に暮らしていけると思います。
841	女性	70 歳以上	勝山地区	若い人の仕事をする場がないので、難しい問題だと思います。逆に老人の住みよい町づくりをするのもひとつの考え方もかもしれません。
844	女性	60 歳代	保田地区	移住してくる人が増えると良いと思う。又、若者が働く場を増やし、活気ある町になってほしい。台風後、お年寄りだけの家庭はあらゆる面で困っていると思う。世話をし合うしくみを具体化→実行して欲しいです。
847	女性	50 歳代	保田地区	町では 100 円均一やいろいろあるといいです。かっぱ寿司もあると便利です。町で中央公民館とかで少し催しをやるといいです。台風、色々ありがとうございました。
848	女性	60 歳代	保田地区	このアンケートや申告について余り配慮がされていると思えないです。高齢化の町なので、良く解るように考えて欲しいです。この結果についての報告と説明会を開いて欲しいです。保育時間の延長までしてもらえると若い人達が安心して働けると思います。
849	女性	70 歳以上	保田地区	・女性の活動は大切と思う。我が児を立派に育てる事も大切な事。物心つくまでは、母親の愛情をかけた育て方が将来の鋸南町の礎になっていくと思う。 ・第一次産業(ものを造る)が廃れていっているが、見直すべきだと思う。鋸南町にある土地、産物を生かし町づくりをしていくべきだと思う。町づくりのために大きな力を見直していきたい(予算、人の力、企業等)。
857	女性	60 歳代	保田地区	子供が遊べて、大人がゆったり出来る公園を造って頂きたい。
858	女性	50 歳代	保田地区	長狭街道の雪情報等で通行止めなどの放送を入れてもらいたい。行くだけ行って、引き返して戻る事が何度もあった。通勤している人達も多いと思うので…。
861	女性	70 歳以上	佐久間地区	本人は 80 才を過ぎているので子育ての支援や充実。近所に子供がいないのでよくわからない。
870	女性	60 歳代	佐久間地区	高齢化が進み高齢者人口が増えた時、買物や病院への通院をサポートしてくれるヘルパーさんが確保できるのかが不安。
876	女性	50 歳代	佐久間地区	去年の1月に単身で移住を始め、子育ては正直わかりませんが、とても住みやすい町だと思っております。移住して良かったと(鋸南町に)思ってますが仕事がない。今は車で 30 分南房総市の花生産者さんの所でお世話になっておりますが、出来れば鋸南町で働きたかったです。あまり協力できなくてすみません。
880	男性	40 歳代	勝山地区	議会日程(曜日)の検討(就業世代が傍聴できるように)。

番号	性別	年齢	居住地区	問 12 自由意見
881	女性	40 歳代	勝山地区	町長さんへお願い。町長さんをご自分の活動内容(日頃の)を町民にご報告したほうが良いと思います。そういうことが嫌いなのはわかりますが、町民のためにやっていることを伝えたほうが良いと思います。日頃ゴミ拾いをしていること、台風で被害が甚大な岩井袋に通っていること、知っていますが、知らない人は知りません。私は町長さんの応援団の一員です。お気を付けてください。
886	女性	50 歳代	勝山地区	都会へ出て行った 20 代、30 代、40 代の人たちが家族と一緒に Uターンして生活してくれることが望ましい。その為には、経済面を安定させることが必要となるが、現状では難しい。何か良い手立てがあるとよいのですが、鋸南町には、元気な 50 代、60 代の大人が沢山います。子育て支援のネットワークは作れると思います。全てにおいて行政にお任せではなく、町民の自助努力が必要と考えます。
889	女性	40 歳代	勝山地区	町の職員の方には、昨年の台風時含めお世話になり、感謝しております。ありがとうございます。皆様のご努力されているとは存じますがあまり町の取り組みが私ども町民には見えてきてはおりません。もう少し、見える化を計っていただけたらと思います。
891	女性	70 歳以上	勝山地区	・運動会を幼・保・小・中を一緒に行ったら良いと思う。それに加え、地域の若者、老人等、全員が参加できる、体育祭の様なものを行ったら良いと思います。 ・佐久間ダムの頼朝桜は素晴らしい。全国に誇っても良い。保田小学校道の駅も大成功です。夏に観光客を呼ぶために宿泊施設の充実と盆踊りの復活をぜひに。
894	男性	50 歳代	保田地区	鋸南遊歩道の整備:下山して来る約7割以上が外人と思えます。行く先は保田駅、保田小、ばんやが主です。要所に多言語で案内板を設置。又両路肩に1M程、四季の花を植える等おもてなし精神は如何。IR誘致運動:政治生命は危くなるが、話題性としては、町のPRに大きく貢献する可能性が有る。又町民に改革の気運が芽生える。
898	男性	70 歳以上	勝山地区	人口がどんどん減っていく今日です。どうしたら、良いのか。
901	男性	60 歳代	保田地区	私は単身赴任のため、当地に住居を購入、退職後も住み続けています。一時、当地に住民票を移しましたが、現在は本居地(東京都杉並区)に住民票を戻し、本地、本居地の他群馬県(桐生市、神流町)の計4ヶ所に居を構えています。その中で当地が一番売却したい物件です。杉並区の住みやすさは別格として、桐生市(人口 10 万)神流町(人口3千)は、それぞれ“よそ者が住み続けたくなる”雰囲気があります。地元で活がない以上、“よそ者”を受け入れる発想の転換が求められます。まず、地元の皆様が覚悟を決めることだと思えます。
903	女性	50 歳代	保田地区	・子供がいますが、結局資格があっても、働く場はありません。 ・保田小道の駅出来ました。地域の人が積極的にやっているか、とても疑問です。 ・本当に自然が豊かで今日佐久間ダム(2/8)の周りを車で走ってきましたがとても花には力をいれていてとてもきれいなので、町の人が一丸となって都会のお子さんターゲットのイベント(物作りや体験)夏の宝さがし等ももっとも力をいれて欲しいです。 ・台風後人がとても少なく不安だらけです。どうか若い人が多くなってきている役場なので、色々な人の意見をとり入れて下さいね。応援しています。
904	女性	70 歳以上	佐久間地区	いつもバスを利用させていただいております。このバスがなければここには住めません。ありがとうございます。ですが…少し不満があります。電車等を利用して、駅に着いてもバスは出てしまったり(10 分位の時間)、買い物に行っても半日はつぶれてしまいます。最終のバスには、1人も乗っていません等々。運行時間の見直しをおねがいします。
912	男性	70 歳以上	佐久間地区	観光客を迎えるには、鋸南町は綺麗な町、清潔なトイレが多い町、1回来れば、また来なくなる町にしたい。

番号	性別	年齢	居住地区	問 12 自由意見
925	男性	70 歳以上	佐久間地区	地区内の田、畑が放置された場所を多く見られます。役場内に専門部署を置き、地区民と話し合い、地区内の放置場所を無くす。
934	女性	40 歳代	勝山地区	まず子どもが遊べる公園などの外施設を作っていただきたいです。安全な遊び場が必要です。よろしくお願いします。
940	男性	-	勝山地区	町議、職員の削減。
951	女性	70 歳以上	勝山地区	・鋸南町にグランドゴルフ場を造ってほしい。 ・買物、病院等へ行くのに移動手段を考えて下さい。 ・運転免許証を返したらどうしたら良いの。 ・なんでも売っているスーパーマーケットがほしい。 ・喫茶店みんなが集まれる所。
952	女性	70 歳以上	勝山地区	・花見山よりずっと素晴らしい佐久間ダムの景観を生かし、観光客にお金を落してもらえれば。 ・将来、免許もなくなり病院や生活はどうなるのかと不安を抱いています。多くの方が免許を取り、活動したことにより路線バスも廃止され、町村間を繋ぐ交通手段もなくなり、高齢者は増え、手助けしてもらえる若者も無く、どうなるのでしょうか。今回の台風と同じで、その場にならないと感じないこと、わからないことが沢山あるでしょうね。
953	女性	50 歳代	勝山地区	・周りを見わたせばブルーシートばかり。この状態で地震や台風が来たら大震災になる(15号、19号の被害なんてものじゃないのではないか?) 多くの方が一時、身を寄せる事の出来る避難所を早目になんとかして欲しい。 ・高齢化が進み、町も市も力不足なのだから、鋸南町、鴨川市、南房総市館山市など町、市は安房地域で合併し、力を合わせてやっていくしかないのでは。 ・多くの人達が鋸南町から出て行くらしい…。なぜ? そうなるのかよく考えてほしい。
963	男性	60 歳代	勝山地区	町の人々のさらなる高齢化・廃屋の増加、耕作されていない田畑など、また去年の災害の後遺症問題や課題は山積していますが、子どもたちはもちろん若い世代の人たちが元気で活気のある生活が送れるような、また高齢者の人たちが少しでも楽しみの多い生活ができるような、そんな町づくり? 難しいことですが、何もしないと大変なことになっていくと思っています。
964	女性	30 歳代	勝山地区	・佐久間ダムは人気スポットなので、発展させて収入を見込める場所にしてみようか。 ・病院、老人ホームが少なくなってきた、足りない事への不安感。
970	女性	40 歳代	勝山地区	昨年の台風などで思った事は、とてもひどい災害で、役場の方々も大変だったかと思えます。たぶん今年も同じくらいの災害が来ることでしょう。もう、初めての事で…での対応ではなく、大変とは思いますが、色々なシミュレーションをし、対応できるようにお願いします。※特に町のトップである町長! 対応が遅すぎる!(怒!)
971	男性	70 歳以上	勝山地区	人口減は必然であるので、その中で何をするかを考える。空地・耕作放棄地の有効活用(集約化等)。遠隔勤務者への補助(線引が困難?)。現況について高齢者が自覚し(何とかしろでなく自分達がこういう子育てをした。若い時に便利さを追求した為)共生の精神を養う活動(指導)。移住者とその地域の交流だけでなく、町民全体としての交流(の場)等。
974	女性	60 歳代	勝山地区	台風等災害対策~もう5か月が過ぎました。・検証し、すぐる災害への対応を広報すること。・町、議会の対応が極めて不満の町民が多いです。・義援金がいくら来て、何に使われたか、明らかにしてください。今なお近所のお年寄りが困っています。・もうすぐ、もっと被害が大きい災害がくることは確かです。真剣にとりこんでください。職員は頑張ってくれていることには感謝しています。よろしくお願いします。
976	男性	60 歳代	勝山地区	昨年の台風 15 号による風災に対する町の防災体制に関するアンケート等がないのか? 町民が被った最大の災害なのに、行政が町民の声を聞くべきでは。

番号	性別	年齢	居住地区	問 12 自由意見
980	女性	70 歳以上	勝山地区	医療機関が良い所がなく、病院の通院、買い物等の足がない。町営バスは便利だが、本数が少なすぎる。商店が少なく、日常の買物に不便と感ずる。
983	男性	70 歳以上	勝山地区	前向きになる為の勉強会や特に意見を持っていないし、進取の気性を持っている人がいない。人を育成することができていない。その昔、勝山は鯨の魚場だったと聞く。せめて希望のある町にしてやってみる。そういう町づくりにしたい。町長さんを始め、町民全体で勉強すると良い。
987	男性	60 歳代	勝山地区	役場職員の人選について、コネがある人と、そうでない人との格差をなくし、実力主義で選んでもらいたい。
989	女性	70 歳以上	勝山地区	特にありませんが、ご近所さんとの仲が良く毎日が楽しく生活出来ますが、高齢化してしまい4軒が空家になってしまい淋しいです。
992	男性	60 歳代	勝山地区	・少子化対策。 ・行政の外向きの発信。 ・防災の強化。
999	男性	40 歳代	勝山地区	・鋸南町は、10 年後ないと思います。早く、他の市町村と、合併の方向にした方が良いです。 ・水道代、なんで高いのですか？
1005	女性	50 歳代	佐久間地区	災害で1日小学校、消防詰所が被災しました。今後安心して避難できる場所がありません。1日小学校跡に詰所を併せた避難施設をつくって頂きたいです。笑楽の湯は低地で川のそばの為、住民は不安です。移動手段が車が多いので、町道の整備をお願いしたいです。
1006	女性	70 歳以上	保田地区	農業をやる人(やれる人)が老年になり農地が荒れているので、誰か仕事が出来方、大きな会社会的な事があればそこで働ける人もあるかも！と思うことがあります。
1009	女性	70 歳以上	保田地区	町づくりの為に、道路脇をきれいにしてほしい。枯れ木、空屋、危険な所が目立ってきている。せつかく道の駅保田小学校があるのだから、観光客をガッカリさせる景色にしてほしくない。自然豊かな鋸南町であってほしい。
1010	女性	70 歳以上	保田地区	最近町の行政説明会などを参加してわかることが多く、まずこれが一歩だと思えます。移住してきた方達の知恵と動作をうまく利用させていただきたいと思えます。
1014	男性	60 歳代	勝山地区	各分野にて前向きの取組を、積極的に行動してほしい。町で参考に出来る事や地方の成功事例が町に出来るか検証して、農業、漁業にも生かして、全体的に良い方向を目指してほしい。
1018	男性	70 歳以上	保田地区	我が町鋸南は年々人口が減少し、少子高齢化は千葉県内で1、2位を争う現状です。老々介護、老々ボランティアに頼っているのは町全体が消滅してしまうのではないかと心配です。海外へ進出していた多くの企業もだんだん国内に回帰している現状です。地元企業を誘致し、若者が町外へ出ないよう就職先を斡旋できるようお願いします。
1021	男性	60 歳代	保田地区	鋸南町は、富津市、南房総市、館山市と共同して、土地を確保し、内房線を複線化しなければ未来はない。現在、内房線は不便になっているが、逆に言って地価が下がっている。不在地主もふえている等、今、複線化の用地を自治体で取得すれば、JRは動くと思えます。
1029	女性	70 歳以上	保田地区	高齢者に意見をと言われても、健康でないと、何する事も出来ません。お世話になる様がんばりたいです。
1033	女性	70 歳以上	勝山地区	・高齢者になっても、安心して生活出来る町ー交通の便、医療関係、買物の便等ーをめざしてほしい。 ・昨年台風の時、行政面の支援がおくれたと思う。これからも大きな災害が襲うことが考えられる。昨年の経験を教訓にして、日頃から取り組む事、準備しておくことを実行してほしい。
1037	男性	60 歳代	勝山地区	移住者に対する支援の充実を図り、定住人口の増を図る。高齢化社会に対し、福祉事業の充実を図る。
1038	女性	70 歳以上	勝山地区	老人の多い町になっていると思いますので、若い人を大事にしてほしいと思えます。

番号	性別	年齢	居住地区	問 12 自由意見
1039	-	-	-	免許を返納した場合、どんな手段で買物や病院へ行ったらいいのかわかると不安です。近くに入院できる病院が少なく、今あるクリニックがなくなってしまうたら、どうしたらいいのかわかると不安でいっぱいです。
1042	女性	50 歳代	保田地区	・マナーの悪い観光客が増えた様に思います。特に海岸沿いの勝手な駐車、キャンプ排せつごみの投棄(バーベキューセットそのまま置き去り多数)町内放送や看板での注意をし、できれば見廻り？朝から飲酒していることが多いので、声をかけてトラブルになったことも有。駐車スペースを決めて料金をとり、管理費用とすることは出来ませんか？ ・回覧に入っている「だっぺ」もう少し読み物としての見せ方を研究して下さい。お金はかかっている様ですが、魅力に乏しいです。皆さん受け取っていません。 ・プラスチックごみの分別収集を！時代の流れかと思いますが。
1044	-	-	-	前回のアンケートで町政はどのような事を実行したのですか？いつまで「町づくり」を言い続けるのですか？この様な問題をアンケートする事、何にもならない事はみんなわかっているでしょう。各自、自分の希望を記入することで、結果どのような数値になるかはおのずと予想されるはず。どちらにしろお金がかかる事の結果で、何も出来ないでしょう。現に人口減少しており、これを止める事もできなく、目先の話ではなく 30、50 年先を見たプランを出しあつた方がいいでしょう。とにかく「アンケート」は正しいやり方と思いがちですが、何も決められない方法です。問をするのではなく「自由意見」だけをもとめた方が BEST でしょう。
1048	女性	40 歳代	勝山地区	育成会(子ども会)の活動について、自分たちの地区だけでは活動できない人数になり、4月から解散になりました。中学生はいても部活など参加できない、小学生3名でもお母さんが2人では役員も成りたない。5年位前からいつかは…と思いながらの今回の決定。どう考えても他地区もそこだけでは役員のやる人もいない(毎年同じ人)になると入会もしないので、教育委員会まとめの組織にするのがいい。もちつきなど参加が多いのも、もう限界だと思ってる。ママたちは多いとよく聞きます。何十年もやってきたやり方をいろいろと変えないと子どもも少ない＝ママも少ないので負担増→育成会参加しないが続くと思う。育成会の会議でも同じやり方をずっとやっていてよしではおかしいという意見が多かったです。
1050	男性	40 歳代	保田地区	いつまでも「鋸南町住民」として胸を張って他の市町村にPRできる鋸南町であってほしい。どんな人も「ぜひ住みたい」と思える町であってほしい。自然を大切にしてほしい(山の緑の破壊が目につくため)。子供を生み育てたいと思える町であってほしい。子供の減少が早くて将来が心配です。
1054	女性	70 歳以上	保田地区	働く場所を、もっと増やしてほしいと思います。
1055	女性	60 歳代	保田地区	鋸南病院に設備があっても活用されていないと思う。どうしても今の院長でなければだめなんですか？
1056	男性	50 歳代	勝山地区	高齢者が多数を占める状況では、社会保障を重視することが第一だが、町の将来のためには「若者の雇用づくり」や「子育て支援」にも十分手当てする必要があります。
1062	男性	30 歳代	-	台風時の役所の対応は最悪であり、鋸南町に住むのが嫌になるほどです。正直なところ行政には全く期待していません。マニュアルどおりの対応しかできないと感じています。もう少し、人情にのっとった対応をして下さい。
1063	男性	70 歳以上	佐久間地区	これからの 10 年間の意見ですが、鋸南町が合併せず町長さんの努力よく理解しています。日本全体の問題、少子高齢化、佐久間小もなくなり地元の人もどんどん年をとり、若者が少なく、このアンケートも希望少なく思います。時代の変わりで町財政も大変だと思ってます。台風の被害により道路、農業施設、米作りの田、土砂くずれ等、数多くあります。住宅もそうですが、道路ライフライン救急車消防車も入れない地もあり、老後

番号	性別	年齢	居住地区	問 12 自由意見
				の不安を感じる所が多くあります。又、田に関しては、土手崩れの為申請していても、部所(地すべり、土地改良、台風被害)が変わり、何ひとつ解決(工事予定のめやす)聞くこともなく、困っています。担当の方も大変だと思いますが、もう少し長年地元で鋸南町を愛し、先代からの土地を守ってきた者に対し、先が見える対応を望みたいと思います。
1064	女性	50 歳代	勝山地区	町外で働いており、休日は家族の介護、看護の日々なので、周囲のことを知ったり、町の活動に参加したりすることがないので、現状を知らないといえます。「町」だからその小回りのきく、目の行き届く行政を行ってほしいと考えます。高齢化率が高く、福祉面の充実も大切ですが、若者が安心して住める支援策を打ち出していくといいなと思います。
1065	女性	50 歳代	勝山地区	有害鳥獣の被害のため、自宅周辺を守りきれないことが心配です。役場や他、町の施設に挨拶が飛び交い、明るい雰囲気を作る努力を町民職員一人一人がまず実行する。他地域の方々から鋸南町は、色々な行事ボランティアが盛んで素晴らしいという声をききます。
1068	男性	70 歳以上	勝山地区	東京方面に地元から通勤する様な環境を作ったらどうかと思う。
1069	女性	70 歳以上	勝山地区	交通手段を何とかもう少し良くしてほしいです。
1073	女性	60 歳代	勝山地区	台風により家を離れる方もいて、だんだん近所の人がいなくなる事とても淋しいです。1人暮らしの方もいて、この先どうなって行くのか心配です、人とかかわりを持っていこうと思います。何かお年寄りの方の元気で毎日を過ごしてますね。逆に元気をもらってます。皆が参加する行事とかあるといいと思います。町の飲食店の出店とかが一同に会するとか、まだまだ知られてないお店の発屈になるのでは…。災害がおきた時の対策を今回の台風により得た事を、より強化していただきたいと思います。
1076	女性	40 歳代	保田地区	P3の質問はいかにもお役所的な専門用語で一般の人にはわかりにくいと思います。どなたが読んででもわかるアンケートでないという意味が無いと思います。子育てについては、保育所が土曜も預け入れしてくださったり、勝山クリニックの病児保育等で他地域より恵まれていると感じています。ですが、日、祭日こそ忙しい仕事もある事がなかなか伝わらず大変でした。
1085	女性	60 歳代	勝山地区	議員定数を減らしてほしい。
1087	女性	70 歳以上	保田地区	町の放送をもっとゆっくりわかりやすく話をしてほしいと思っています。
1088	女性	10・20 歳代	保田地区	昨年の台風により町民の防災意識というものが、より強くなったと思いますが、被災時には、消防団によって助けられたことも多かったと思います。今後、自然災害だけでなく、火災時にも消防団は活躍が大変期待されることと感じています。役場男性職員が消防団に入っていることは知っていますが、女性消防団に職員があまり入団していないのは、どのような理由でしょうか。数年前に歴史民俗資料館に行かせてもらいました。受付の女性職員に大変横柄な対応をとられました。また、仕事も何もしているようには見えませんでした。挙句の果てには、寝ている姿も見うけられました。税金で働いている以上、仕事内容や勤務態度を改めた方が鋸南町のためだと思います。
1089	男性	70 歳以上	保田地区	見守ります。
1092	女性	70 歳以上	保田地区	・交通機関について、町営バスを富楽里まで伸ばすことは可能でしょうか。町外だから無理とは思いますが、高速バスを利用するのにも富楽里までの交通手段がなく不便を感じています。是非検討して下さいようお願い致します。 ・菱川師宣記念館に洋式トイレを設置してほしい。
1093	女性	70 歳以上	保田地区	鋸南町総合計画(2011～2020)は町政としてどの程度達成されているのか情報公開して欲しい。
1096	女性	30 歳代	勝山地区	・子育てをしながら働いているので、保育の充実や預かり先、時間など、働きやすい環境になればいいと思う。 ・街灯がなく、夜真っ暗なところがある。少しこわい。

番号	性別	年齢	居住地区	問 12 自由意見
1100	女性	70 歳以上	勝山地区	自立・自律の精神が貫かれた町政、自然災害にしても汚染土問題にしても、負けずに取り組んでいく意気込み、辛く厳しいものがあるけれど、あきらめたら終わり。生きるということがこんなに町政と絡むことなのかと最近とても実感させられています。いつ何が起こるか分からない情勢の中で、地に足ついたリーダーの下、庶民の平穏な日々の生活が続けられるよう、望みます。安心して暮らせる町にしていきたいと思います。
1106	女性	70 歳以上	保田地区	今は台風でこわれた所が直らないので、夜も寝られないので、神経がおかしくなる毎日です。
1107	男性	60 歳代	保田地区	税金泥棒。
1109	女性	70 歳以上	保田地区	高齢社会の世の中ですが、80 才以上で家で生活しています。これからが不安です。福祉の充実、病院に行く時の交通手段も大変です。
1111	女性	70 歳以上	保田地区	循環バスの存在はかなり有難い。それだけに電車とのつながりがもう少し良ければなど…。とても難しい事だが(全てにという事は)一例、赤バス 2 便 15 の 11 場で体験している事、9:07 分発保田駅着 9:16 分(上り君津行、下り館山行)保田駅発 9:14 分、電車を目の前にあーあ…ラッキー!! (のれた(改変前は 8:52 分だったので病院の予約が取り安かった)もったいないなあ。
1114	女性	60 歳代	保田地区	アンケートの項目について、答えづらいものが多い。(自分自身、町のことで知らないことが多過ぎ、感覚的に解答にしまっている)。将来を考えると移動手段が一番の問題、通院買い物…etc。現在は自力で解決できているが、あと 5 年 10 年後には無理になる(昔)。自分達が子どもの頃のように移動販売車が必要になるのでしょうか? 現在は生協も利用していますが、いつまで続けられるか心配です。
1115	男性	70 歳以上	保田地区	鴨川←→横浜間の高速バスを道の駅保田小学校へ乗入 BS 停としてほしい。館山←→東京間高速 BS も同様にしてほしい。道の駅「保田小学校」周辺の空地为観光農園として貸出用にして道の駅利用者を増す工夫をする。道の駅海側空地開発利用を早くする。
1118	女性	50 歳代	保田地区	アンケートが集計だけのものにならない事を願います。
1123	女性	70 歳以上	保田地区	朝のバス時刻が電車に間に合わない(2~3 分の差)。
1132	女性	50 歳代	勝山地区	台風などの避難場所にペット同行可(室内)の場所をとり入れてほしい。
1135	男性	70 歳以上	勝山地区	高齢者(車の免許返納後)移動手段(特に通院)。
1136	女性	60 歳代	保田地区	人が人らしく生きられる環境が地方に備わっているのだから、現役世代、子育て世代が安心して暮らせるためには、やはり雇用の創出が必須。また、農林漁業就労の支援も自給率向上のためには工夫が求められている。都市部からの移住者を増やし、人口格差を平均化する。地域内の交流を積極的に図る。移住者のための農業指導など町が音頭取りしてはどうか。
1137	男性	50 歳代	保田地区	毎年正月に日本寺に行きますが、アジアからの観光客がたいへん多くなっています。羽田、成田空港に近く、自然、歴史も豊かな鋸南町にもっと多くの海外の方を呼び込むことが必要だと思います。また国内の方には体験型の観光の強化がおもしろいかもしれません。農水産業などの組み合わせが良いと思います。
1138	女性	70 歳以上	保田地区	保田駅の周辺がさみしすぎませんか? 保田中央があっても良いのでは? 公民館のまわり(商店、レストラン)、もう少し店の雰囲気してほしいです。1 度でいいやと思います。
1141	女性	70 歳以上	佐久間地区	だんだん年を取って、体も十分に動かなくなる事。ますます悪くなるので町に協力できる事がなくなるのが申し訳なく思っています。
1151	男性	70 歳以上	保田地区	鋸南町をもっと PR して欲しい。⇒鋸南町って?(一般の人は知らない)台風 15 号の時もメディアに取りあげられたのが遅すぎた。(県知事も来るの遅い)館山(南房総市)については、ZOZO の社長から、多額の寄附を受領したのに、鋸南町は置いていかれている。町長が最近では、ベイ FM 等で PR しているのを聴くが、観光地としてもっと多くのメディアを通じて事前にアピールする事が大事だと思う。都会の人が集まる様な企画をしているがもっともっとメディアに登場させて欲しい(宣伝不足⇒SNS 駅

番号	性別	年齢	居住地区	問 12 自由意見
				パンフHP等)※鋸南町の災害は、一般の人からは忘れられています。⇒ご検討願います。
1154	女性	70 歳以上	勝山地区	災害があった場合、安全な避難場所がない為心配に思います。地域に住んでいる場所の安全避難場所の確保をお願い致します。高齢者一人暮らしが鋸南町は多い為。
1160	男性	70 歳以上	保田地区	町議会議員の定数削減実行すべし(6人)。保田地区の繁栄。他市町村との合併。
1161	女性	10・20 歳代	勝山地区	鋸南町が好きです！一生住み続けたいです。その為に、町民にできる事があれば官民一体となって取り組みたいです。
1163	男性	70 歳以上	勝山地区	鋸南の山が削られ、環境破壊が進んでいる。有料道路側の山も削られ、今後台風の影響が心配される、自然環境が保たれるように、前日の台風も野球場の山が削られた影響が大きいと指摘する方々が多い。条例等で規制が必要。
1169	女性	50 歳代	勝山地区	人口減少を少しでもなくしたい。若者に鋸南町に住みたいと思ってもらえるような町づくり。
1170	男性	70 歳以上	勝山地区	地域のためになれば少しでもボランティアがしたいです。
1183	男性	70 歳以上	勝山地区	調査項目が多く何を必要か、町づくりの目的が何を望んでいるのかがわかりません。年を重ねると、見るだけで精一杯なので、もう少しテーマを絞って質問してもらいたい。
1186	女性	70 歳以上	勝山地区	台風 15 号、19 号で災害を受けた人沢山おります。義援金の方をよろしく願います。
1194	女性	70 歳以上	保田地区	・少子化、若い人が少ないことに将来の不安を感じています。空家対策が是非必要だと考えます。 ・15 号の台風の復興大変ですがよろしく願います。
1201	女性	70 歳以上	佐久間地区	・老人が集う憩いの場を各所に作ってもらいたい。・空き地を利用して公園を造って下さい。・ゴミゼロの日をもう少し増やして下さい。
1202	男性	60 歳代	勝山地区	・公共料金の引き落とし簡素化(カード払い等)。 ・デジタル防災行政無線、各戸配付してと思うが、災害危険地域優先。 ・企業誘致。
1208	男性	60 歳代	保田地区	町の人口は毎年減少し、税収も減少し、支出を(職員の給与)を減額し、その分をもっと有効な部門にあてた方が良いと思われる。収入を貯え、数年続ければ、年々少しずつ活性化につながるのでは…。
1217	男性	10・20 歳代	保田地区	・良い職場が欲しい。 ・駅前に喫茶店があると良い。 ・企業誘致をして欲しい。
1218	男性	70 歳以上	保田地区	アンケートの中の言葉が難しすぎるものがある。
1221	男性	60 歳代	保田地区	空家の対策をしないと台風等で被害を受ける人が増加していく。特に自動車は屋外に有る。前回の台風 15 号で、自宅に3台の車が駐車中に被害を受けたが、修理が完了していない。又、空家の瓦が飛んで来て、窓ガラスがわれた。空家は更地にするかしくは、ゴーストタウンとなり、人が来なくなると思う。
1222	男性	70 歳以上	勝山地区	見返り美人の町だから、町民が館山市の人達のように身だしなみをきちんとし、都会から来た人達と共に生活態度をしてほしい。公共の場ではっきり見わけが出来る程身なりが質素に見える…。
1226	女性	40 歳代	勝山地区	・台風被害以前から崩壊しかけている廃墟があるが、危険だし景観が悪いので、対応して欲しい。ゴミ屋敷の様な空家についても行政指導を行って欲しい。素敵な観光資源があるのに、活用していないのがもったいないし、「観光客を迎えたい」という気配が全く感じられない。街並みも残念。 ・社会福祉の重要性も理解しているが、未来の無い高齢者よりも将来ある若い世代のための町づくりを期待したいです。 ・町内在住で町内在勤の若い人達が活躍できるようなサポートがあったら良いと思う。

番号	性別	年齢	居住地区	問 12 自由意見
1229	-	-	-	高齢者が多い中、アンケートの内容が細かすぎると思います。町に若い人が減る中、アンケートに雇用についてありますが、若者が言っている話を知っていますか？「今度、役員に採用されたのは、又役場に勤めた人の子供だよ。」「他にも町長、議員さん、学校関係～の人もいるね。」一番ビックリしたのは、以前「〇〇ちゃん妊娠してるのに町の仕事に採用されたよ。お父さんが役場の偉い人だからね」と。妊娠しても入社できる？ありえないでしょ。町報などにのっている採用試験はあるようで無い試験ではないですか？これは沢山の町民が思っている不満の1つです。1つでも不満の減る鋸南町を望んでいます。
1240	男性	60歳代	保田地区	保田地区で家族で米作りをしているが、100%近所の人から頼まれた田であり、自分自身も高年代である為、あと4～5年しか出来ないと思う。跡取りがいても1人では出来ない(5～6町歩)ので何とかしなければ、荒地が増加する。よい方法を考えてほしい。
1253	男性	60歳代	保田地区	昔の方がいろいろスポーツにおいても活発でした。子供が少ない理由からか？町内対抗体育祭もなくなってしまった。最後の町内対抗の綱引きが楽しかった。普段から体を鍛えていた。ゲートボール大会までは早い中高年の元気な方が多いと思いますので、山歩きや海岸で綱引き大会などちょっとしたイベントを増やして、地元の方々の交流が先決だと思います。町などで会っても知らない方が多いです。
1254	男性	70歳以上	保田地区	台風の大災害で、それぞれ生活の場を求めて転職する人や、一から出直す人もあるが、10年先を見据えて、地元で再び生きてゆく計画を、町でバックアップしてほしい。農、水、観光等特産品を作っていければ。まず土地で働けるように、過去において水仙、ピワ等生活できる産業があったが有害動物によって現在は壊滅した。今一度頑張らなければ町がなくなる人口が減るのみ。
1256	女性	70歳以上	勝山地区	若い人達が地元で生活出来る様な仕事場が無い。若い人達は通勤に便利な君津や木更津方面に家を建て、帰って来ない(駅から奥地でも)。住宅地の確保(採石場の跡地など)？退職して田舎暮らしが良いと住みますが、人口は増えるが数年後には老人がなくなり若者の負担が多くなる。スーパーが出来てありがたいが、商店街が淋しくなっている。私達も悪いが。
1259	男性	60歳代	勝山地区	近年の異常により、台風等が大型化しています。沿岸や河川、土砂災害等の防災対策として、細かい調査を実施して欲しいと思います。避難も大事ですが、被害が発生しない様、必要な措置を行って欲しいです(崖や道路のヒビ割れ等)。
1261	女性	60歳代	保田地区	あまりあてにしていません。
1263	女性	60歳代	勝山地区	今後、高齢化社会が進むなか、現在我が地区においても空屋が多く、次世代が町外に出ている様子を見ると、今後町づくりが厳しく思います。若い方々がリターンしてこれる町づくりを望みます。地元の商店もますます閉めなければならぬ現状にストップをかけられるのは、やはり若い人の力なのかもしれません。
1267	女性	60歳代	佐久間地区	保険料が高すぎるので見直してもらいたい。
1276	女性	40歳代	保田地区	どのような年代の人でも住みやすい町になるよう望みます。結婚してから鋸南町に住みはじめたのですが、地元(町の人たち)になじむのが大変でした。良く言えば団結力が強いのですが、悪く言うと、外からの人をなかなか受け入れてもらえない。生活し、子育てするのにとても苦労しました。もっと交流がうまくいくと良くなると思います。
1282	男性	50歳代	保田地区	望んでも、希望は持てない。将来に向けて町は、どの方向に進んで行くのか方向性が全く見えない。10年先を見て考えて！町があるのか？お役人は本当に町民の立場になって考えているのか？人ごとの様に感じる。
1283	女性	70歳以上	保田地区	年寄りには交通等も不便で、病院買物が不便です。
1285	女性	70歳以上	保田地区	専業農家がどんどん減って、耕作していない田畑が多くなり、野生動物が出没してる現状、何とかならないかと思っている。例えば町保有の農

番号	性別	年齢	居住地区	問 12 自由意見
				業公社の様な集団で機械、人員農機具の修理等、できる様にしたら…。農産物、加工品等余る程有るにもかかわらず地元での売り先が保田小学校しかないのは少し困る。直売所がもう1カ所位ほしい。勝山駅近辺では野菜が買える所がない。
1286	男性	70 歳以上	保田地区	鋸南町は、海岸線が多いのに、海の利用が衰退している。観光客が磯物を取っても、厳しく注意される。海水浴場を経費をかけて設置しても、あまり町の収益につながっていない様に思う。海岸浴いに高層ビルは建てず、昔ながらの漁村風景を維持した方が良いのでは。有料ボランティアを増やし、低額で作業し、本人の健康と、依頼者の利便性の両立を計って欲しい。自宅周辺の草芥りを依頼している人がいるが、年金で年間数回は大変だと思う。
1287	-	60 歳代	佐久間地区	<防災に関する事> 台風 15、19 号においては、道路の倒木、がけ崩など近所の町民によってチェーンソー・ユンボなどを使用し、いち早く車移動できるように作業された。とても心強く感じた。区長制度は、すばらしく思うが、旧住民、新住民(移住者)とに分けられている(区費も全額が安く設定されている)。今回の台風において、安否確認、家の被害確認などは無かった。又、水や食料の配布もなく、インフラが遮断されていたので、組長からの情報が欲しかった。以上の点を今後は改善してほしい。移住者として安心して住める町になるようにしてほしいと思います。
1293	女性	60 歳代	保田地区	最近の鋸南町って、以前はとってもいい町だったんだけどなど思っていたのですが、何だかなあという…残念です。普通の人では、いけませんか？
1297	女性	50 歳代	勝山地区	子供達の遊び場がなく、町外に出て行くしかありません。町全体元気がなく、活気がないと思います。役場の人の対応もあまりよくなく、足を運ぶのがおっくうになります。
1300	男性	70 歳以上	勝山地区	住みやすく自然環境が良ければ全てよし。人も集まる。
1302	女性	50 歳代	勝山地区	鋸南町勝山には施設(遊ぶところ)というものは何にもないので、少し考えてほしい。今回の台風のこと、私達の生活面でいろいろと教えてほしいです。
1305	女性	70 歳以上	勝山地区	9月の台風被害の後、行政は大変だと思うが、その後の様子を見て回った方がよいと思う。例えば住宅の換気扇が捨ててあったり、ボールが置いてあったり、ちっともきれいに整理されていない！
1309	女性	60 歳代	勝山地区	昨年秋の台風被害はとても恐い思いもしましたが、鋸南町は生活するには、とても素晴らしい環境にあると思います。自然を大切に、住み良い町を希望します。
1317	男性	50 歳代	勝山地区	鋸南町の特色を生かす、町づくりの推進道の駅(保田小学校)は良かった。町内の方が働ける場を増やす。
1322	女性	60 歳代	勝山地区	山、川ばかりでなく、海岸沿いの環境を観光に活かして、町の活性化に役立てて欲しい。鋸南町大好きです。大六海岸(砂浜)、竜島海岸(磯釣り)仁浜(釣船)内宿(漁港)、岩井袋(トンネルを抜けると?)
1326	男性	50 歳代	保田地区	この先、車の運転が出来なくなった時、買物や病院等元の足が無く不安だし、赤、青バスの利用も出来ない地区でもあり、利用出来る方との差別につながると思う。
1329	女性	40 歳代	保田地区	どう考えても、高齢者の多くなる町だと思います。普段の生活で車での移動はなくてはならないですが、車の運転に対する不安は大きくなるばかり、大きい道路に面している地区は町の循環バスがありますが、細い道しかない地区はたくさんあり、バスの進入が無理。そういう地区の公共の移動手段を考えてほしい。
1333	男性	60 歳代	保田地区	趣旨が違うかもしれませんが、生活保護費について、国民年金をかけた人が2ヶ月で7万円弱なのに対し、生活保護費が多すぎる？一般の人よりもかなり贅沢な暮らしをしているような気がする。保護費の額をかなり下げて支給してもらいたい。不公平である(カップラーメンでもソバ、うどんでも3食 500 円もあれば買える)。

番号	性別	年齢	居住地区	問 12 自由意見
1334	男性	60 歳代	保田地区	有害鳥獣の被害防止対策の支援。 観光客に対するマナーの啓発(車/安全運転。農地への立入禁止など)。
1342	男性	60 歳代	保田地区	空いている農地などの利用を、積極的に活用できる提案などをしてみたらよいのでは。他から来てもあまり魅力を感じないのでは？
1346	女性	70 歳以上	保田地区	道路整備の件を要望。平面であるはずの生活道路が、極端に傾斜しています(谷田団地の直線道路は支援センターのマイクロバスが右側走行をしなければならない程異常事態です)。早急な対応をお願いします。
1351	男性	70 歳以上	保田地区	インフラの整備が遅れていると思う。予算面もあると思うが、住みやすくなる為、やってほしい。
1355	女性	60 歳代	保田地区	退職して家にいるようになって、改めて鋸南町に目を向けるようになったが、この町の先行きに不安を感じている。町長は財政を建て直して健全化に向けて、実績を上げているとのこと、以前はそれを評価していたが、実際は人件費を削減し、その負を役場の職員が背負わされているということを知り、愕然としている。同時にこのような現状では鋸南町の将来はないと思っている。明らかに人手不足の中、夜中まで働いても処理しきれない業務。残業手当も正当に支給されず、休日出勤しても代休を取れと言われても、代休を取れば更に処理し切れない仕事がかかる。このような実態を町長も議員も知っているのか。知っていて、更なる行政サービス向上を、と言うのか。実に無責任である。役場の職員が明るく生き生きと活躍できなければ、これ以上の町の向上は断じてあり得ない。そのために必要な人員を増やしていかなければならない。これ以上の行政サービスの向上を掲げれば、必ず若い職員が命を落とす…。この現状を多くの人達に知らせなければならぬと切実に思う。その手段を考えている。犠牲者が出ないうちに。
1356	女性	50 歳代	勝山地区	高齢者が多いのに買い物をする場所が少なく、移動にもひとり暮らしの方は車がないと動きづらいつと感じる。また、私の家は車椅子利用者がいるが、道路の痛みがある場所が多く、介助するのも大変で、結局は一人で何もかもやらないといけなくて、私自身も身体に不調が出てきている。私が車の免許をもっていないため、社協の送迎サービスを利用しようにも予約が取れなくて、JRを利用して亀田クリニックまで通院を2か月続けたが、公共交通機関も1時間に1本しかないため、1日使う状態で不便さを痛感した。今後スーパーと協力して移動販売をする、ライドシェアで通院のお手伝いをする等、考えないといけないのではないかな？
1365	女性	70 歳以上	勝山地区	近くのスーパーが閉店してしまったので、買物難民が多く出ています。町の方で考えて下さい。
1371	女性	50 歳代	勝山地区	テレビでよくやっている。“お宝鑑定団”や“NHKのど自慢大会”に、鋸南町もできるといいと思う。鋸南町をアピールできるし、地元の人と人の会話、楽しみ、活性化にもつながる。あと、町の数ヶ所か、何か所かに屋根付きの無料の足湯もあるといいと思う。若い方からお年よりまで活用でき、やすらげる場所になると思います。観光客も喜ぶと思います。
1375	女性	60 歳代	勝山地区	今回の台風での行政サービスについて罹災証明書を送る時に、どのようなサービスが受けられるのか、積極的に教えて欲しい(同封するか)。申請があればやると言うのではなく、あくまで被災した人を助けるのが目的なのだから、行政の方からもっと働きかける事が必要だと思った。老人、子供が集える場所をもっと作って欲しい。公園も図書館もない。弱者に優しい町であって欲しい。
1380	女性	50 歳代	保田地区	観光や移住促進も大切だと思っていますが、まずは住民全員(どの世代の人も)いきいきと暮らせる町であることが一番大切だと思っています。そのために豊かな自然を守り、それを活かした雇用をつくり、教育、福祉を魅力あるものに整える。そうすることで町全体も活気づき、観光や移住も自然と増えていくと思います。町の魅力UPのためのユニークな施策も必要。個人的に関心あるのは、最近、木更津がオーガニックシティ宣言をし、いすみ市や南房総も学校給食をオーガニック化の方向に進

番号	性別	年齢	居住地区	問 12 自由意見
				んでいます。鋸南町もぜひ、遅れをとってほしくないです。たとえば汚染土問題を抱えている町だからこそ“ゼロ・ウェイスト・シティ”を目指す！など。
1390	男性	70 歳以上	保田地区	身障者が、通しやすい道路、住みやすい町を希望します。
1391	男性	60 歳代	保田地区	町づくりに活かすためのアンケートなら、もっと現実状況を答えられる質問にするべきです。真剣に聞かれてないような(いいかげんな感じ)内容でがっかりです。
1392	女性	30 歳代	保田地区	東京からも近く、高速道路も整備されており、高速バスもある。外からの収益を望みたいが、実際、お金をおとす場所がないと感じます。将来的には、観光地として、たくさんの人があること。子育てファミリーが旅行に行きたいと思える場所づくりが人口増加の1歩にもなるのではと感じます。
1404	男性	70 歳以上	保田地区	町は良くやっているといます。若者や高齢者の働ける場所がほしい。
1415	男性	70 歳以上	保田地区	今期総合計画の各分野における具体的検証がされているのか。されていないと思われる。
1416	男性	70 歳以上	保田地区	日常生活の中に人の集まる場所が欲しい。孤独な老人が散歩がてら寄れる空地、ポケットパークでも良い。ちょっとした緑と飲食と寛ぎが出来る場所があったら！
1422	男性	70 歳以上	保田地区	スーパーキャリアが多くなると、役場の雰囲気が変わると思うのもっともっと育て欲しい。
1423	男性	60 歳代	保田地区	弱者(障害者等)や、お年寄りに優しい、行政サービス、具体的から、詳細な取り組みの実践を望む。高齢者の笑顔を絶やさない町づくりを是非実現してほしい！
1424	女性	30 歳代	保田地区	子供達が将来戻ってくる、住みたい町にしてみたいです。子供の人数が減り、外で遊ぶ所も少なく、子育てにもっと力を入れてほしいです。又、災害に強い町づくりをしてほしいです。古い考えを捨てて、新しい風を起こしてもらえることを期待しています。自然が好きな子供達が将来家族で住みたくなるような町づくりをお願いします。
1426	女性	60 歳代	保田地区	子供達が元気に遊べて、子供の人数が増える様な、若者が戻って生活していける様な町作りをしていただきたいです。
1427	男性	70 歳以上	保田地区	何をしても交通の便が悪く買物、病院など、これからどうするか、考えれば不安ばかりである。
1430	女性	40 歳代	保田地区	町内に公園がないことが、子育てする者にはとても不便だと感じます。保田の幼稚園跡を利用して、公園をつくってもらいたいと思っています。保田小にきた観光客の人も使えて、良いのではないかと思います。それと、歩道の整備をお願いします。
1433	女性	50 歳代	保田地区	子育て世代の方達は、無償化に甘んじてる人もいます。が子育てが終わった50代～は、老後の為の資金を貯めなくてはいけないのに、今の体制は納得出来ません。老後が心配です。
1436	男性	60 歳代	保田地区	中央公民館の移転。鋸南中と合体させたらいかが？今の場所、海の際で危険。昔は景色のよさや、「人間が自然を支配できる」との考えだったろうが、海面上昇、高潮とか、時代は変わった。今後はますます子ども減るんだろうし、今の施設(中学)プラスで、生徒にも公民館利用者にもよいのでは？
1445	女性	70 歳以上	保田地区	年々人口減少、高齢者の増加、若者や子どもの減少等。町の行政も課題を多くかかえています。心配や不安ばかり多い中、どうしたら住みよい鋸南町になるのか、皆様のアンケートでよい意見やご提案が出される事を願っています。お世話になりありがとうございます。今後もより住みよい鋸南町になりますよう、お願い致します。
1448	女性	50 歳代	保田地区	移住者にもっと魅力的な助成金制度にしてメリットがあるものにして欲しい。保田の信号は、休日に渋滞します。下りの左折車線が短かすぎるせいでと思うので、せめて鋸南病院くらいまで道幅広げてほしいです。海に花に海産物等沢山の売りがあり、去年の台風で思いがけないスポットをあげ、読んでもらえる有名な町になったのをよききっかけに。観光客が

番号	性別	年齢	居住地区	問 12 自由意見
				増え移住者も増えるを祈っています。町会議員ももっと若返りをはかれると良いですね。
1451	男性	70 歳以上	保田地区	各人の健康増進の一つとして公民館活動をダンス、エアロビ、ヨガ等しているが、やはり個人負担が大変になっている。半額補助位は出来ないか？やりたい方も女性中心にかなり多い。金銭的にしりごみが多いと感じている。
1454	男性	70 歳以上	保田地区	町の行政や携わる職員の方々は、各々一生懸命に町の発展を含めた運営に働いてくれています。同じ鋸南町内でもエリアによって異なると思うが、一部では協調性、同調性、犠牲的精神に欠け、行政と住民意識にギャップが感じられ、行政主体のイベントや行事が先行され過ぎていると感じられます。それと、町内の箱物建設を一部縮小に、都心部などにアンテナショップを設置し、鋸南町に滞在時間を増やせるPRを実施したら？
1457	女性	40 歳代	保田地区	保田漁港から出ていた遊覧船を再開してもらいたい。観光客に聞かれる事が多い為、希望したい。
1464	男性	50 歳代	佐久間地区	自然は必要ですが、ある程度整備されて安心して歩ける自然環境を望みます。荒れた手付かずの自然は害もしくは対象外を考えます。
1475	男性	60 歳代	佐久間地区	今回台風 15 号により、今までにない被害で、これを機にさらなる被害に備え強化をするべきだと思います。
1487	男性	40 歳代	勝山地区	給食の無償化大変助かります(現在小2の子がいます)。しかし、それよりも私は食の大切さを身にしみ感じており、特に0～7歳までの子供達においては、体、心、感性をつくっていくのに大きく食は関係しています(大人や老人も)。食べ物で体はできてます。地元の豊かな野菜、魚などより育った環境に近いものを食べさせてあげてほしいです。毎日とはいいませんので、せめて1週間に2日は地元の食材のみで構成して下さい。カロリーベースの献立の組み立てはとても古い考えだと思います。一度みなさんが何が大切なのかよく考えていただきたいです。環境に対しても地球にやさしい昔ながらのアナログさを、どんととり入れてほしい。小さな町だからこそ、どの町よりもキラリと光り、魅力的な町にこれから育ち、大人になって再び帰りたい街。きれいな空気、海。豊かな自然。
1488	女性	70 歳以上	勝山地区	町会議員の活動が町報でしか知る事がないので、昨年の台風、町民に対して安全(現状)確認は、どのように対応してくれたのでしょうか。鋸南町は、何年経っても遅れているように思えてなりません。他市町村と合併を考えたらどうでしょうか？
1490	女性	50 歳代	保田地区	都心に近い事から民間の老人施設など誘致してはどうか。又町営の老人ホームもほしい。津波対策、高い建物があつたら良い。鋸南病院はもっと安全な場所の所にあつた方が良いのでは。
1491	女性	50 歳代	勝山地区	・とにかく、台風 15 号では町長や役場の初動や、情報発信が遅かったのに、ボランティアセンターや、災害ゴミの受け入れはわずか 40 日余りと、周辺の市町に比べても短かく、依頼してたのに打ち切られ、未だに放置されたままの家も見受けられる。また、町長は当初から仮設住宅やみなし仮設借り上げは考えておらず、町に残りたくても居場所が無く転出せざるしかなかった。被災者が高齢者を中心に多数出ているが、台風 19 号等で被害の有った茨城県常陸大宮市では、わずか8日程でコンテナハウスを仮設住宅として設置し住民流出を食い止め、また被災から2ヶ月程で仮設住宅を建てた所も有るのに、何も考えず、何も行動しない名前だけの町長や町会議員は、不要だ(怒)。また、避難所で職員不足から避難者の問いかけに対して怒鳴り散らした役場職員も要らない！ ・使い勝手の悪い青バス赤バスを廃止し、1BOXカー数台を町内に循環させてどこでも乗り降りできる 100 円コミュニティーバスとして運行をする。
1497	男性	60 歳代	佐久間地区	今は、町外の職場なので、町内での事があまり解らないが、町内で生活するようになれば、少しは町内を見てみたいです。

番号	性別	年齢	居住地区	問 12 自由意見
1500	男性	70 歳以上	保田地区	町内放送がうるさい。防災以外の事柄に関する内容が多過ぎる。桜や水仙等、廃品回収もまた、放送原稿が精選されていないので、だらだらした放送となり、最後になると、何の放送内容が釈然としなくなる。さらに、女性の間延びした馬鹿っぽい声だと、聞く気もおきなくなる。放送で住民をコントロールせず、静かな町を強く望む。
1507	女性	50 歳代	勝山地区	・以前映画のエキストラに参加をした際に、ロケをしに行った所が、この町にこんな所があったんだと思った。色々ロケ地として活用されている所も増えている様なので、ロケ地巡りツアーとかがあると、他県からも人が来ると思う。 ・昨年台風被害の際に、途中から色々物資が配られていたが、普通のゴミ袋は全くなく、当初より指定ゴミ袋に災害で出たゴミを入れていたが、他県では家の前にゴミを出してそれを自衛隊が回収して行く様子もあったが、高齢者も多いのでそういう事もほしかった。災害時ボランティアの方はすぐには利用出来なかったが、利用出来る様になって、行ける予定連絡来ても、結局来ない事も多く、来られなくなった時の連絡がほしかった。ずっと待っていた。ボランティアの方々には、何かないか聞いてまわるメンバーもほしかった。
1509	男性	70 歳以上	勝山地区	各分野(文化、スポーツ等)に積極的に応援し、多くの人交流出来る施設(多目的な体育館)がほしい。又現在有るB&G海洋センターの増設等でも！小中学校に多分野の指導者が入り、地域1体となる学習があっても！
1511	男性	70 歳以上	保田地区	鋸山からの客を指導してください。
1512	男性	60 歳代	佐久間地区	役場から都内への高速バスがあったら便利。
1513	男性	60 歳代	勝山地区	美しい自然環境、温暖な気候に恵まれたこの町に移住して、そろそろ3年が過ぎます。きれいな景観をもっともっと知ってほしい。みんなに見てほしいと思いながら、なかなか発信されていない状況。他方面からの人々が口にするのは“遠い！”やはり交通の便、観光道路の整備と共に、生活している町民が、生活しやすい環境の為、まず町の道路整備、お年寄りが多いのに歩道が確保されていない、不安。子ども達が安心して遊べる場所(公園)。あるものを整備して使うアイデアなどを出し合い、協力(ボランティアなど)しながら、若い人が子育てしやすい町づくりを考えていく事が鋸南町を元気な町にしていく事だと思う。4、5年前に町の方に移住の為に町に問い合わせをした時に、空き家のまったく情報が得られず“ありません”のみ返答だった。残念！
1514	男性	50 歳代	勝山地区	行政が先頭を切って、観光客を呼ぶ努力をする事。また水産業や農作物の販売ルートの確保、土地、農地、空地等の企業、農業法人への誘致等、行政が頑張ってもらいたい。土地、農地の荒れを防ぐ為に、大型企業を農業法人等の誘導を進めてもらいたい。
1515	男性	60 歳代	勝山地区	観光産業の充実に向け、数多い観光資源のブラッシュアップが必要である。町の現実を見据えて、具体的将来構想による計画的実行が必要である。
1516	女性	60 歳代	勝山地区	古い家(放置されている家)の近くにおりますが、次の台風や強風、ノラ猫の住み家になっていたりどうにかありませんか？
1520	女性	50 歳代	勝山地区	昨年の台風 15 号、19 号の被害がたくさん残っており、その改善が一番ではないかと思えます。(役場も大変な被害で相談に行った時も少々不安もあります。)我家も被害がたくさんあり、いろいろ御協力や御相談にもものっていただいております。やはり住みやすい町が一番だと思えます。これからもよろしく願います。
1522	男性	60 歳代	佐久間地区	役場の皆さん、災害復旧に向けて今後もよろしく願います。観光資源を有効活用していただきたい。
1529	女性	30 歳代	佐久間地区	子供達を安心して遊ばせる事ができる広い公園などがあると良い。なかなか外で遊ばせる事が出来ないのです。
1533	女性	40 歳代	保田地区	エコビレッジ化をし、汚染土を持ち込ませないような取り組みを、町一丸となってやっていく。小、中学校教育を町外に出た時に落ちこぼれないよ

番号	性別	年齢	居住地区	問 12 自由意見
				うに、先進的な教育に変革して欲しい。教育が優れていれば、移住者も増えると思います。広島や麴町の小、中学校のように。
1544	女性	60 歳代	勝山地区	さまざまな行事、相談等行なっている様ですが、老人に対して交通網が行きとどいていないので放送ばかり流しても意味がないです。
1547	男性	50 歳代	勝山地区	昨年の台風で、特に役所の方々が親身になって町の為に動いて下さるのがよくわかりました。ただ、若い人の働く場がなく、町の中にせっかく良いものや都心部から移って来た方々がいらしても、いまひとつ活気がありません。閉店してしまった店舗や空き室の活用をもう少し考えて頂けると、どんどん若い人達も働きやすくなると思います。ブログやSNS等で良いアイデアを出している方々もいらっしやるので、そういった方々のほりおこしを進めてみてはいかがでしょうか。ジャニーズの相葉君がせっかく「ばんや」に来てくれているので何かタイアップは出来ないでしょうか。今時「映え」は必要かと。
1550	女性	50 歳代	勝山地区	・高校を卒業して町外へ出てしまうと、戻って来るのが難しい人が多いと思います。全国的に同じ事が生じています。鋸南町は台風で知名度が上がりました。これを機に、鋸南町と言ったら〇〇があると良いと思います。水仙ロードは元気な方には良いのですが…。皆で楽しめるのとより良いと思います。若手のコンサルタントにアイデアを出してもらっては？・鋸南病院がもっと人気のある病院になるといいですね。外来が少ない気がします。老人は自宅にこもりがち。外出は病院のみにならないよう、老人に活躍の場があるといいですね！今は災害からの復興が優先ですが、ふるさと納税でクラウドファンディングによる資金調達も良いと思いますが、「何をするか」のアイデアが重要ですね。
1551	男性	70 歳以上	勝山地区	・鋸南町は都会から近いし、又景色も良い。休日には都会から又は他県から、子供連れの家族をよく見かける。そんな事もあって、数回5人前後の家族を乗せて浮島近くを走りつつ楽しませた事もありまして。又、陸は休田が大部分多く見かける。農家の人が、いろいろ野菜を植え都会の人に行ってもらい、休日に家族子供づれで出来た野菜を収穫、又採取し、そんな様な楽しみのある観光にしてほしい。又それに合わせて、春には佐久間ダムの花見の桜にも合うし、遊覧船又観光船。都会の人にはなにしろ低料金でお願いします。 ・勝山漁港には数 10 人乗せる遊漁船、つり船が 10 数隻ある。この人達は港に帰港するとすぐ車で帰っていく。帰っていく前に、立食ラーメンでも、又帰る車の中で焼きそばでも、勝山に数件ある店主に協力してもらい、又釣り船の船主と客と半々位で 500 円前後のラーメン焼きそばを。又漁協に空いた倉庫、これは仁浜新盛丸の上にあります。又漁業に関係している婦人を数人。私はこの様な事ができれば、もっと活気が、町が多少でも観光で栄えてほしい。
1552	女性	70 歳以上	佐久間地区	・若い人(主に学校を卒業した人)が都会からUターンして働ける場所がほしい。 ・以前に比べると、公共施設も充実してきたのは有難い事です。
1554	女性	70 歳以上	勝山地区	去年の台風(15号、19号)で役場の職員様には、大変お世話になりました。対応とか色々な面でご親切にいただきまして、有難うございました。今回の教訓を活かして、災害に強い町を作って欲しいと願うばかりです。一人一人が意識を高め防災への意識を高めて参りましょう。2020年は穏やかな一年となりますように祈ります。
1557	男性	70 歳以上	佐久間地区	人口減少の対策を早急に実施して欲しい。特に農業に従事する若者を、都会から呼ぶ努力が必要。若者に魅力的な農業法人の設立が必要と思う。
1559	男性	50 歳代	佐久間地区	子供を産んでも、安心して成人するまで育てられる町になってほしい。人口減を少しでも食い止めたい。
1567	男性	60 歳代	保田地区	・鋸南町ホームページ。内容の更新が遅い。定期的な更新が必要です。閲覧したい場所に、たどり着けない。キーワードによっても、必要な情報を得ることが出来ない。

番号	性別	年齢	居住地区	問 12 自由意見
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災行政無線。台風 15 号の通過直後の情報伝達が不足。事項の防災安心メールで広報されている内容が、防災行政無線では放送されていませんでした。防災行政無線個別受信機録音機能は、必要性がありません。不要です。</li> <li>・防災安心メール。平常時の情報提供が多くされており安心です。</li> <li>・退職職員。数年前に退職した職員ですが、要望事項を訴えたところ、クレーマー扱いをされました。要望に対して真摯に対応をすることが行政マンとして必要です。現職の方がこのような職員にならないことを指導するとともに期待します。</li> </ul>
1568	男性	70 歳以上	佐久間地区	<p>望むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内放送の在り方検討されたし。災害時に 1 日 3 度数百回同じ放送をすることの他、雨の日に町民に呼びかける愚かな放送等々全く考えていない放送について。</li> <li>・水仙の街としての有効性をもっと工夫、活かすべき。</li> <li>・住んでいない家が多すぎる。抜本的対策を。</li> <li>・地域、部落の公民館が活かされていない。以上</li> </ul>
1569	男性	10・20 歳代	佐久間地区	町職員の労働時間に差があるように感じる。仕事の出来ない職員含め若手職員、ベテランが協力して行政を運営していかないと、いつか破綻してしまう。
1573	女性	50 歳代	勝山地区	高齢者の移動手段の確保、改善に力を入れてほしいと思っています。(赤バス、青バスの増便、相乗りワゴン車等)お買い物、通院に利用できる移動手段があれば、免許返上したいと思っていらっしゃる方は多いと思います。よろしく願い致します。
1580	男性	70 歳以上	保田地区	子どもが少ないのに小学校、中学校はいらない。統合していれば良かったと思う。ハコモノはいらない。他に税金を使うべき。

## IV. 鋸南町まちづくりアンケート調査票

あなたの声をお聞かせください

日頃から町政にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

現在、町では令和3年度から10年間の新しい総合計画の策定に向けた準備を進めています。

計画策定にあたり、今後のまちづくりを町民の皆様とともに考え、多くの意見を反映させるため、全世帯を対象にアンケート調査を実施することといたしました。

総合計画は、長期的なまちづくりの方向性を定める重要な計画ですので、ぜひともご回答くださいますようお願い申し上げます。

なお、お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理し、町政運営以外の目的には一切使用いたしませんので、お考えのままをご記入頂きますようお願いいたします。

令和2年1月

鋸南町長 白石 治和

ご記入にあたってのお願い

1. 調査票は、全世帯に1部ずつ配布しています。どなたかお一人がご自身のことをご記入ください。
2. ご記入は、黒のボールペン、または濃い鉛筆でお願いします。
3. ご回答は、次の要領で行ってください。

■ あらかじめ設けてある選択肢の中から選んで○印をつけてください。

■ 回答の○の数は、(1つに○印)、(3つまでに○印)などと指定していますので、それに合わせてください。

■ ご自分の答えが選択肢の中にある場合は、「その他( )」を選び、( )内にその内容を具体的に記入してください。

※ 調査票は、無記名のまま、返信用封筒に入れて封をし、各区の取りまとめ役の方にお渡しください。(直接、役場、すこやか、中央公民館、老人福祉センターに届けてくださっても結構です。郵便ポストへ投函し郵送もできます。)できるだけ経費削減のため区での回収にご協力願います。

(役場への**提出期限は2月14日(金)まで**をお願いします。)

※ この調査についてのご不明な点は、下記までお問い合わせください。

鋸南町総務企画課企画財政室

電 話 : 0470-55-4801 / F A X : 0470-55-1342

## はじめに、あなたご自身のことについておたずねします

問1. あなたご自身のことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んで1つに○印をつけてください。

(1) あなたの性別	1. 男性 2. 女性	
(2) あなたの年齢	1. 10・20 歳代 2. 30 歳代 3. 40 歳代 4. 50 歳代 5. 60 歳代 6. 70 歳以上	
(3) あなたの職業 (※主たるもの)	自 営	1. 農林業 2. 水産業 3. 商工業・サービス業等
	お 勤 め	4. 農林業 5. 水産業 6. 商工業・サービス業等 7. 公務員・団体職員
	そ の 他	8. 主婦（パートタイムを含む） 9. 無職 10. 学生
(4) あなたの就学先・勤務先	1. 町内 2. 町外 3. 就学・勤務していない	
(5) あなたの町内での 居住年数 (※通算年数)	1. 5年未満 2. 5年以上 10 年未満 3. 10 年以上 20 年未満 4. 20 年以上	
(6) あなたの居住地	1. 勝山地区 2. 保田地区 3. 佐久間地区	

## 町の住み良さについておたずねします

問 2. 鋸南町の住み良さはいかがですか。(1つに○印)

1. 住み良い
2. どちらかといえば住み良い
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば住みにくい
5. 住みにくい

問 3. あなたは、これからも鋸南町に住み続けたいと思いますか。(1つに○印)

1. 一生住み続けるつもりである
2. ある程度住み続けるつもりである
3. どこかへ移転するつもりである
4. どちらともいえない

## 町の現状と今後の取り組みについておたずねします

問 4. 鋸南町では、これまで鋸南町総合計画に基づき、各分野にわたる様々な施策を進めてきました。以下の項目についての現状の満足度と、今後の重要度をおたずねします。

(1) あなたは、以下の項目について、現在の程度満足していますか。それぞれの項目についてあてはまる番号 1つに○印をつけてください。

(2) あなたは、以下の項目について、今後の程度重視していますか。それぞれの項目についてあてはまる番号 1つに○印をつけてください。

<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">項目</div> <div style="text-align: center;">評価</div> </div>	(1) 満足度					(2) 重要度				
	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である	重視している	やや重視している	どちらともいえない	あまり重視していない	重視していない
1. 活力ある産業づくり										

項目	(1) 満足度						(2) 重要度				
	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である		重視している	やや重視している	どちらともいえない	あまり重視していない	重視していない
①農林業の振興	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
②水産業の振興	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
③商工業の振興	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
④観光振興と定住の促進	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑤地域情報化の推進	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑥交通基盤の充実	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
<b>2. 輝く人材づくり</b>											
⑦子ども・子育て支援	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑧学校教育の充実	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑨教育施設の再編	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑩生涯学習の振興	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑪スポーツの振興	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑫地域文化の振興	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑬共生社会づくりの推進	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
<b>3. 安心生活づくり</b>											
⑭健康の保持・増進	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑮地域福祉力の強化	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑯循環型社会の形成	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑰生活環境の向上	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑱消防・防災力の強化	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑲協働のまちづくりと行財政改革の推進	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5

## まちづくりについておたずねします

問5. あなたは鋸南町が子育てしやすいまちになるために、どのようなことに力を入れたらよいと思いますか。(3つまで○印)

1. 若者・女性への就職・再就職支援
2. 若者の雇用の場づくり
3. 家庭での男女共同参画の推進
4. 保育サービスの充実
5. 学校教育の充実
6. 地域での子育て支援や交流の充実
7. 子育て家庭への経済的支援の充実
8. 若い世代向けの住宅の確保
9. わからない
10. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

問6. 観光客や来訪者が鋸南町にもっと訪れて滞在する機会を増やすにはどうすれば良いと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)

1. 既存の観光資源のさらなる活用
2. 都市住民に町の魅力が伝わるように効果的に情報を発信する
3. 宿泊施設や観光施設を増やす
4. 町に来るまでの交通手段を便利にする
5. 地域内での移動手段を確保する
6. 地域内での案内板などを整備する
7. 農林漁業などを体験できる施設や指導できる人材を増やす
8. 住民と都市住民が交流できる場を提供する
9. 地域ぐるみで協力し合い受入体制の整備を図る
10. 都市住民の受入に積極的な人を増やす
11. その他( \_\_\_\_\_ )
12. 特にない
13. わからない

問7. 他の地域から鋸南町に定住する際の問題点は何だと思えますか。

(あてはまるものすべてに○印)

1. 他の地域から移住してきても定住するための仕事がない
2. 地域内での移動のための交通手段が不便
3. 医療機関（施設）が少ない
4. 買い物、娯楽などの生活施設が少ない
5. 他の地域から移住してきた住民を受け入れるサポート体制が整備されていない
6. 他の地域から移住してきた住民に対する受け入れに地域住民が消極的
7. 地域の調和が崩れる
8. 近所に干渉されプライバシーが保てないと他の地域から移住してきた住民が思う
9. 特に問題ないと思う
10. その他（）
11. わからない

問8. あなたは、今後のまちづくりにおいて、鋸南町をどのようなまちにしたいと考えますか。(3つまで○印)

1. 美しい自然環境や景観が誇れるまち
2. 安全・安心な住環境の整備を優先するまち
3. 農業・漁業や農山漁村環境を大切に守り育てるまち
4. 商業の振興や企業立地を推進するまち
5. 観光や交流事業を進めるまち
6. 保健・医療・福祉の充実したまち
7. 保育・教育環境が充実したまち
8. 生涯学習や文化芸術・スポーツ活動が活発なまち
9. ITサービスの充実した情報化が進んだまち
10. わからない
11. その他（具体的に：）

問9. 地方自治体を取り巻く財政状況は依然として厳しく、これからのまちづくりは、限られた財源をより効果的に配分・活用していくことが求められています。

鋸南町においても経費の削減や収入の確保に努めていますが、このような時代を迎え、これからの行政サービスのあり方について、どのようにお考えですか。

(1つに○印)

1. 今までどおりの行政サービスの種類や水準が維持されるなら、受益者の金銭的負担が増えるのはやむを得ない
2. 受益者の金銭的負担を増やさずに、行政サービスの種類や水準を維持すべき
3. 受益者の金銭的負担を増やさない場合、行政サービスの種類が減るのは仕方ないが、水準は維持してほしい
4. 受益者の金銭的負担を増やさない場合、行政サービスの水準の低下は仕方ないが、種類は維持してほしい
5. 受益者の金銭的負担を増やさない場合、行政サービスの種類が減り、水準も低下するのはやむを得ない
6. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

問10. あなたは、鋸南町の今後の行財政改革で優先的に行うべき項目は何だと思えますか。(3つまで○印)

1. 町の助成金、補助金効果を検証して見直して、適正かつ効果的に運用すること
2. 町が主催するイベント、講演会等の開催頻度や内容の見直し
3. 公共施設の統廃合
4. 公共施設の運営の民間・市民団体への委託
5. 町有地（遊休地）や公共施設などの有効活用（売却・貸付など）
6. 窓口サービスの向上
7. 公共工事のコスト削減・適正化
8. 公共料金の適正化
9. 町税等の滞納金の徴収率の向上
10. 周辺市町村との連携
11. 情報公開の推進
12. 現状のままでよい
13. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

## まちづくりへの意識と取り組みについておたずねします

問 11. まちづくりに対するあなたの「意識」と「取り組み」について、それぞれの質問ごとに、あなたのお考えに一番近い番号を1つ選んで○印をつけてください。

(1) あなたご自身のことについて

1. 健康づくりに取り組んでいますか。

- |            |              |              |                |             |
|------------|--------------|--------------|----------------|-------------|
| 1. 取り組んでいる | 2. まあ取り組んでいる | 3. どちらともいえない | 4. あまり取り組んでいない | 5. 取り組んでいない |
|------------|--------------|--------------|----------------|-------------|

2. 運動・スポーツ（通勤途上に意識的にウォーキングをする場合なども含む）を行っている日数はどのくらいですか。

- |          |          |          |             |            |
|----------|----------|----------|-------------|------------|
| 1. 週3日以上 | 2. 週1～2日 | 3. 月1～3日 | 4. 3か月に1～2日 | 5. ほとんどしない |
|----------|----------|----------|-------------|------------|

3. 日頃、食生活の改善や運動など、健康管理のための取り組みをしていますか。

- |         |             |              |              |          |
|---------|-------------|--------------|--------------|----------|
| 1. している | 2. ある程度している | 3. どちらともいえない | 4. あまりしていません | 5. していない |
|---------|-------------|--------------|--------------|----------|

4. 老後に不安を感じますか。

- |            |               |              |             |           |
|------------|---------------|--------------|-------------|-----------|
| 1. 不安を感じない | 2. あまり不安を感じない | 3. どちらともいえない | 4. 少し不安を感じる | 5. 不安を感じる |
|------------|---------------|--------------|-------------|-----------|

5. かかりつけの医者はいますか。

- |       |               |              |                |        |
|-------|---------------|--------------|----------------|--------|
| 1. いる | 2. どちらかといえはいる | 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえはいない | 5. いない |
|-------|---------------|--------------|----------------|--------|

6. 自然を守るためなら生活が少し不便でもいいですか。

- |         |           |              |              |           |
|---------|-----------|--------------|--------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. どちらともいえない | 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない |
|---------|-----------|--------------|--------------|-----------|

7. 森や川などを守るための取り組みに協力したいと思いますか。

- |         |               |                  |                  |                   |
|---------|---------------|------------------|------------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. まあそう<br>思う | 3. どちらとも<br>いけない | 4. あまりそう<br>思わない | 5. そう思わない<br>思わない |
|---------|---------------|------------------|------------------|-------------------|

8. 環境美化や省資源・省エネルギー、アイドリングストップなど、環境に配慮した生活をしていますか。

- |         |                 |                  |                 |          |
|---------|-----------------|------------------|-----------------|----------|
| 1. している | 2. ある程度<br>している | 3. どちらとも<br>いけない | 4. あまりして<br>いない | 5. していない |
|---------|-----------------|------------------|-----------------|----------|

9. 電気のムダづかいを気にかけるなど、環境に配慮していますか。

- |         |                 |                  |                 |          |
|---------|-----------------|------------------|-----------------|----------|
| 1. している | 2. ある程度<br>している | 3. どちらとも<br>いけない | 4. あまりして<br>いない | 5. していない |
|---------|-----------------|------------------|-----------------|----------|

10. 太陽光などの再生可能エネルギーを利用するために、費用を負担してもよいと思いますか。

- |         |               |                  |                  |                   |
|---------|---------------|------------------|------------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. まあそう<br>思う | 3. どちらとも<br>いけない | 4. あまりそう<br>思わない | 5. そう思わない<br>思わない |
|---------|---------------|------------------|------------------|-------------------|

11. 水を大切に使うなど、節水を意識した生活をしていますか。

- |         |                 |                  |                 |          |
|---------|-----------------|------------------|-----------------|----------|
| 1. している | 2. ある程度<br>している | 3. どちらとも<br>いけない | 4. あまりして<br>いない | 5. していない |
|---------|-----------------|------------------|-----------------|----------|

12. 緑化活動（植樹や花づくり）をしていますか。

- |         |                 |                  |                 |          |
|---------|-----------------|------------------|-----------------|----------|
| 1. している | 2. ある程度<br>している | 3. どちらとも<br>いけない | 4. あまりして<br>いない | 5. していない |
|---------|-----------------|------------------|-----------------|----------|

13. ごみの減量化のための3R運動（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生使用）をしていますか。

- |         |                 |                  |                 |          |
|---------|-----------------|------------------|-----------------|----------|
| 1. している | 2. ある程度<br>している | 3. どちらとも<br>いけない | 4. あまりして<br>いない | 5. していない |
|---------|-----------------|------------------|-----------------|----------|

14. 製品を購入する際に、環境に配慮したものを選んでいきますか。

- |          |              |              |              |           |
|----------|--------------|--------------|--------------|-----------|
| 1. 選んでいる | 2. ある程度選んでいる | 3. どちらともいえない | 4. あまり選んでいない | 5. 選んでいない |
|----------|--------------|--------------|--------------|-----------|

15. 普段、できるだけ公共の交通機関を利用していますか。

- |           |             |              |             |              |
|-----------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| 1. よく利用する | 2. まあまあ利用する | 3. どちらともいえない | 4. あまり利用しない | 5. ほとんど利用しない |
|-----------|-------------|--------------|-------------|--------------|

16. 災害時の避難場所を知っていますか。

- |          |              |              |            |         |
|----------|--------------|--------------|------------|---------|
| 1. 知っている | 2. ある程度知っている | 3. どちらともいえない | 4. あまり知らない | 5. 知らない |
|----------|--------------|--------------|------------|---------|

17. 職場や地域での防災訓練に参加していますか。

- |         |             |              |             |          |
|---------|-------------|--------------|-------------|----------|
| 1. している | 2. ある程度している | 3. どちらともいえない | 4. あまりしていない | 5. していない |
|---------|-------------|--------------|-------------|----------|

18. 地域の防犯活動やパトロール活動に参加していますか。

- |         |             |              |             |          |
|---------|-------------|--------------|-------------|----------|
| 1. している | 2. ある程度している | 3. どちらともいえない | 4. あまりしていない | 5. していない |
|---------|-------------|--------------|-------------|----------|

19. 目的をもって学んでいるものがありますか。(学生の方は学校以外で。)

- |       |              |              |               |       |
|-------|--------------|--------------|---------------|-------|
| 1. ある | 2. どちらかといえはあ | 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえはない | 5. ない |
|-------|--------------|--------------|---------------|-------|

20. 町の講座や教室等の生涯学習活動に参加していますか。

- |         |             |              |             |          |
|---------|-------------|--------------|-------------|----------|
| 1. している | 2. ある程度している | 3. どちらともいえない | 4. あまりしていない | 5. していない |
|---------|-------------|--------------|-------------|----------|

21. 地域のいろいろな行事に参加していますか。

- |         |             |              |             |          |
|---------|-------------|--------------|-------------|----------|
| 1. している | 2. ある程度している | 3. どちらともいえない | 4. あまりしていない | 5. していない |
|---------|-------------|--------------|-------------|----------|

22. 地域活動やボランティアなどで社会のために活動してみたいと思いますか。

- |            |                |              |                   |                |
|------------|----------------|--------------|-------------------|----------------|
| 1. 活動してみたい | 2. たまには活動してみたい | 3. どちらともいえない | 4. あまり活動したいとは思わない | 5. 活動したいとは思わない |
|------------|----------------|--------------|-------------------|----------------|

23. 町政に関する情報を主にどの方法で知りますか。(3つまで○印)

- |            |                        |
|------------|------------------------|
| 1. 町報きよなん  | 7. 町のパンフレット・カレンダーなど    |
| 2. 町ホームページ | 8. 民間情報誌               |
| 3. 議会だより   | 9. イベント                |
| 4. 自治会回覧板  | 10. SNS (ブログ、フェイスブック等) |
| 5. 新聞      | 11. その他                |
| 6. テレビ・ラジオ | ( )                    |

24. 町と一緒にまちづくりを考えてみたいと思いますか。

- |           |            |              |              |           |
|-----------|------------|--------------|--------------|-----------|
| 1. 是非考えたい | 2. 少しは考えたい | 3. どちらともいえない | 4. あまり考えたくない | 5. 考えたくない |
|-----------|------------|--------------|--------------|-----------|

25. 自分の仕事にやりがいを感じますか。(「仕事」にはボランティアなども含みます。)

- |        |          |              |            |         |
|--------|----------|--------------|------------|---------|
| 1. 感じる | 2. まあ感じる | 3. どちらともいえない | 4. あまり感じない | 5. 感じない |
|--------|----------|--------------|------------|---------|

26. 仕事と自分の生活の両立ができていると思いますか。

- |         |           |              |              |           |
|---------|-----------|--------------|--------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. どちらともいえない | 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない |
|---------|-----------|--------------|--------------|-----------|

27. 地域内の異なる世代の人と付き合いがありますか。

- |       |               |              |               |       |
|-------|---------------|--------------|---------------|-------|
| 1. ある | 2. どちらかといえばある | 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばない | 5. ない |
|-------|---------------|--------------|---------------|-------|

28. 頼りになる知り合いが近所にいますか。

- |       |               |              |                |        |
|-------|---------------|--------------|----------------|--------|
| 1. いる | 2. どちらかといえばいる | 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばいない | 5. いない |
|-------|---------------|--------------|----------------|--------|

29. 地域に自分の活躍の場がありますか。

- |       |                   |                  |                   |       |
|-------|-------------------|------------------|-------------------|-------|
| 1. ある | 2. どちらかとい<br>えばある | 3. どちらとも<br>いけない | 4. どちらかとい<br>えはない | 5. ない |
|-------|-------------------|------------------|-------------------|-------|

30. あなたは、全体として、今の生活にどの程度満足していますか。

- |       |         |                  |         |       |
|-------|---------|------------------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. まあ満足 | 3. どちらとも<br>いけない | 4. やや不満 | 5. 不満 |
|-------|---------|------------------|---------|-------|

31. あなたの生活は、全体として、去年の今頃と比べてどうでしょうか。

- |               |                           |          |                           |               |
|---------------|---------------------------|----------|---------------------------|---------------|
| 1. 向上して<br>いる | 2. どちらかとい<br>えば向上<br>している | 3. 変わらない | 4. どちらかとい<br>えば低下<br>している | 5. 低下して<br>いる |
|---------------|---------------------------|----------|---------------------------|---------------|

32. 平日に家族で話をする時間はどのくらいありますか。

- |          |                |                |          |                  |
|----------|----------------|----------------|----------|------------------|
| 1. 5時間以上 | 2. 3~4時間<br>程度 | 3. 1~2時間<br>程度 | 4. 1時間未満 | 5. ほとんど<br>時間はない |
|----------|----------------|----------------|----------|------------------|

(2) あなたご自身のことについて

33. 住んでいる地域の高齢者や障がいのある人にも暮らしやすいと思いますか。

- |         |               |                  |                  |           |
|---------|---------------|------------------|------------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう<br>思う | 3. どちらとも<br>いけない | 4. あまりそう<br>思わない | 5. そう思わない |
|---------|---------------|------------------|------------------|-----------|

34. 住んでいる地域は買い物や通院に便利だと思いますか。

- |         |               |                  |                  |           |
|---------|---------------|------------------|------------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう<br>思う | 3. どちらとも<br>いけない | 4. あまりそう<br>思わない | 5. そう思わない |
|---------|---------------|------------------|------------------|-----------|

35. 住んでいる地域の高齢者はいきいきと暮らしていると思いますか。

- |         |               |                  |                  |           |
|---------|---------------|------------------|------------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう<br>思う | 3. どちらとも<br>いけない | 4. あまりそう<br>思わない | 5. そう思わない |
|---------|---------------|------------------|------------------|-----------|

36. 町は子育て支援に積極的だと思いますか。

- |         |               |                  |                  |           |
|---------|---------------|------------------|------------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう<br>思う | 3. どちらとも<br>いけない | 4. あまりそう<br>思わない | 5. そう思わない |
|---------|---------------|------------------|------------------|-----------|

37. 子育てについて地域で支え合う雰囲気がありますか。

- |       |         |                  |                  |       |
|-------|---------|------------------|------------------|-------|
| 1. ある | 2. まあある | 3. どちらとも<br>いけない | 4. どちらかと<br>いえない | 5. ない |
|-------|---------|------------------|------------------|-------|

38. 住んでいる地域の子どもはのびのびと育っていると思いますか。

- |         |               |                  |                  |               |
|---------|---------------|------------------|------------------|---------------|
| 1. そう思う | 2. まあそう<br>思う | 3. どちらとも<br>いけない | 4. あまりそう<br>思わない | 5. そう思わな<br>い |
|---------|---------------|------------------|------------------|---------------|

39. 住んでいる地域の公共交通は便利だと思いますか。

- |         |               |                  |                  |               |
|---------|---------------|------------------|------------------|---------------|
| 1. そう思う | 2. まあそう<br>思う | 3. どちらとも<br>いけない | 4. あまりそう<br>思わない | 5. そう思わな<br>い |
|---------|---------------|------------------|------------------|---------------|

40. 住んでいる地域はきれいだと思いますか。

- |         |               |                  |                  |               |
|---------|---------------|------------------|------------------|---------------|
| 1. そう思う | 2. まあそう<br>思う | 3. どちらとも<br>いけない | 4. あまりそう<br>思わない | 5. そう思わな<br>い |
|---------|---------------|------------------|------------------|---------------|

41. 住んでいる地域の自然環境は守られていると思いますか。

- |         |               |                  |                  |               |
|---------|---------------|------------------|------------------|---------------|
| 1. そう思う | 2. まあそう<br>思う | 3. どちらとも<br>いけない | 4. あまりそう<br>思わない | 5. そう思わな<br>い |
|---------|---------------|------------------|------------------|---------------|

42. 住んでいる地域に活気がありますか。

- |          |                |                  |                 |          |
|----------|----------------|------------------|-----------------|----------|
| 1. 活気がある | 2. まあ活気が<br>ある | 3. どちらとも<br>いけない | 4. あまり活気<br>がない | 5. 活気がない |
|----------|----------------|------------------|-----------------|----------|

43. 住んでいる地域に観光などでの訪問客が増えていると思いますか。

- |         |               |                  |                  |               |
|---------|---------------|------------------|------------------|---------------|
| 1. そう思う | 2. まあそう<br>思う | 3. どちらとも<br>いけない | 4. あまりそう<br>思わない | 5. そう思わな<br>い |
|---------|---------------|------------------|------------------|---------------|

44. 自慢したい地域の風景や名所がありますか。

- |       |                   |                  |                  |       |
|-------|-------------------|------------------|------------------|-------|
| 1. ある | 2. どちらかと<br>いえばある | 3. どちらとも<br>いけない | 4. どちらかと<br>いえない | 5. ない |
|-------|-------------------|------------------|------------------|-------|

45. 地元や県内でとれた農水産物を買っていますか。

- |                |                  |                  |                  |                   |
|----------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|
| 1. よく買って<br>いる | 2. まあまあ買<br>っている | 3. どちらとも<br>いけない | 4. あまり買っ<br>ていない | 5. ほとんど買<br>っていない |
|----------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|

46. 災害に対して住んでいる地域は安全だと思いますか。

- |               |                 |                  |                        |                 |
|---------------|-----------------|------------------|------------------------|-----------------|
| 1. 安全だと<br>思う | 2. まあ安全だ<br>と思う | 3. どちらとも<br>いけない | 4. あまり安全<br>とは思わな<br>い | 5. 安全とは<br>思わない |
|---------------|-----------------|------------------|------------------------|-----------------|

47. 夜9時以降に住んでいる地域を安心して歩けますか。

- |                |                  |                  |                        |                 |
|----------------|------------------|------------------|------------------------|-----------------|
| 1. 安心して<br>歩ける | 2. まあ安心し<br>て歩ける | 3. どちらとも<br>いけない | 4. あまり安心<br>して歩けな<br>い | 5. 安心して歩<br>けない |
|----------------|------------------|------------------|------------------------|-----------------|

48. 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どう思いますか。

- |                   |                     |                       |                      |
|-------------------|---------------------|-----------------------|----------------------|
| 1. そう思う（同感<br>する） | 2. どちらかといえ<br>ばそう思う | 3. どちらかといえ<br>ばそう思わない | 4. そう思わない<br>（同感しない） |
|-------------------|---------------------|-----------------------|----------------------|

49. 女性の活躍を多面的に支援する地域だと思えますか。

- |         |               |                  |                  |               |
|---------|---------------|------------------|------------------|---------------|
| 1. そう思う | 2. まあそう<br>思う | 3. どちらとも<br>いけない | 4. あまりそう<br>思わない | 5. そう思わな<br>い |
|---------|---------------|------------------|------------------|---------------|

50. 性別や年齢、国籍を問わず、意欲のある人が働きやすい環境が整っていると思えますか。

- |         |               |                  |                  |               |
|---------|---------------|------------------|------------------|---------------|
| 1. そう思う | 2. まあそう<br>思う | 3. どちらとも<br>いけない | 4. あまりそう<br>思わない | 5. そう思わな<br>い |
|---------|---------------|------------------|------------------|---------------|

51. 若者が希望を持てる地域だと思えますか。

- |         |               |                  |                  |               |
|---------|---------------|------------------|------------------|---------------|
| 1. そう思う | 2. まあそう<br>思う | 3. どちらとも<br>いけない | 4. あまりそう<br>思わない | 5. そう思わな<br>い |
|---------|---------------|------------------|------------------|---------------|

52. 挑戦する人を進んで応援する地域だと思えますか。

- |         |               |                  |                  |               |
|---------|---------------|------------------|------------------|---------------|
| 1. そう思う | 2. まあそう<br>思う | 3. どちらとも<br>いけない | 4. あまりそう<br>思わない | 5. そう思わな<br>い |
|---------|---------------|------------------|------------------|---------------|

### **自由意見**

問 12. 最後に、あなたの生活で現在もしくは将来に向けて町の行政に望むことや、町づくりに関するご意見・ご提案などがありましたら、ご自由にご記入ください。


ご協力ありがとうございました。

鋸南町まちづくりアンケート調査  
結果報告書

令和2年3月発行

鋸南町総務企画課

〒299-2192 千葉県安房郡鋸南町下佐久間 3458 番地

TEL 0470-55-4801